



**Planex**  
COMM.

# MZK-KR150N

**User's Manual**



# 目次

目次.....	3
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>6</b>
本製品を安全にご利用いただくために .....	6
おことわり.....	12
<b>第1章 はじめに</b> .....	<b>14</b>
1.1 本製品の特長.....	14
1.2 同梱物.....	15
1.3 各部の名称とはたらき .....	16
1.4 工場出荷時の設定値 .....	18
<b>第2章 ルータとして使う</b> .....	<b>19</b>
2.1 本製品を設置する.....	19
2.2 設定用パソコンを接続する.....	19
2.3 PPPoE接続の設定をする.....	21
2.4 接続を確認する.....	24
<b>第3章 アクセスポイントとして使う</b> .....	<b>25</b>
3.1 使用中のネットワークを調べる .....	25
IPアドレスの調べ方 .....	25
3.1.1 Windows 7/Vista.....	26
3.1.2 Windows XP .....	29
3.1.3 Mac OS X.....	32
3.2 設定用パソコンを準備する.....	34
IPアドレスの変更方法 .....	34
3.2.1 Windows 7/Vista.....	34
3.2.2 Windows XP .....	38
3.2.3 Mac OS X.....	41
3.3 設定用パソコンを接続する.....	43
3.4 本製品のIPアドレスを設定する .....	45
3.5 本製品を設置する .....	47
3.6 接続を確認する.....	48
■設定用パソコンを元の設定に戻す .....	49
Windows .....	49
Mac OS X.....	51

<b>第4章 本製品に接続する</b> .....	<b>53</b>
4.1 パソコンからWi-Fi接続する .....	53
4.1.1 Windows 7.....	53
4.1.2 Windows Vista.....	57
4.1.3 Windows XP .....	61
4.1.4 Mac OS X.....	65
4.2 IPHONE/iPADからWi-Fi接続する .....	67
4.3 有線でパソコンと接続する .....	69
4.4 WPSボタンを使って接続する .....	70
<b>第5章 本製品を使いこなす</b> .....	<b>71</b>
5.1 暗号化を設定・変更する.....	71
5.2 マルチSSIDを設定する .....	74
5.3 SSIDを非表示にする.....	77
5.4 ダイナミックDNSを設定する.....	80
5.4.1 ダイナミックDNSの登録.....	80
5.4.2 ダイナミックDNSの設定.....	87
5.4.3 ポートを開放する(仮想サーバ) .....	89
<b>第6章 詳細設定</b> .....	<b>92</b>
6.1 インターネット関連の設定 .....	92
6.1.1 通常接続(DHCP) .....	92
6.1.2 PPPoE接続.....	95
6.1.3 固定IP接続 .....	99
6.2 ネットワーク関連の設定 .....	102
6.2.1 LAN設定.....	102
6.2.2 ダイナミックDNS.....	105
6.3 無線LAN関連の設定 .....	108
6.3.1 基本設定.....	108
6.3.2 詳細設定.....	112
6.3.3 セキュリティ設定.....	115
6.3.4 アクセスコントロール.....	118
6.3.5 WDS設定.....	120
6.3.6 WPS.....	133
6.4 セキュリティ関連の設定 .....	135
6.4.1 仮想サーバ .....	135
6.4.2 DMZホスト.....	138
6.4.3 ポートフィルタリング .....	140
6.4.4 IPフィルタリング .....	142
6.4.5 MACフィルタリング .....	144
6.4.6 URLフィルタリング .....	146

---

6.5 システム管理関連の設定.....	148
6.5.1 パスワードの変更.....	148
6.5.2 ファームウェア更新.....	150
6.5.3 バックアップ／リストア.....	152
6.5.4 初期化.....	154
6.5.5 時刻設定.....	155
6.5.6 UPnP設定.....	157
6.5.7 言語設定.....	158
6.5.8 ステータス.....	159
6.5.9 システムログ.....	161
6.5.10 再起動.....	163
<b>第7章 困ったときは.....</b>	<b>164</b>
7.1 トラブルシューティング.....	164
7.2 初期化の方法.....	166
<b>第8章 製品仕様.....</b>	<b>167</b>
<b>第9章 お問い合わせ先.....</b>	<b>169</b>
<b>第10章 索引.....</b>	<b>171</b>

## 安全上のご注意

### 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧ください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。

これによって人が負傷されたり、死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。



**警告**

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、死亡につながる恐れが想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、物的損傷を引き起こす恐れが想定される内容を示しています。

### 警告

 強制指示	<p><b>本製品の施工は必ず別紙設置説明書の記載内容をお守りください。</b></p> <p>誤った施工することで、端子の異常発熱、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 禁止	<p><b>過酷な取り扱いを受ける作業場、水気のある場所、屋側、屋外などでは使用しないでください。</b></p> <p>屋外等の誤った場所で使用することで、器具の絶縁不良による感電、短絡等の原因となります。</p>
 禁止	<p><b>電線被覆が損傷したままで使用しないでください。</b></p> <p>絶縁不良による感電・短絡の原因となります。</p>
 強制指示	<p><b>必ず VVF ケーブルを使用してください。</b></p> <p>範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 禁止	<p><b>本製品を分解、改造しないでください。</b></p> <p>感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。また改造は法律で禁止されています。</p>
 禁止	<p><b>電源は AC100V(50/60Hz) 以外では絶対に使用しないでください。</b></p> <p>本製品と本製品の定格電力量ラベルに記載されている電圧・電流のものをお使いください。異なる電圧・電流でご使用すると発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。</p>

 <b>禁止</b>	<p>動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。</p> <p>範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 <b>水濡禁止</b>	<p>本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。</p> <p>本製品に液体がこぼれることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 <b>プラグを抜く</b>	<p>煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。</p> <p>そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 <b>濡手禁止</b>	<p>本製品を濡れた手で触れないでください。また事前に指輪、腕時計などの装身具を外しておいてください。</p> <p>これらの状態で本製品に触れると感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 <b>触手禁止</b>	<p>雷のときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。</p> <p>落雷による感電の原因になります。</p>
 <b>強制指示</b>	<p>本製品は一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。</p> <p>本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。</p>

 <b>注意</b>	
 禁止	<p>接続した電線を過大な力で引っ張ったりねじったりしないでください。</p> <p>心線が傷つき、端子部の異常発熱、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 強制指示	<p>電線ははずす際は、ドライバを強くこじたり回転させたりすると、周囲の成形品が欠けるおそれがありますのでご注意ください。</p>
 禁止	<p>電線を斜めに差し込んだり、傷んだ電線を差し込まないで下さい。</p> <p>端子部の異常発熱、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 禁止	<p>本製品を次のような場所での使用や保管はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 直射日光の当たる場所</li> <li>● 暖房器具の近くなどの高温になる場所</li> <li>● 温度変化の激しい場所</li> <li>● 湿気やほこりの多い場所</li> <li>● 振動の多い場所や不安定な場所</li> <li>● 静電気が多く発生する場所</li> <li>● 油煙や湯気があたる場所</li> <li>● 腐食性ガスの発生する場所</li> <li>● 壁の中などお手入れが不可能な場所</li> <li>● 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所</li> </ul>
 禁止	<p>本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。</p> <p>本製品の誤作動、故障などの原因となります。</p>
 強制指示	<p>お手入れの際は以下の内容に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。</li> </ul>
 強制指示	<p>定期的にデータのバックアップを行ってください。</p> <p>本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的を取得してください。万一不測の事態が発生し、不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったときの回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。</p>
 禁止	<p>RJ-45 ポートのある製品は、以下の内容に注意してください。</p> <p>RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。</p>

## ■ 無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でのご使用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。
- 本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

## ■ 電波に関して

本製品の無線 LAN の周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

- 本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の電波の種類と干渉距離について

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DSOF : DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

## ■ ご利用上の注意

- 接続においては、IEEE802.11n(2.4GHz 帯)または IEEE802.11g、IEEE802.11b 無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- IEEE802.11n(5GHz)および IEEE802.11a 対応製品に関して通信時利用時に 5GHz 帯域の電波を使用しております。  
5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 本書内に記載されている無線 LAN 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はすべての無線 LAN 機器との接続動作を確認したものではありません。
- 弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。
- Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

## ■ 無線 LAN におけるセキュリティに関するご注意

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN アダプタや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される  
悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アダプタや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ただし、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があり、また無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

## おことわり

### ■ ご注意

- 電気工事士の資格の無い方の電気工事は法律で禁止されています。本製品の設置は、必ず電気工事士の有資格者が行ってください。無資格者の設置によって生じた感電、火災、誤作動、故障などにより、経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品のマニュアル等に記載されている性能値(スループット)は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア(ファームウェア)更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合がありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本の国内法(電気用品安全法・電波法等)のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

## ■ 著作権等

- マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、当社までご連絡ください。
- マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

## ■ 電波に関するご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## ■ RoHS 対応

生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、プラネックスコミュニケーションズでは、EU(欧州連合)の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

## ■ 商標について

- ・ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- ・ Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7 operating system の略です。
- ・ Windows Vista は、Microsoft® Windows® Vista operating system の略です。
- ・ Windows XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および、Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- ・ Macintosh、Mac OS および Apple は、米国 Apple Computer, Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ iPhone、iPad は Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・ その他、記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

## ■ 本マニュアルの目的

本製品をご利用いただき誠にありがとうございます。本マニュアルは、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

## 第1章 はじめに

### 1.1 本製品の特長



## 1.2 同梱物

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

MZK-KR150N(本製品)

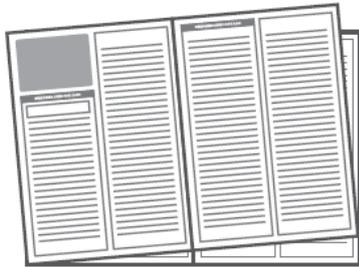


アンテナ



設置説明書

設定ガイド



はじめにお読みください(保証書含む)

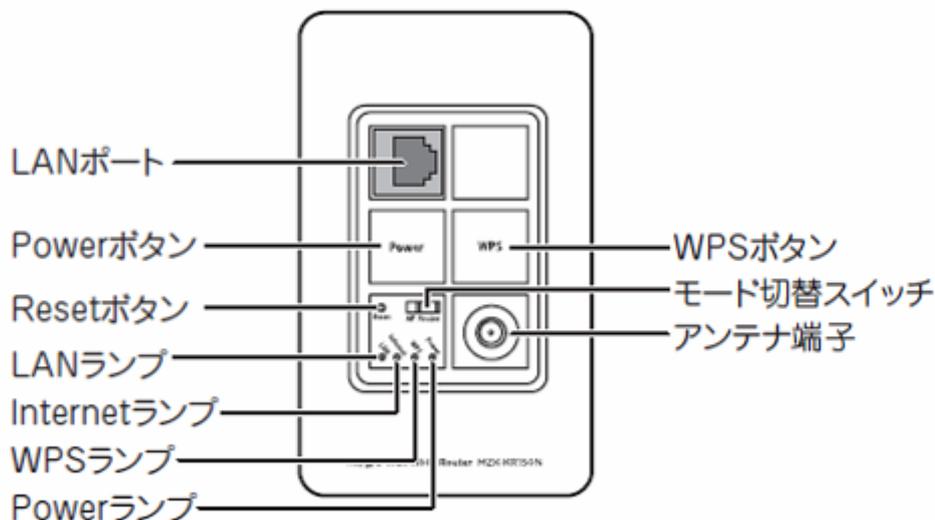


※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

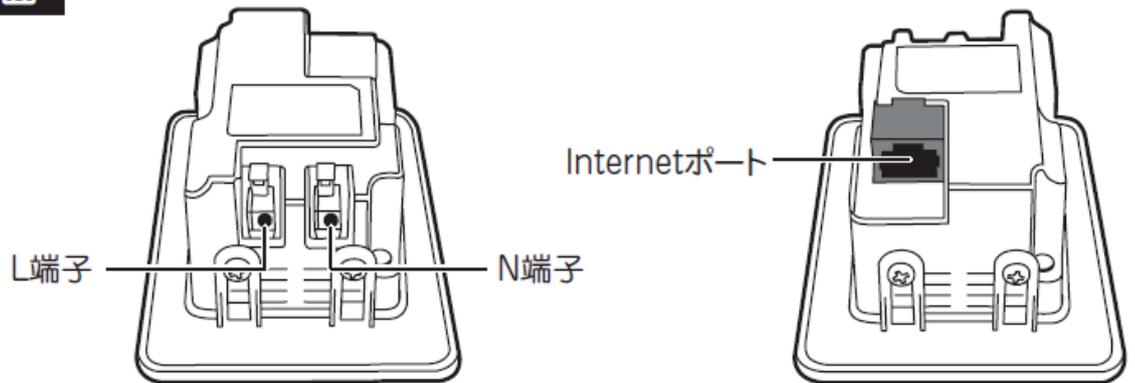
## 1.3 各部の名称とはたらき

本製品各部の名称について説明します。

### 本製品前面



名称	機能説明	
LAN ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。	
Power ボタン	本製品の電源をオンにします。	
Reset ボタン	本製品を工場出荷時の設定にリセット(初期化)して再起動します。 Power ランプが点滅するまで、Reset ボタンを 7 秒以上長押しします。	
LAN ランプ	緑点灯	リンクしている状態です。
	緑点滅	データを送受信している状態です。
	消灯	リンクがない状態です。
Internet ランプ	緑点灯	リンクしている状態です。
	緑点滅	データを送受信している状態です。
	消灯	リンクがない状態です。
WPS ランプ	緑点灯	WPS 機能がオンの状態です。
	赤/緑点滅	WPS 接続を試みています。
	緑点滅	WPS 接続に成功した状態です。
Power ランプ	緑点灯	電源がオンの状態です。
	消灯	電源がオフの状態です。
WPS ボタン	ボタンを 5 秒以上長押しすると、WPS ランプが赤色と緑色で交互に点滅します。WPS(無線 LAN 簡単設定機能)接続を行うときに使います。	
モード切替スイッチ	本製品の動作モードを設定します。 <b>Router:</b> ルータモードで動作します。 <b>AP:</b> アクセスポイントモードで動作します。	
アンテナ端子	付属のアンテナを取り付けます。	

**本製品背面**

名称	機能説明
L端子	電源線(VVFケーブル)の黒側を接続します。
N端子	電源線(VVFケーブル)の白側を接続します。
Internetポート	ご使用のインターネット回線と接続します。

## 1.4 工場出荷時の設定値

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

ユーザ名(ログイン ID)	admin				
パスワード	password				
IP アドレス	ルータモード動作時 : 192.168.111.1 (DHCP:サーバ) アクセスポイントモード動作時 : 192.168.111.1 (DHCP:無効)				
ネットワーク名(SSID)	<table border="1"><tr><td rowspan="3">出荷時 設定 値</td><td>SSID : ap-pc-●●●●●●</td></tr><tr><td>ユーザ名 : admin</td></tr><tr><td>パスワード : password</td></tr></table>	出荷時 設定 値	SSID : ap-pc-●●●●●●	ユーザ名 : admin	パスワード : password
出荷時 設定 値	SSID : ap-pc-●●●●●●				
	ユーザ名 : admin				
	パスワード : password				
暗号化キー	12345678				
認証方式	WPA2				
暗号化方式	AES				
キーフォーマット	パスフレーズ				

- ※ 本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。  
本製品背面のラベルでもご確認いただけます。
- ※ 「●●●●●●」は製品ごとに異なります。

## 第2章 ルータとして使う

本製品をルータとして使用するときには、以下の設置・設定を行ってください。

### 2.1 本製品を設置する

付属の「設置説明書」を参照し、本製品の設置を行ってください。



POINT

お手元に「設置説明書」がないときは、以下のページからダウンロードしてください。

<http://www.planex.co.jp/support/download/mzk-kr150n.shtml>

### 2.2 設定用パソコンを接続する

1. 設定用パソコンの電源をオフにします。
2. 本製品背面の **Internet** ポートに接続している通信機器(モデム/回線終端装置)の電源をオフにします。



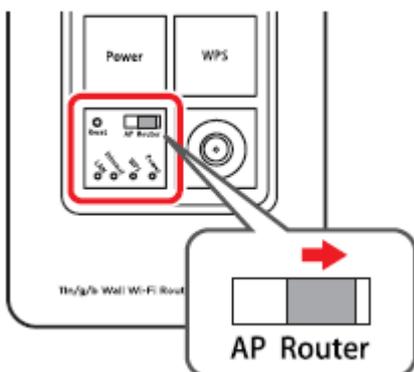
POINT

本紙では、ADSL モデム/ケーブルモデム/回線終端装置などをまとめて「通信機器」と表記します。

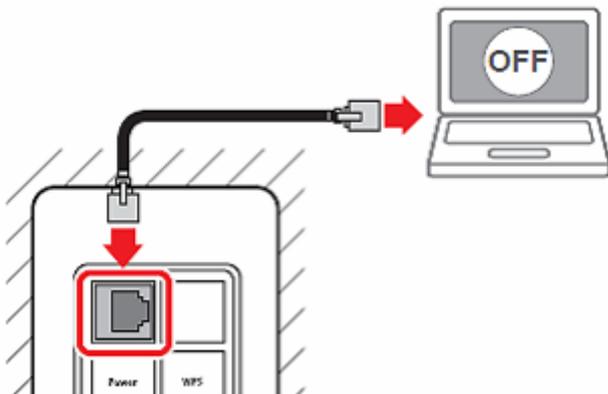


**Yahoo! BB 回線や CATV 回線の場合は、配線を行う前に通信機器の電源を 30 分ほど切った状態にしておいてください。**

3. 本製品前面のモード切替スイッチを「**Router**」側にします。



4. 本製品前面の LAN ポートと、パソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



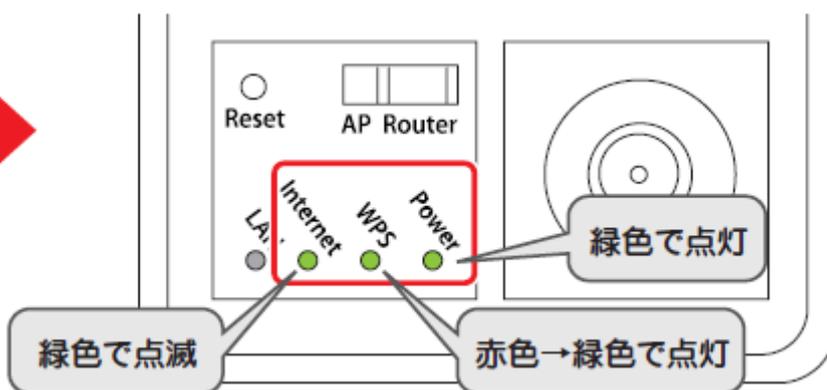
5. 通信機器の電源をオンにします。
6. 本製品前面の Power ボタンを押して、電源をオンにします。



ブレーカーをオフにしているときは、オンにしてください。



本製品前面の Power ランプが緑色で点灯、WPS ランプが赤色から緑色で点灯、Internet ランプが緑色で点滅することを確認します。



本製品が完全に起動するまで、約2分かかります。

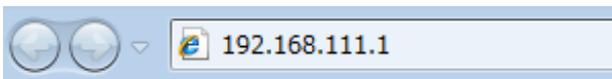
7. 設定用パソコンの電源をオンにします。

## 2.3 PPPoE 接続の設定をする

本製品のインターネットの設定を行います。インターネットに契約したときの書類をお手元に用意してください。

※手順では Windows 7 で説明していますが、その他の OS も同じ手順となります。

1. 設定用パソコンの WEB ブラウザを起動します。
2. アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>キーを押します。



※ お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。そのときは起動するまでお待ちください。

3. (1) ユーザ名に「admin」、パスワードに「password」を半角英字で入力します。  
(2) [ログイン]をクリックします。



4. 次の画面が表示されます。  
パスワードを記憶させる場合は[はい]を、記憶させない場合は[いいえ]をクリックします。



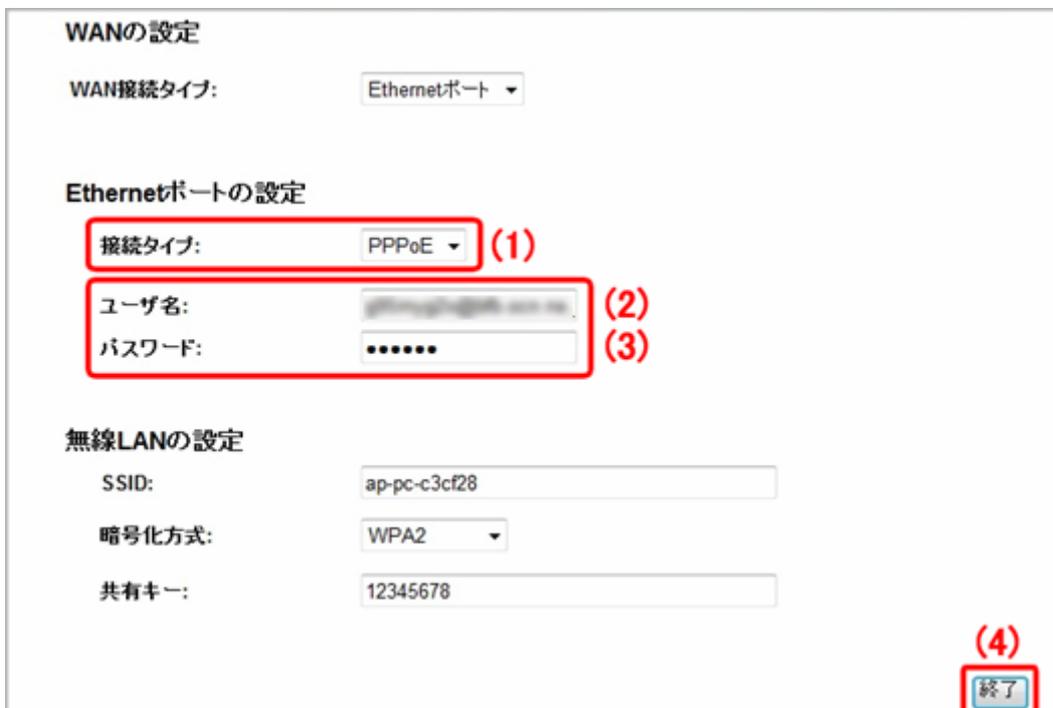
※ お使いの環境により、表示される画面は異なります。

※ 上記の画面が表示されないときは、手順 5 へ進んでください。

5. WEB 設定画面が表示されます。  
 「クイックセットアップ」をクリックします。



6. インターネットの設定を行います。
- (1)「Ethernet ポートの設定」の「接続タイプ」で、「PPPoE」を選びます。「ユーザ名」と「パスワード」が表示されます。
  - (2)「ユーザ名」にプロバイダ指定のユーザ名を入力します。
  - (3)「パスワード」にプロバイダ指定のパスワードを入力します。
  - (4) [終了]をクリックします。



WANの設定

WAN接続タイプ: Ethernetポート ▾

Ethernetポートの設定

接続タイプ: PPPoE ▾ (1)

ユーザ名: [ユーザ名入力欄] (2)

パスワード: [パスワード入力欄] (3)

無線LANの設定

SSID: ap-pc-c3cf28

暗号化方式: WPA2 ▾

共有キー: 12345678

(4) 終了

7. 本製品が再起動します。



8. ログイン画面に戻ります。

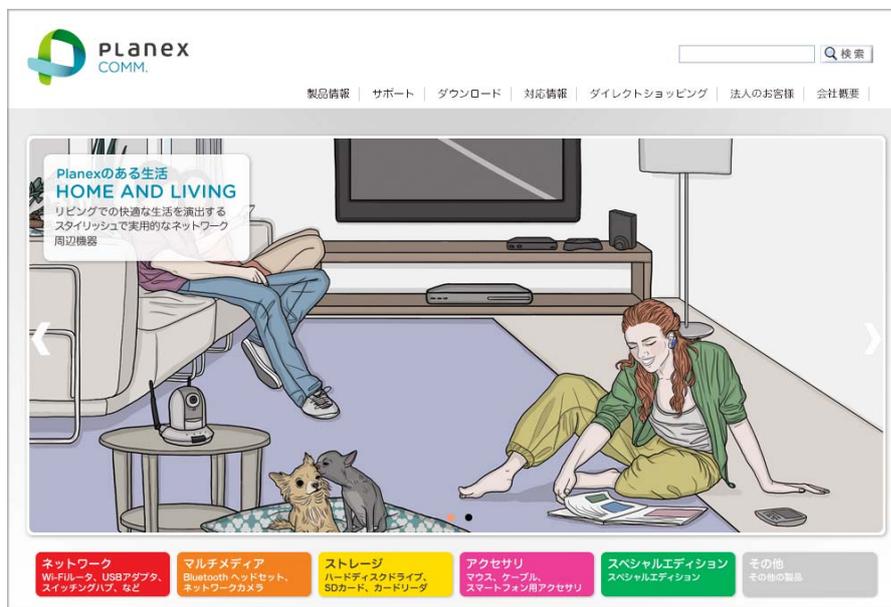
画面右上の  をクリックして、画面を閉じてください。

※ お使いの環境により、WEBブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。そのときは起動するまでお待ちください。

## 2.4 接続を確認する

最後にインターネットの接続を確認します。

お使いのパソコンのWEBブラウザを起動し、ホームページが正しく表示されることを確認してください。



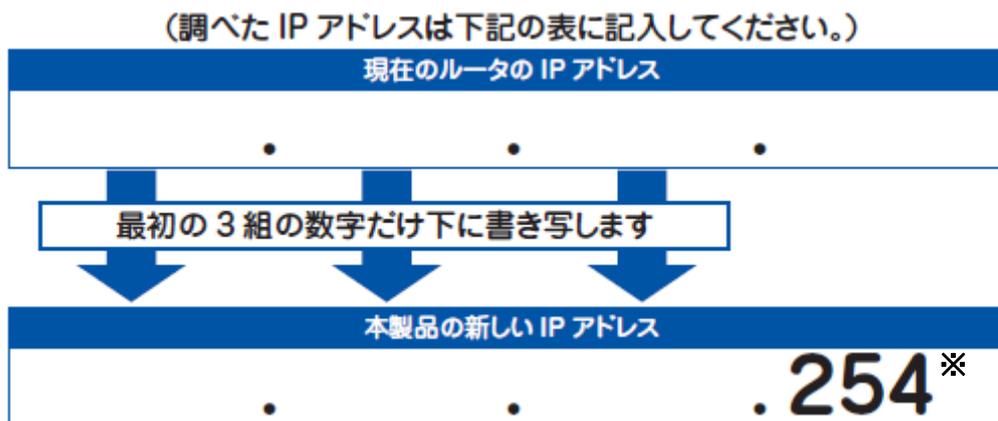
(上記の画面は弊社ホームページを表示したときの例です。)

## 第3章 アクセスポイントとして使う

本製品をアクセスポイントとして使用するときは、以下の設定・設置を行ってください。

### 3.1 使用中のネットワークを調べる

本製品の接続や設定の前に、お使いのルータ(またはルータ機能付き通信機器)の IP アドレスを調べてください。ここで調べた IP アドレスをメモに控えてください。



ここで記入した IP アドレスは、「3.4 本製品の IP アドレスを設定する」の手順 6 で使用します。

※ 上記の「本製品の新しい IP アドレス」で、すでに最後の「254」の値が存在しているとき、または本製品が複数台あるときは、他のネットワーク機器と重複しない「3」～「253」の値に置き換えてください。

#### IP アドレスの調べ方

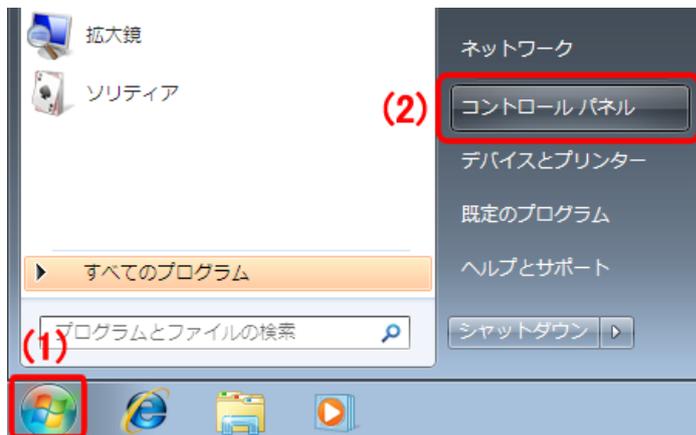
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7/ Vista のとき ..... 「3.1.1 Windows 7/Vista」
- Windows XP のとき ..... 「3.1.2 Windows XP」
- Mac OS X のとき ..... 「3.1.3 Mac OS X」

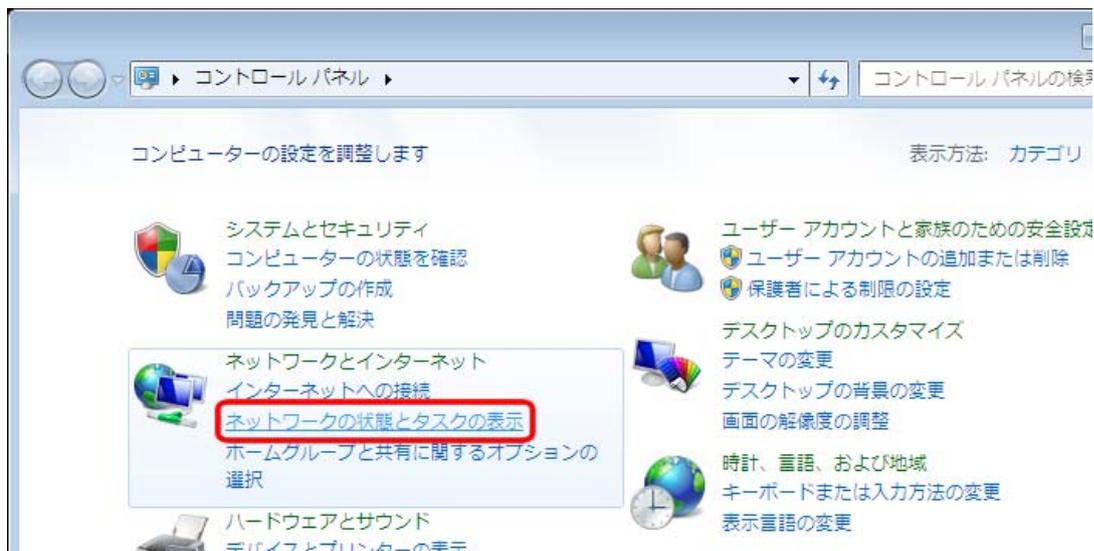
### 3.1.1 Windows 7/Vista

※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「コントロールパネル」をクリックします。



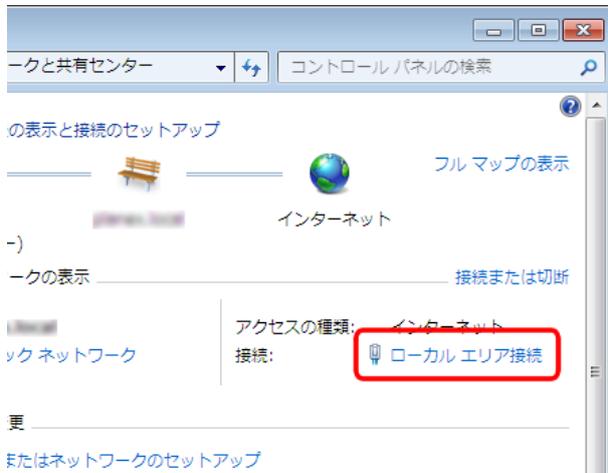
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



※ Windows 7 でアイコン表示のときや、Windows Vista でクラシック表示画面のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。

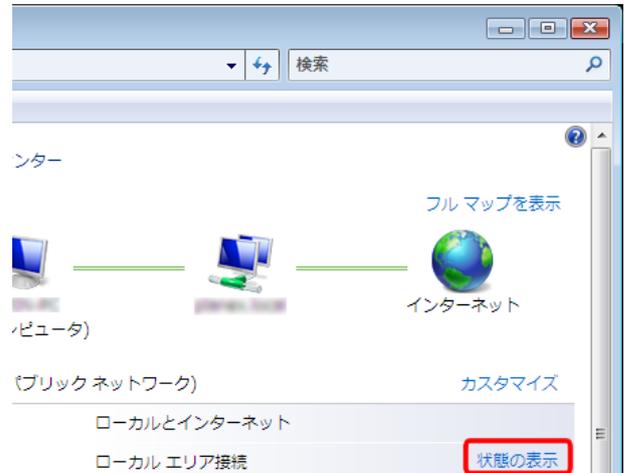
3. <Windows 7 のとき>

「ローカルエリア接続」をクリックします。

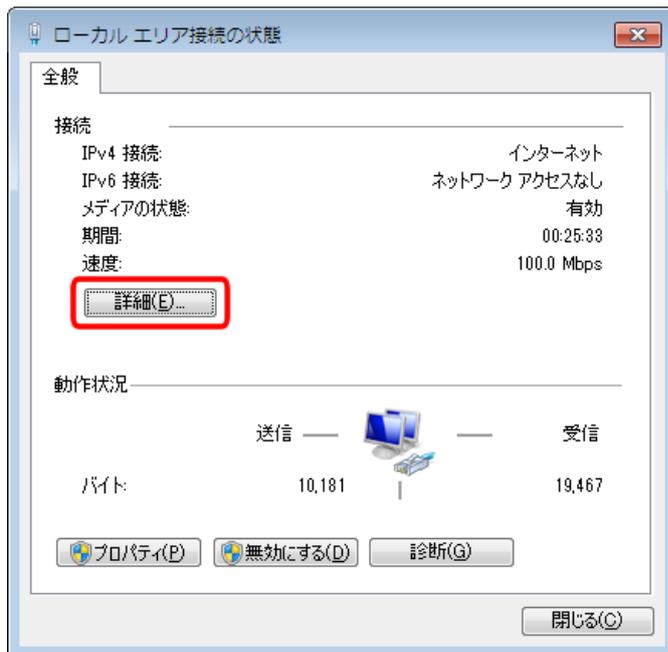


<Windows Vista のとき>

「状態の表示」をクリックします。



4. 「詳細」をクリックします。



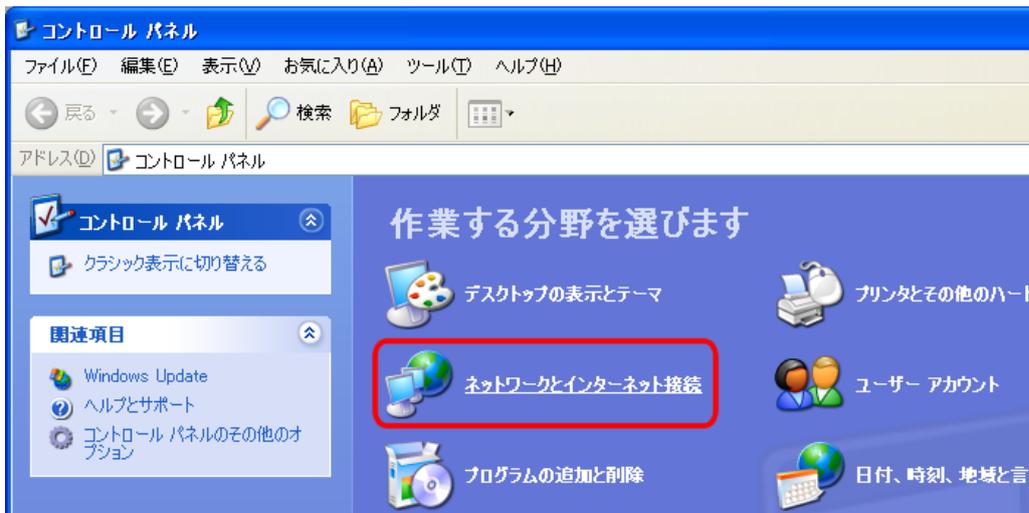


### 3.1.2 Windows XP

- (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「コントロールパネル」をクリックします。



- 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

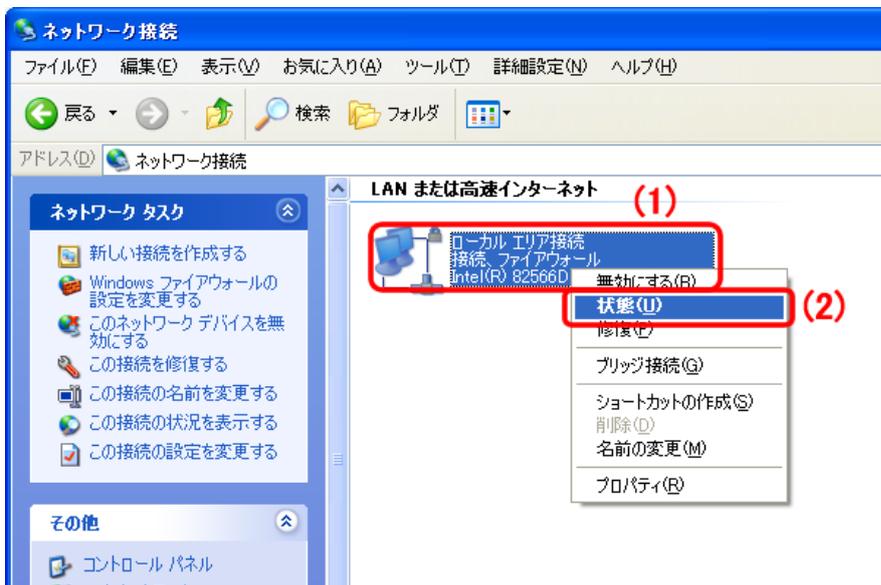


※ クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

- 「ネットワーク接続」をクリックします。



4. (1)「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
- (2)「状態」をクリックします。



5. 「サポート」タブをクリックします。



6. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「デフォルト ゲートウェイ」のIPアドレスを、25 ページの表の「現在のルータのIPアドレス」に記入します。



### 3.1.3 Mac OS X

※手順では Mac OS X 10.5 の画面で説明しています。表示される画面は、Mac OS のバージョンによって異なります。

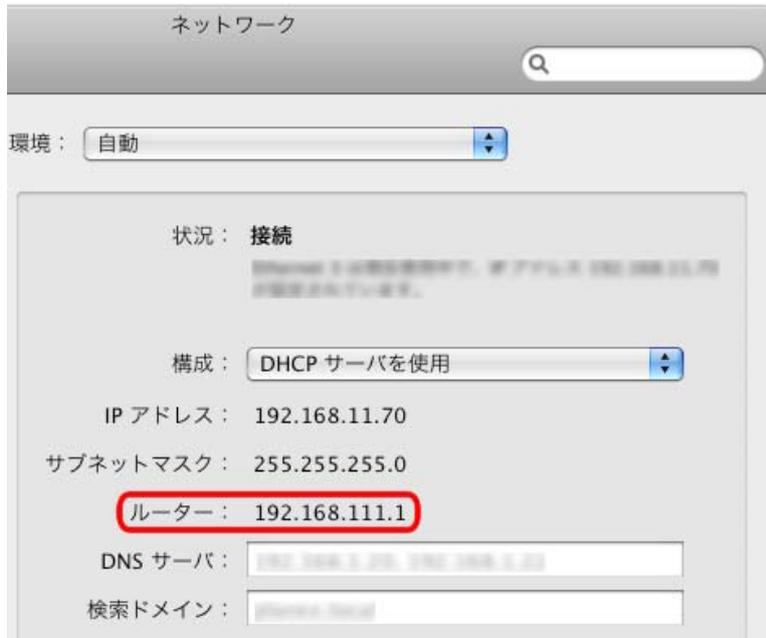
1. (1)「アップルメニュー」をクリックします。
- (2)「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



- 画面左の「Ethernet...」をクリックします。  
※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「(内蔵)Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。
- ネットワーク接続の詳細画面に表示された「ルーター」のIPアドレスを、25 ページの表の「現在のルーターのIPアドレス」に記入します。



## 3.2 設定用パソコンを準備する

本製品をアクセスポイントモードで使用するときには、本製品の設定をするために、パソコンの IP アドレスを一時的に変更します。

アクセスポイントモードでの本製品の IP アドレスは、「192.168.111.1」に初期設定されています。ここでは、設定用パソコンの IP アドレス「192.168.111.2」に設定してください。



設定用パソコンの設定を元に戻せるように、変更前の設定(IP アドレスなど)をメモしておいてください。また、本製品のアクセスポイントモードの設定が終わったら、設定用パソコンを元の設定に戻してください。

### IP アドレスの変更方法

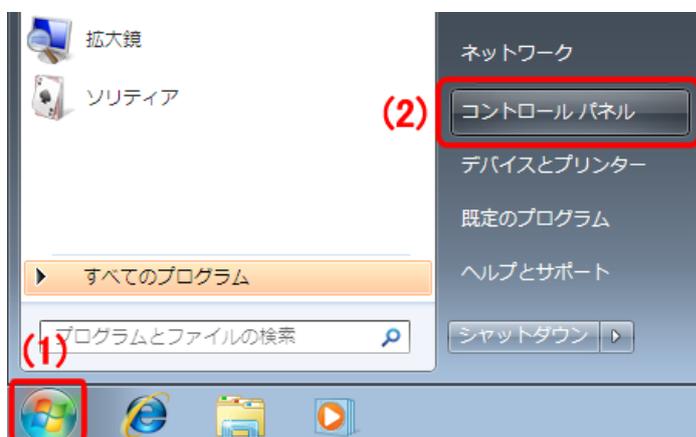
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7/ Vista のとき ..... 「3.2.1 Windows 7/Vista」
- Windows XP のとき ..... 「3.2.2 Windows XP」
- Mac OS X のとき ..... 「3.2.3 Mac OS X」

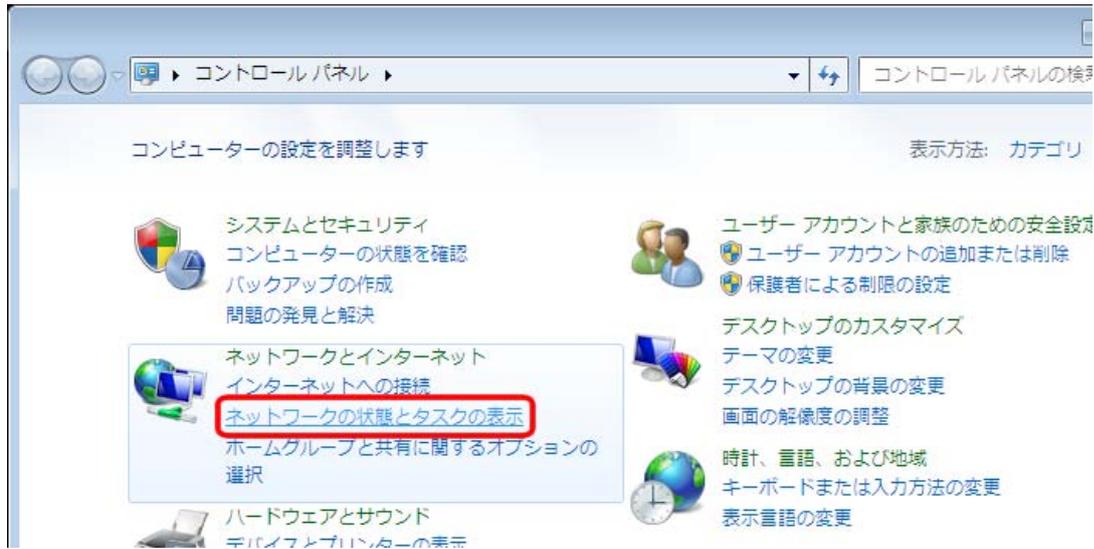
#### 3.2.1 Windows 7/Vista

※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「コントロールパネル」をクリックします。



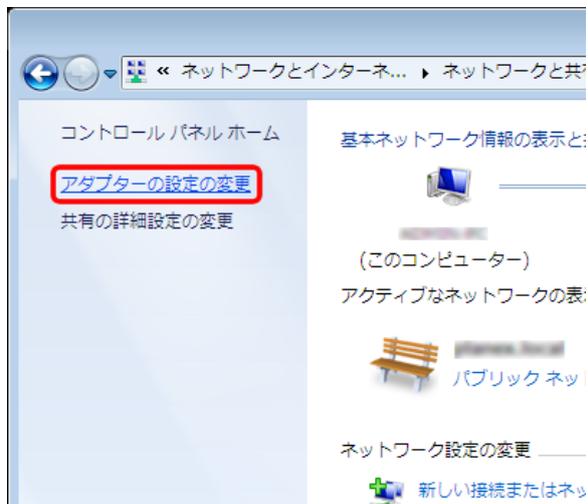
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



※ Windows 7 でアイコン表示のときや、Windows Vista でクラシック表示画面のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。

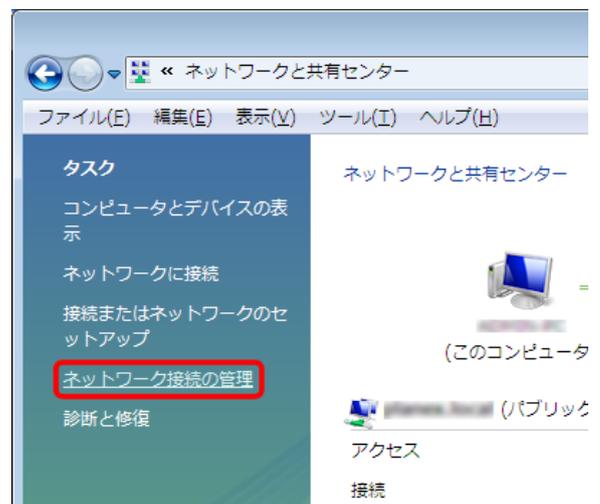
3. <Windows 7 のとき>

「アダプターの設定の変更」をクリックします。

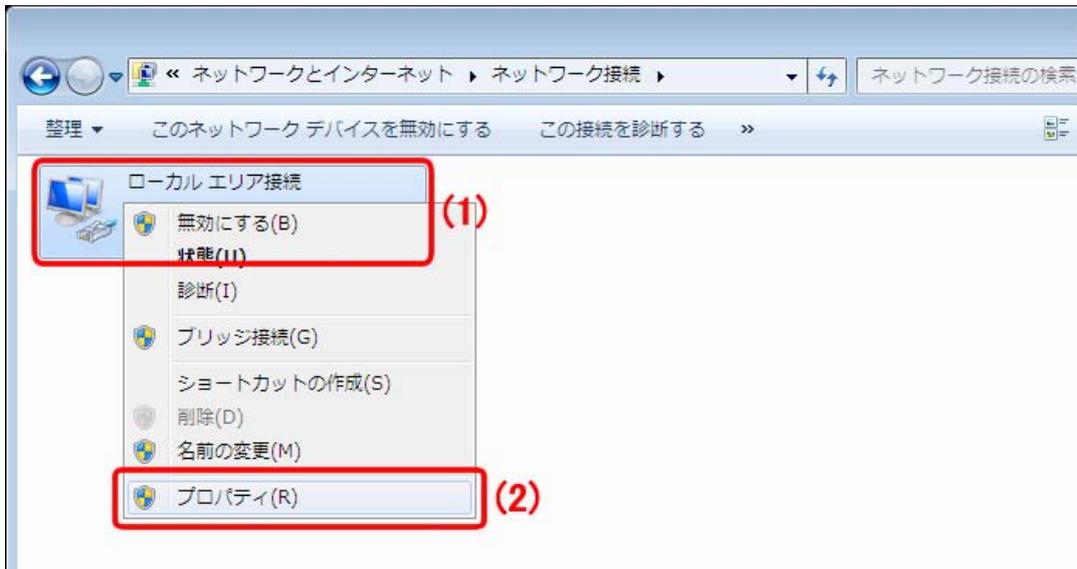


- <Windows Vista のとき>

「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



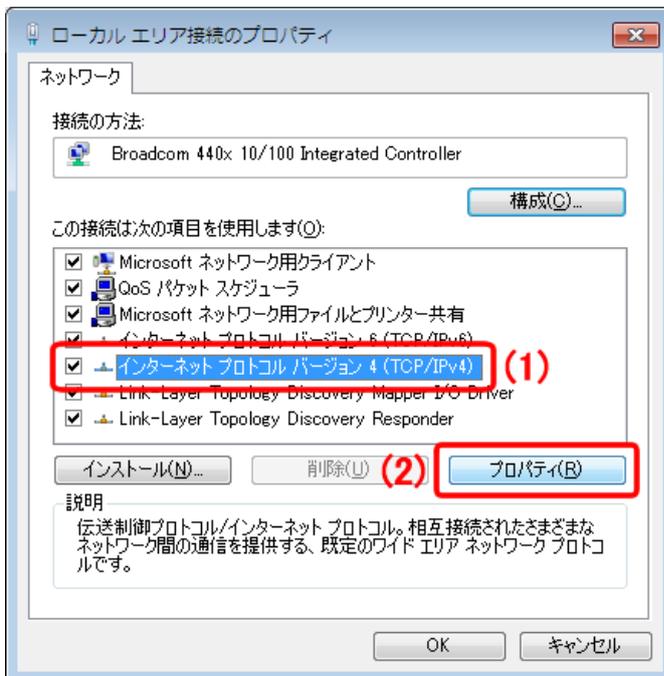
4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。
- (2)「プロパティ」をクリックします。



※ Windows Vista のときは、「ユーザーアカウント制御」が表示されます。[続行]をクリックしてください。

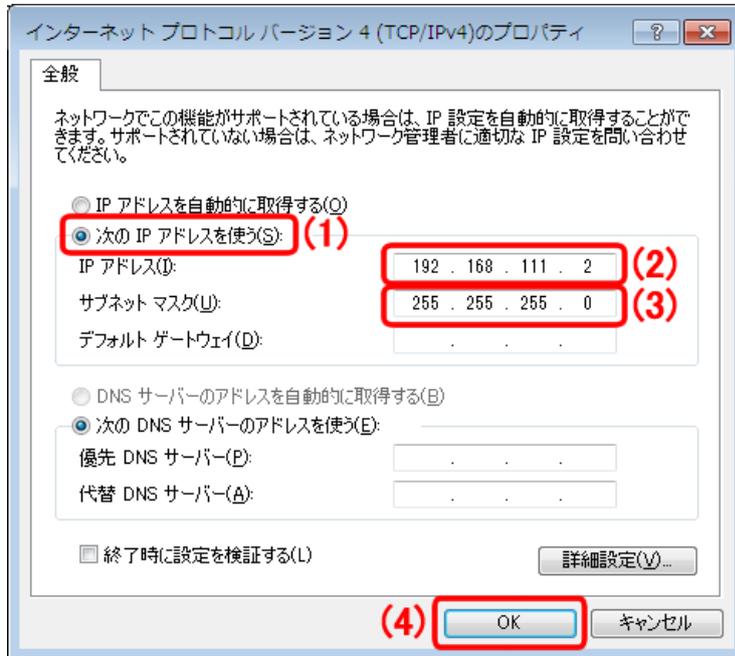
「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選びます。
- (2) [プロパティ]をクリックします。



「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」が表示されます。

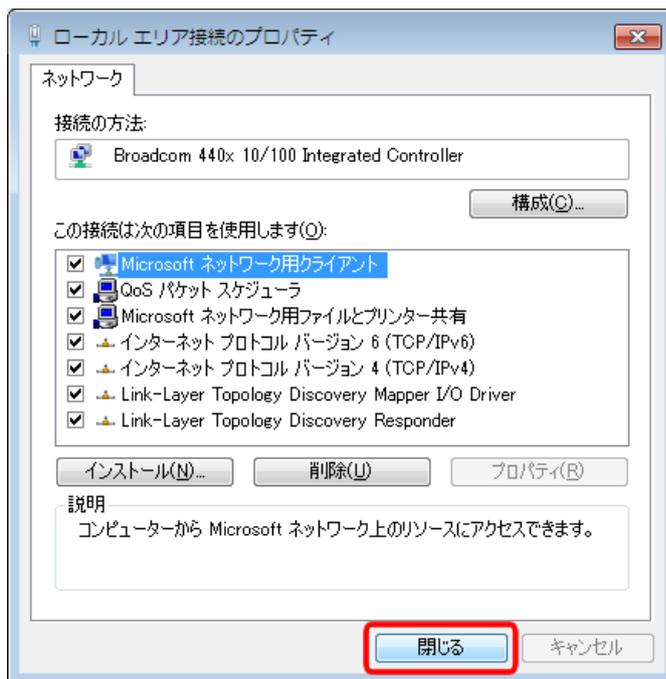
6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。
- (2)「IP アドレス」に「192.168.111.2」と入力します。
- (3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。
- (4) [OK] をクリックします。



※入力した値は、必ずメモをとって、いつでも参照できるように大切に保管してください。

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

7. [閉じる] をクリックし、すべての画面を閉じます。



### 3.2.2 Windows XP

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「コントロールパネル」をクリックします。

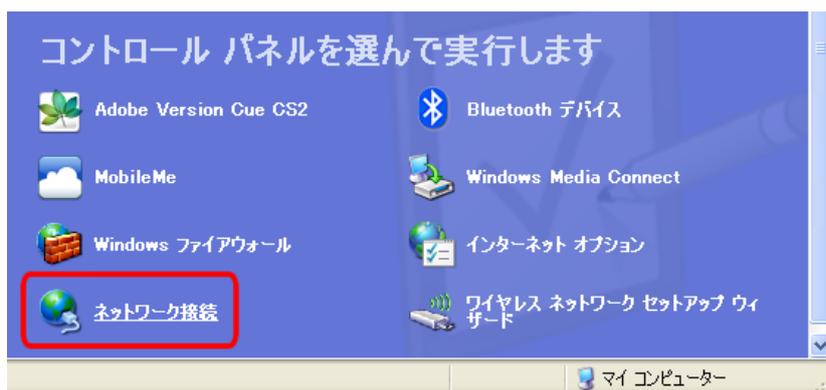


2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

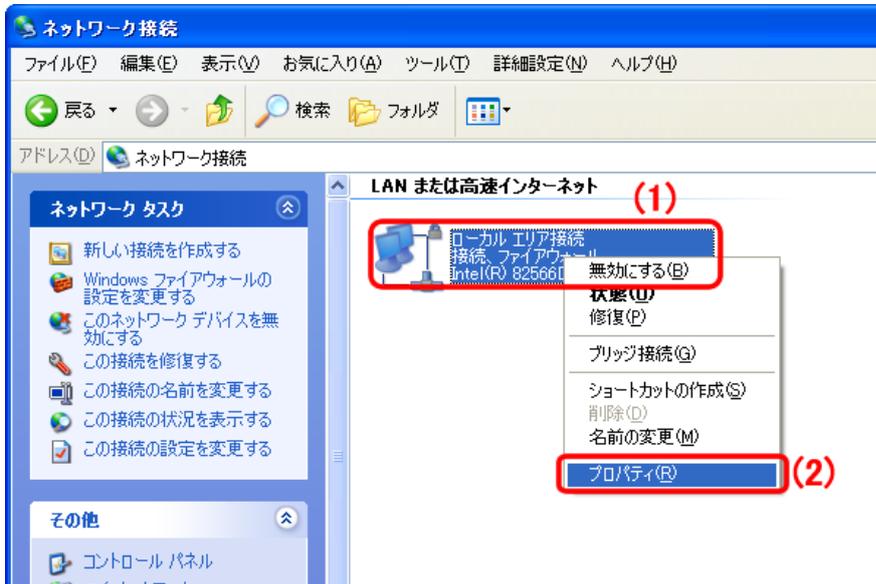


※ クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

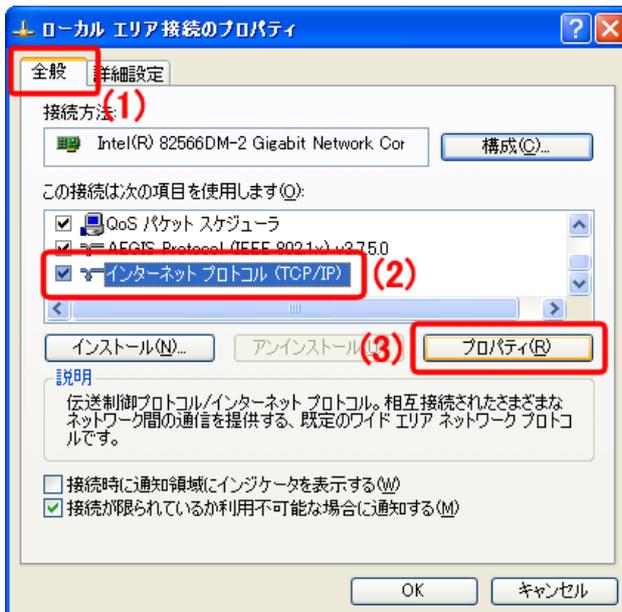


4. (1)「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
- (2)「プロパティ」をクリックします。



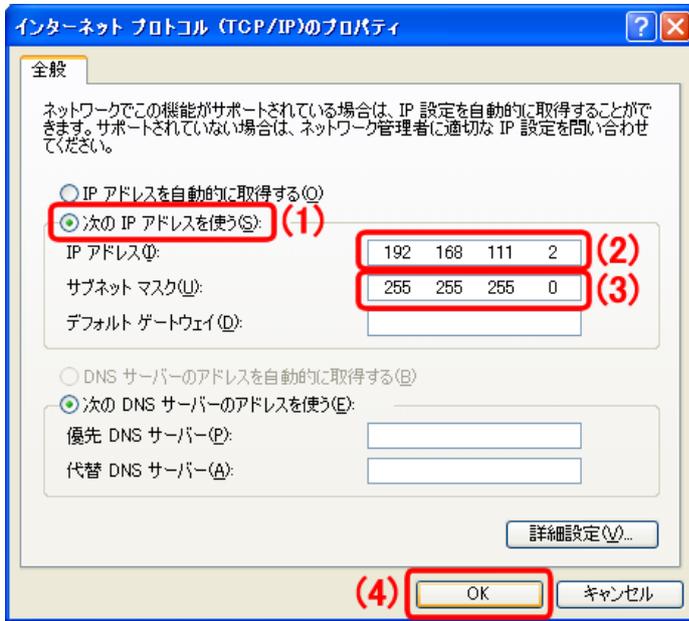
「ローカルエリア接続のプロパティ」が表示されます。

5. (1)「全般」タブをクリックします。
- (2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。
- (3)「プロパティ」をクリックします。



「インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ」が表示されます。

6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。
- (2)「IP アドレス」に「192.168.111.2」と入力します。
- (3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。
- (4) [OK] をクリックします。



※入力した値は、必ずメモをとって、いつでも参照できるように大切に保管してください。

「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

7. [閉じる] をクリックし、すべての画面を閉じます。



### 3.2.3 Mac OS X

※手順では Mac OS X 10.5 の画面で説明しています。表示される画面は、Mac OS のバージョンによって異なります。

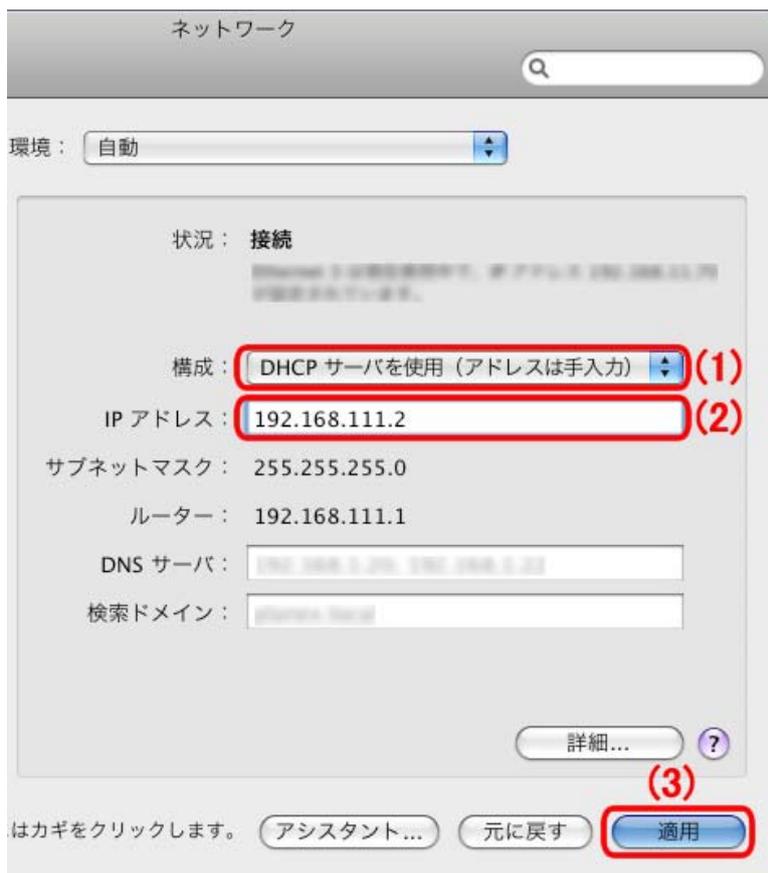
1. (1)「アップルメニュー」をクリックします。  
(2)「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



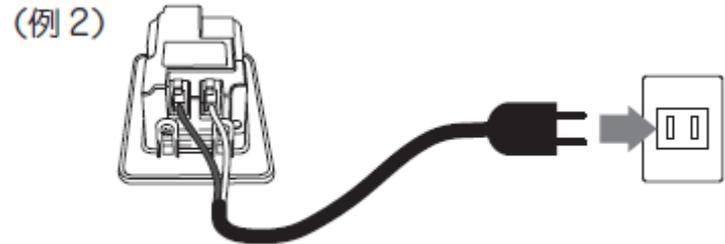
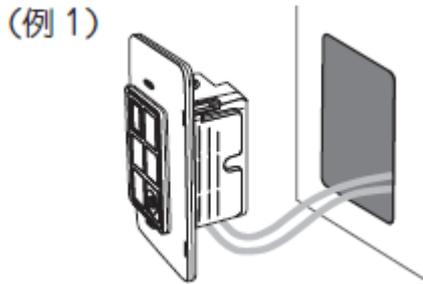
3. 画面左の「Ethernet...」をクリックします。  
 ※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「(内蔵)Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。
4. (1)「構成」から「DHCP サーバを使用(アドレスは手入力)」を選びます。  
 (2)「IP アドレス」に「192.168.111.2」と入力します。  
 (3) [適用] をクリックします。



上記の設定で本製品にログインできなかったときは、「構成」を「手入力」にし、「IP アドレス」に「192.168.111.2」を、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力して、再度ログインをお試しください。

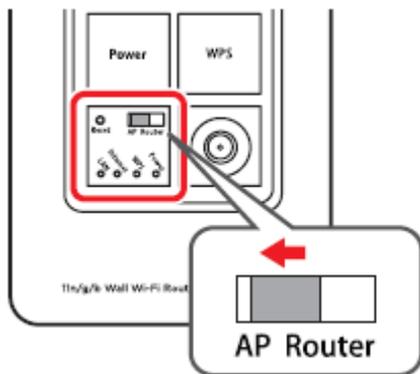
### 3.3 設定用パソコンを接続する

1. 設定用パソコンの電源をオフにします。
2. 本製品に電源が入る状態にします。

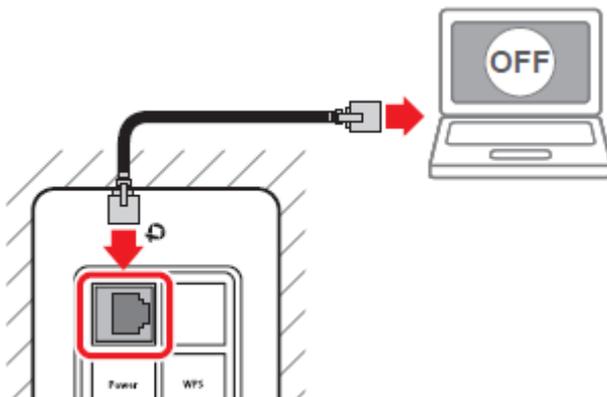


※ここでは、まだ壁に設置しないでください。また、本製品のInternetポートにLANケーブルを接続しないでください。  
(設置は「3.5 本製品を設置する」で行います。)

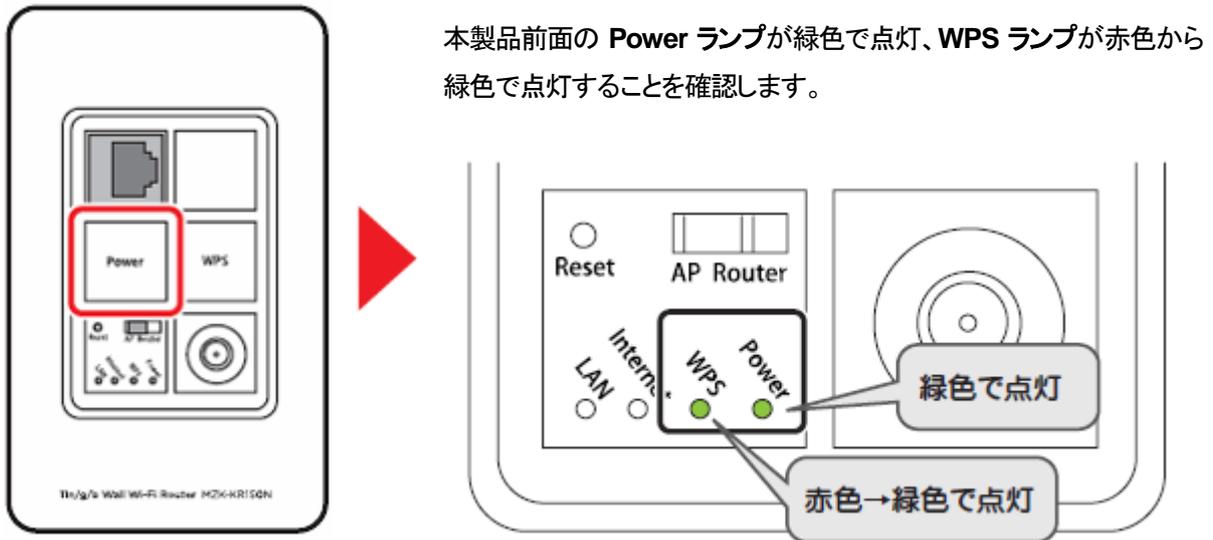
3. 本製品前面のモード切替スイッチを「AP」側にします。



4. 本製品前面のLANポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続します。



5. 本製品前面の **Power ボタン** を押して、電源をオンにします。



本製品が完全に起動するまで、約2分かかります。

6. 設定用パソコンの電源をオンにします。



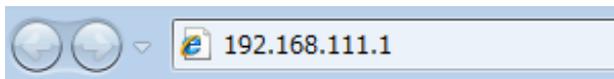
設定用パソコンの IP アドレスを元の設定に戻すときは、「■設定用パソコンを元の設定に戻す」を参照してください。

### 3.4 本製品の IP アドレスを設定する

本製品の LAN 側の IP アドレスを設定します。

※手順では Windows 7 で説明していますが、その他の OS も同じ手順となります。

1. 設定用パソコンの WEB ブラウザを起動します。
2. アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>キーを押します。



※ お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。そのときは起動するまでお待ちください。

3. (1) ユーザ名に「admin」、パスワードに「password」を半角英字で入力します。  
(2) [ログイン]をクリックします。



※左記のログイン画面が表示されずに、本製品の Internet ポートに接続しているルータのログイン画面が表示されたときは、接続しているルータの電源をオフにするか、本製品背面の Internet ポートから LAN ケーブルを抜いてください。

4. 次の画面が表示されます。  
パスワードを記憶させる場合は[はい]を、記憶させない場合は[いいえ]をクリックします。



※ お使いの環境により、表示される画面は異なります。

※ 上記の画面が表示されないときは、手順 5 へ進んでください。

5. WEB 設定画面が表示されます。



6. (1)メニューから「IP設定」→「LAN」をクリックして、「LANの設定」画面を表示します。
- (2)「IPアドレス」に「3.1 使用中のネットワークを調べる」の「本製品の新しいIPアドレス」を入力します。
- (3)「デフォルトゲートウェイ」に「3.1 使用中のネットワークを調べる」の「現在のルータのIPアドレス」を入力します。
- (4)「DHCP」が「無効」になっていることを確認します。
- (5) [適用]をクリックします。

**POINT**

- 以降、本製品の設定画面を開くときは、ここで設定した IP アドレスを上記「3.4 本製品の IP アドレスを設定する」の手順 2 で入力します。
- 上記画面の IP アドレスはサンプルです。実際にメモした値を入力してください。



7. 「設定の変更に成功しました！」と表示されます。

[OK]をクリックし、画面右上の  をクリックして画面を閉じてください。



※ エラー画面で表示されたときも同様に、画面を閉じてください。

## 3.5 本製品を設置する

付属の「**設置説明書**」を参照し、本製品の設置を行ってください。

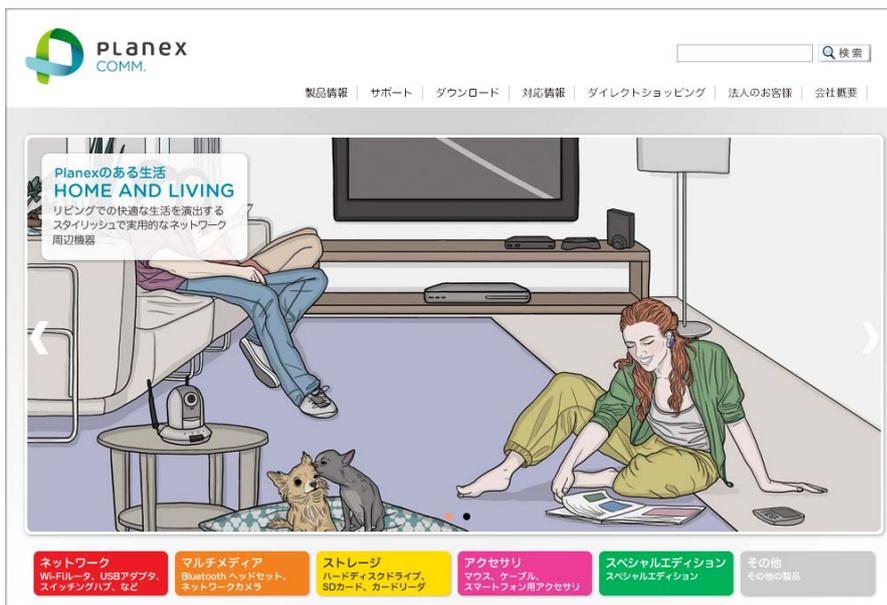


## 3.6 接続を確認する

最後にインターネットの接続を確認します。

お使いのパソコンの WEB ブラウザを起動し、ホームページが正しく表示されることを確認してください。

 **POINT** 設定用パソコンの IP アドレスを元の設定に戻すときは、「**■設定用パソコンを元の設定に戻す**」を参照してください。



(上記の画面は弊社ホームページを表示したときの例です。)

## ■設定用パソコンを元の設定に戻す

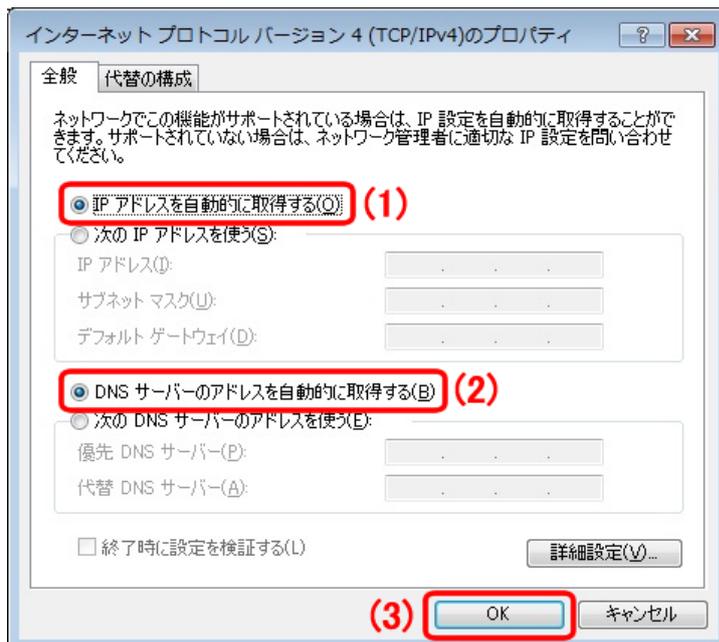
本製品の設定用に変更したパソコンの IP アドレスを元の設定に戻します。変更前にメモした内容に戻してください。

### Windows

※手順では Windows 7 で説明していますが、その他の Windows OS も同じ手順となります。

1. 「3.2 設定用パソコンを準備する」の手順 1 ～ 5 の操作を行います。
2. 《元の設定が IP アドレス自動取得のとき》
  - (1)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。
  - (2)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。
  - (3) [OK] をクリックします。

▼  
「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。



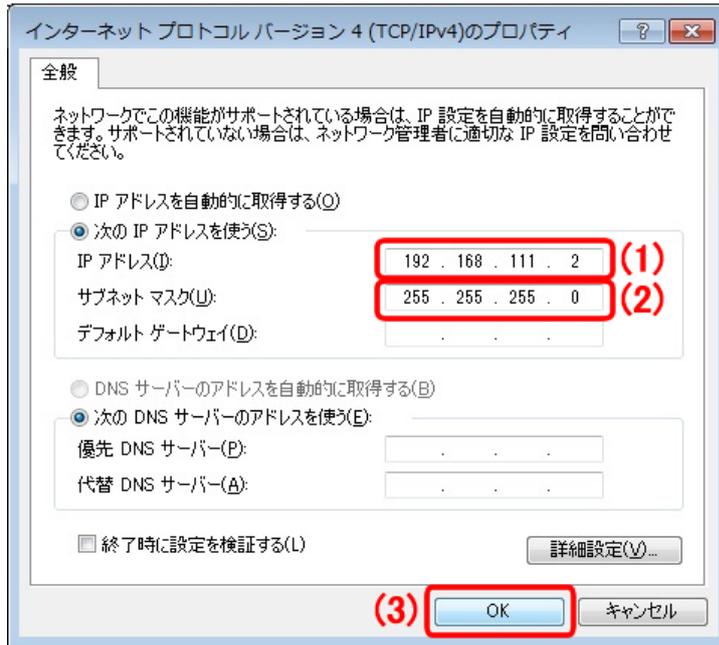
《元の設定が IP アドレス手動(固定)設定のとき》

- (1)「IP アドレス」に変更前の IP アドレスの値を入力します。
- (2)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力されていることを確認します。
- (3) [OK] をクリックします。

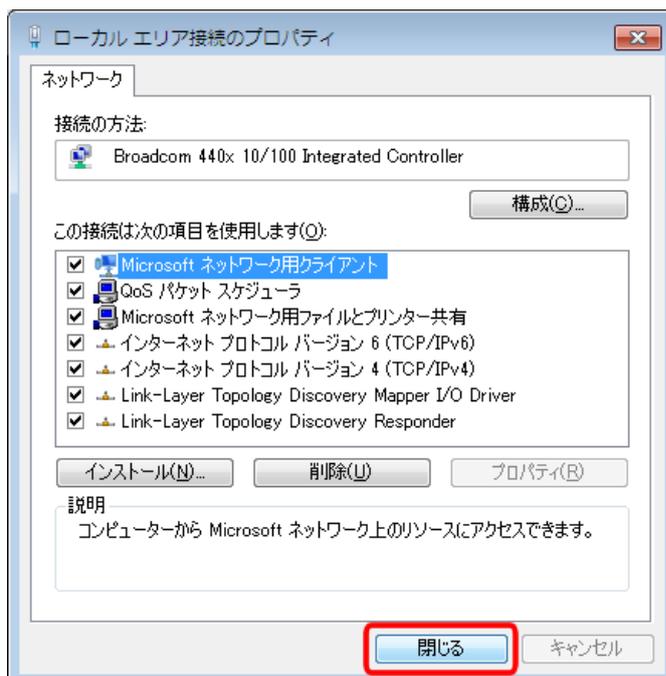


「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。

※デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの設定をしていたときは、変更前と同じ値を入力してください。



3. [閉じる] をクリックし、すべての画面を閉じます。



## Mac OS X

※手順では Mac OS X 10.5 の画面で説明しています。表示される画面は、Mac OS のバージョンによって異なります。

1. (1)「アップルメニュー」をクリックします。  
(2)「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 画面左の「Ethernet...」をクリックします。  
※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「(内蔵)Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

#### 4. 《元の設定が IP アドレス自動取得のとき》

- (1) 「構成」から「DHCP サーバを使用」を選びます。
- (2) [適用]をクリックします。

環境： 自動

状況： 接続

構成： DHCP サーバを使用 (1)

IP アドレス： 192.168.111.2

サブネットマスク：

ルーター：

DNS サーバ：

検索ドメイン：

詳細... ?

はカギをクリックします。 アシスタント... 元に戻す 適用 (2)

#### 《元の設定が IP アドレス手動(固定)設定のとき》

- (1) 「IP アドレス」に変更前の IP アドレスの値を入力します。
- (2) [適用]をクリックします。

環境： 自動

状況： 接続

構成： DHCP サーバを使用 (アドレスは手入力)

IP アドレス： 192.168.111.1 (1)

サブネットマスク： 255.255.255.0

ルーター：

DNS サーバ：

検索ドメイン：

詳細... ?

はカギをクリックします。 アシスタント... 元に戻す 適用 (2)

※ルーター、DNS サーバの設定をしていたときは、変更前と同じ値を入力してください。

※「構成」を「手入力」にしていたときは、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ルーター」、「DNS サーバ」に元の値を入力してください。

## 第 4 章 本製品に接続する

パソコンまたは iPhone/iPad から、本製品に Wi-Fi、または有線で接続します。該当する手順を参照してください。

### 4.1 パソコンから Wi-Fi 接続する

お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき ..... 「4.1.1 Windows 7」
- Windows Vista のとき ..... 「4.1.2 Windows Vista」
- Windows XP のとき ..... 「4.1.3 Windows XP」
- Mac OS X のとき ..... 「4.1.4 Mac OS X」

#### 4.1.1 Windows 7

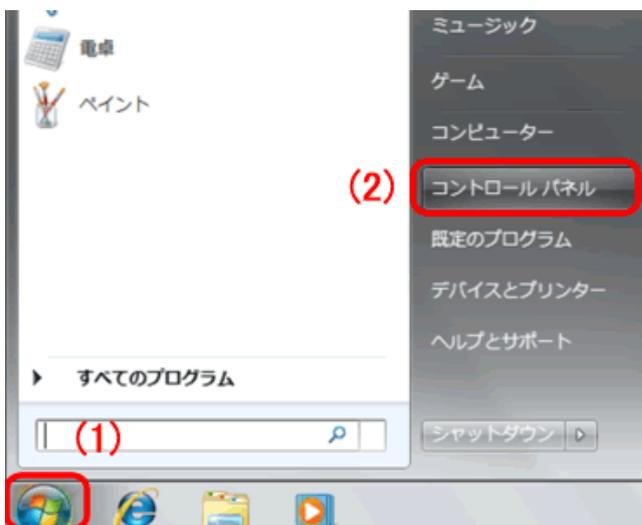


**POINT**

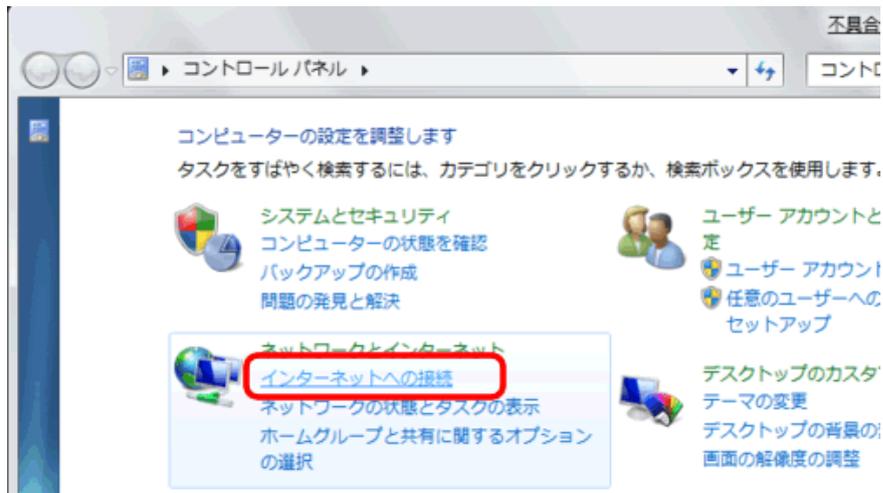
内蔵無線 LAN を有効にするための「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、あらかじめ「オン」にしてください。

操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

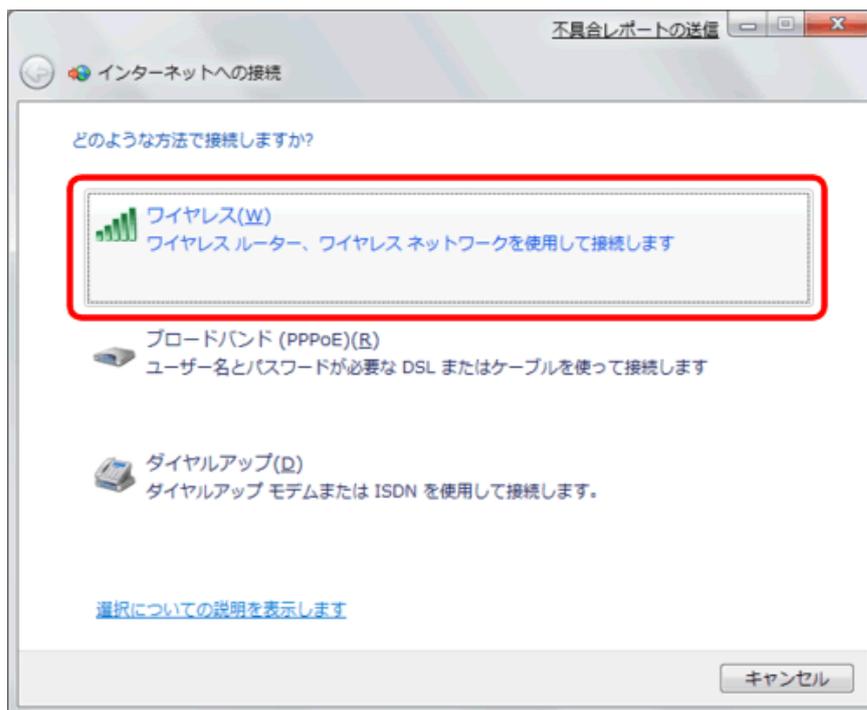
1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「インターネットへの接続」をクリックします。



3. 「ワイヤレス(W)」をクリックします。



4. 本製品の SSID(ネットワーク名)に接続します。
- (1)「ap-pc-●●●●●●」を選択します。
  - (2)「自動的に接続する」にチェックを入れます。
  - (3)「接続」をクリックします。

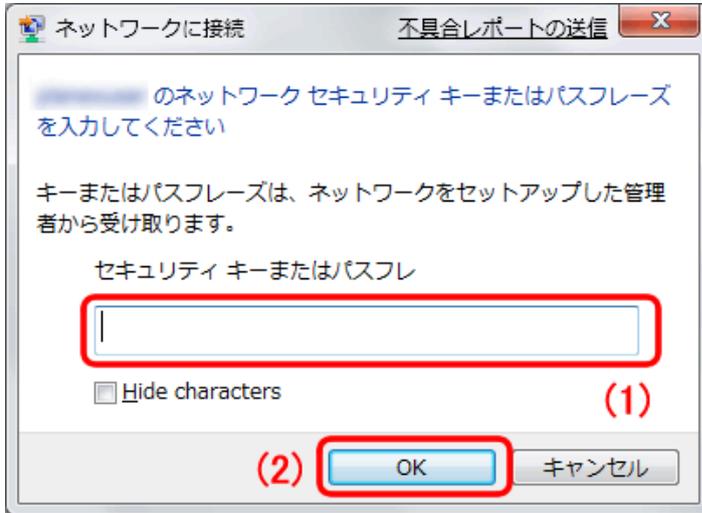


- 本製品に初期設定されている SSID(ネットワーク名)は、本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。本製品背面のラベルでもご確認いただけます。

出荷時 設定値	SSID : ap-pc-●●●●●●
	ユーザ名 : admin
	パスワード : password

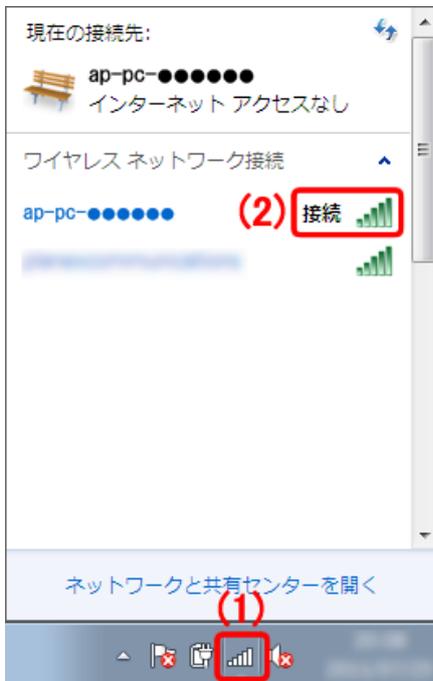
- 「●●●●●●」の部分は製品ごとに異なります。
- 「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - 画面右上の  をクリックして更新してください。
  - 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

5. 本製品の暗号化キーを入力します。
  - (1)「12345678」を半角英字で入力します。
  - (2) [OK]をクリックします。



 「接続できませんでした」と表示されたときは、入力に誤りがあります。  
[キャンセル]をクリックし、もう一度手順 1 から接続してください。

6. 接続状態になっているか確認します。
  - (1)画面右下のシステムトレイの「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをクリックします。
  - (2)「接続」と表示されていることを確認します。



 ● 「制限付きアクセス」など表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、「接続」と表示されているか確認してください。

● ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

7. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選びます。
 

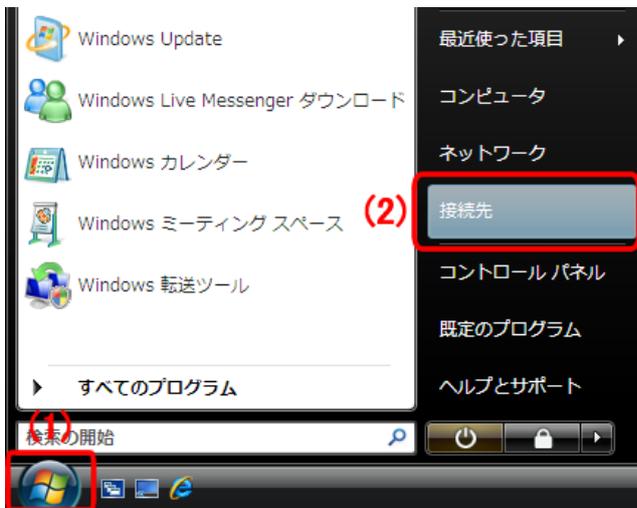
※ 画面の説明は、左下の「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

## 4.1.2 Windows Vista

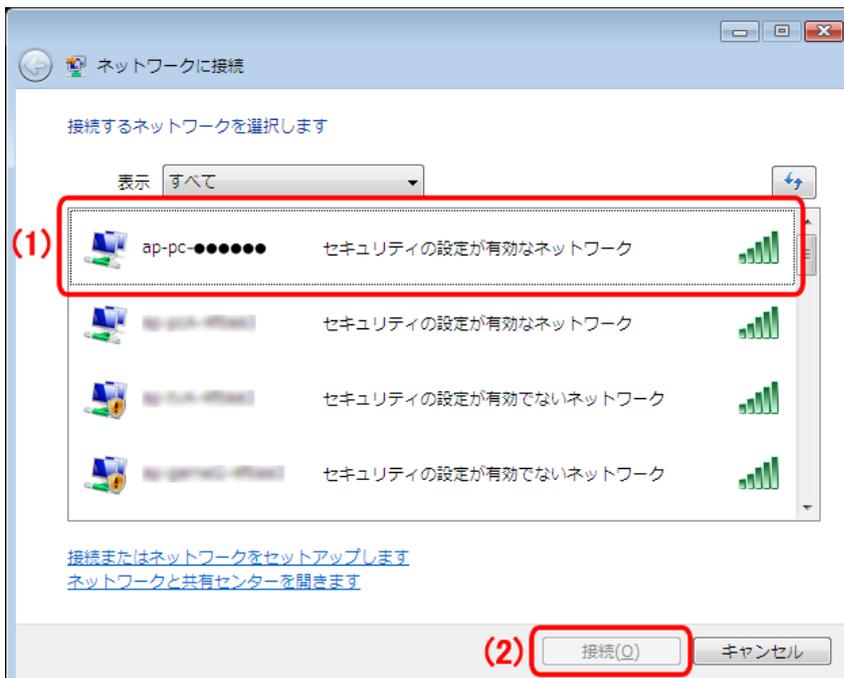


内蔵無線 LAN を有効にするための「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、あらかじめ「オン」にしてください。  
操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「接続先」をクリックします。



2. 本製品の SSID(ネットワーク名)に接続します。
- (1)「ap-pc-●●●●●●」を選択します。
- (2)「接続」をクリックします。





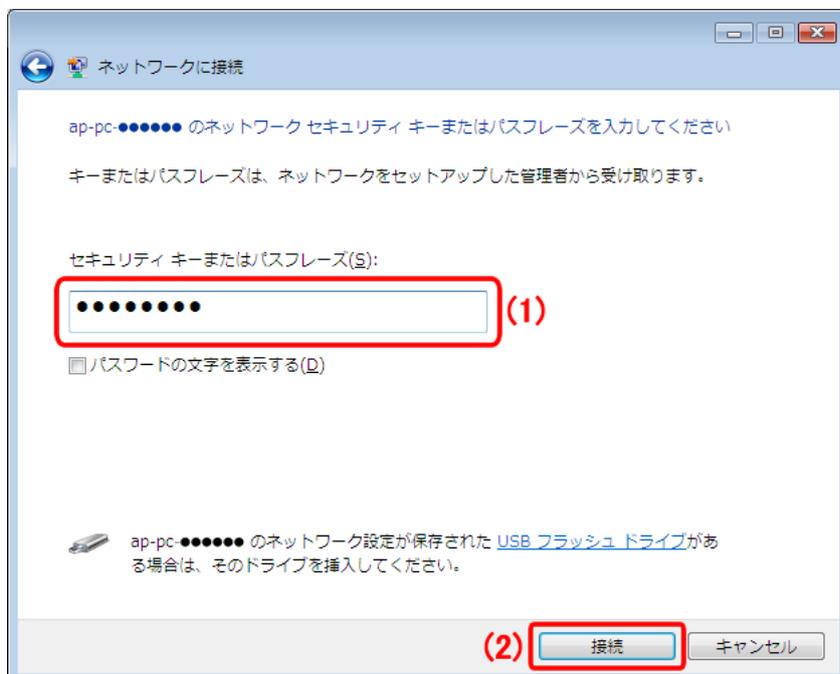
- 本製品に初期設定されている SSID(ネットワーク名)は、本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。本製品背面のラベルでもご確認いただけます。

出荷時 設定値	SSID : ap-pc-●●●●●●●●
	ユーザ名 : admin
	パスワード : password

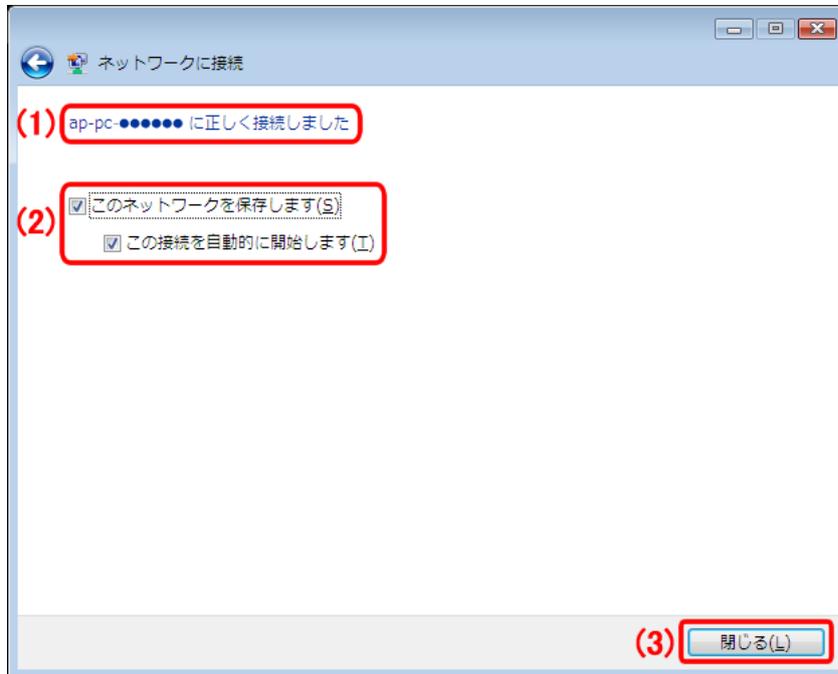
- 「●●●●●●●●」の部分は製品ごとに異なります。
- 「ap-pc-●●●●●●●●」が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - 画面右上の  をクリックして更新してください。
  - 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

3. 本製品の暗号化キーを入力します。

- (1)「12345678」を半角英字で入力します。
- (2) [接続] をクリックします。



4. (1)「ap-pc-●●●●●●●●●●に正しく接続しました」と表示されることを確認します。  
(2)「このネットワークを保存します」と「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れます。  
(3) [閉じる] をクリックします。



- 「接続に失敗しました」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただい  
てから、もう一度手順 1 から接続してください。
- ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可して  
ください。

5. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選びます。



- ※ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[続行]をクリックし、次の画面で[閉じる]をクリックします。
- ※ 上記の画面が表示されないときは、本手順は終了です。
- ※ 上記の画面について、詳しくは画面左下の「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して設定してください。

### 4.1.3 Windows XP



内蔵無線 LAN を有効にするための「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、あらかじめ「オン」にしてください。  
操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
- (2)「コントロールパネル」をクリックします。

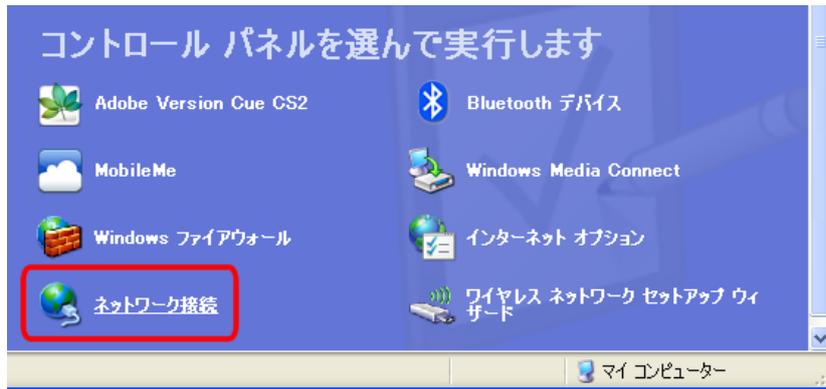


2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

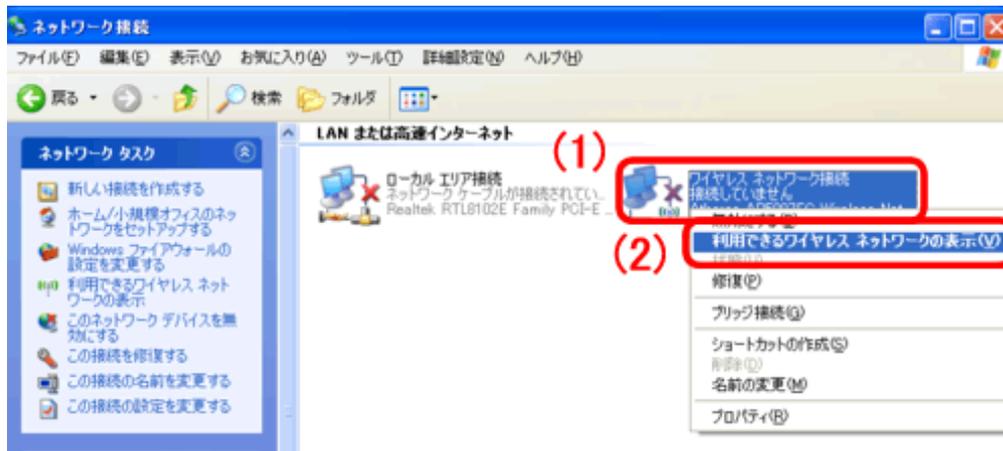


※ クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



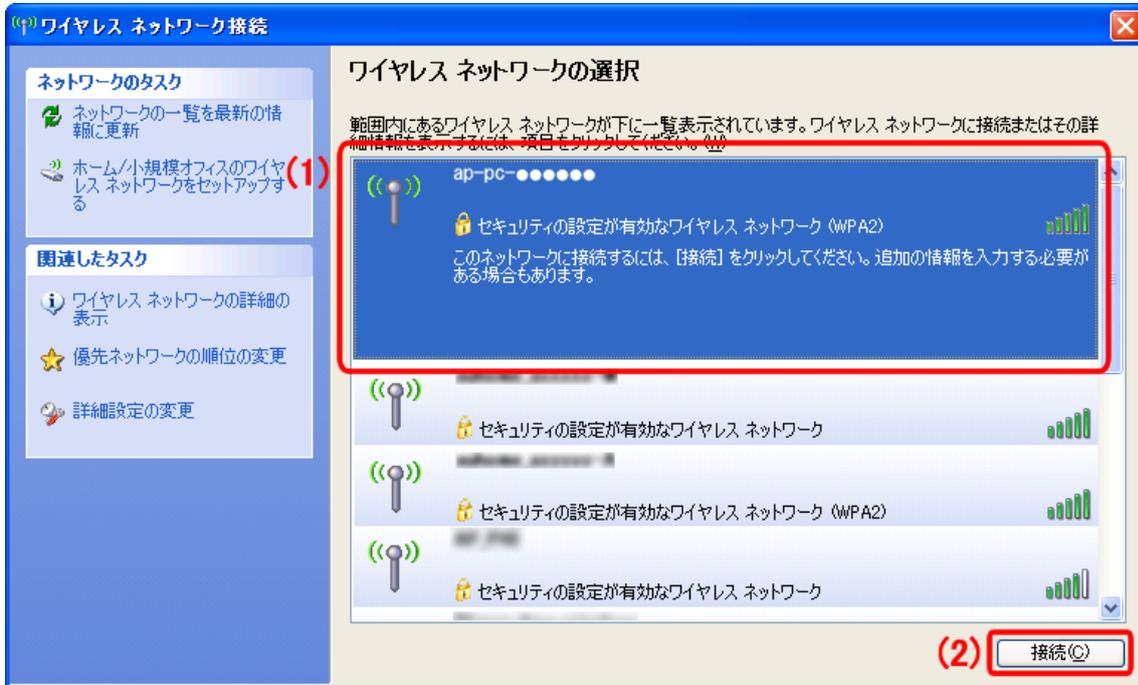
4. (1)「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックします。  
(2)「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックします。



## 5. 本製品の SSID(ネットワーク名)に接続します。

(1)「ap-pc-●●●●●●」を選択します。

(2) [接続] をクリックします。



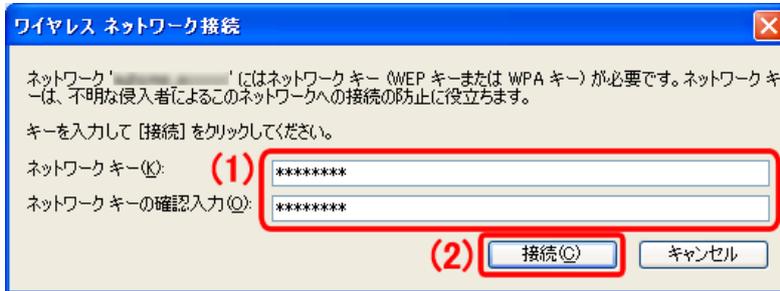
## POINT

- 本製品に初期設定されている SSID(ネットワーク名)は、本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。本製品背面のラベルでもご確認ください。

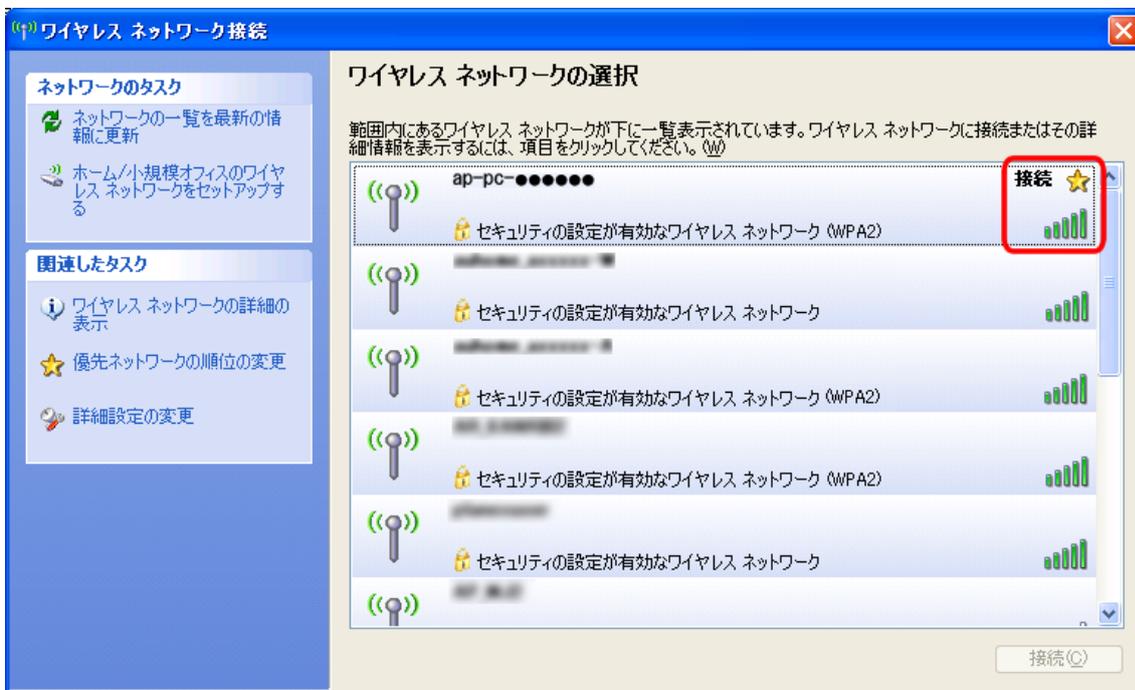
出荷時 設定 値	SSID : ap-pc-●●●●●●
	ユーザ名 : admin
	パスワード : password

- 「●●●●●●」の部分は製品ごとに異なります。
- 「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - 画面左の「ネットワークの一覧を最新に更新」をクリックして更新してください。
  - 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

6. 本製品の暗号化キーを入力します。
  - (1)「12345678」を半角英字で入力します。
  - (2) [接続] をクリックします。



7. 「接続」と表示されていることを確認します。



 ● 「ネットワークアドレスの取得中」から「接続」に切り替わらないときは、「暗号化キー」に間違いがあります。[切断] をクリックし、もう一度手順 1 から接続してください。

● ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

#### 4.1.4 Mac OS X

※手順では Mac OS X 10.5 の画面を使って説明しますが、Mac OS X 10.7/10.6/10.4 も同じ操作となります。

(お使いの環境によって、多少画面が異なる場合があります。)

- (1) 画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。
- (2) 「AirMac を入にする」をクリックします。



※「AirMac を切にする」と表示されているときは、手順 2 へ進んでください。

- 本製品の SSID(ネットワーク名)に接続します。
  - (1) 画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。
  - (2) 「ap-pc-●●●●●●」をクリックします。



POINT

- 本製品に初期設定されている SSID(ネットワーク名)は、本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。本製品背面のラベルでもご確認いただけます。

出荷時 設定値	SSID : ap-pc-●●●●●●
	ユーザ名 : admin
	パスワード : password

- 「●●●●●●」の部分は製品ごとに異なります。
- 「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、もう一度メニューバーの「AirMac」をクリックしてください。

3. 本製品の暗号化キーを入力します。
  - (1)「12345678」を半角数字で入力します。
  - (2) [OK]をクリックします。



 「接続で問題がありました」と表示されたときは、「暗号化キー」に間違いがあります。[OK]をクリックし、もう一度手順 1 から接続してください。

4.
  - (1) 画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。
  - (2) 「ap-pc-●●●●●●※」にチェックマーク(✓)が付いていることを確認します。



※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。

## 4.2 iPhone/iPad から Wi-Fi 接続する

iPhone/iPad から本製品に Wi-Fi 接続します。

※以下の手順は iPhone の画面で説明しています。iPad を使用するときは、以下の手順を参考に接続してください。

1. 「設定」-「Wi-Fi」をタッチし、Wi-Fi をオンにします。



2. 「ワイヤレスネットワークを選択」で、「ap-pc-●●●●●●●●」をタッチします。



POINT

- 本製品に初期設定されている SSID(ネットワーク名)は、本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。本製品背面のラベルでもご確認いただけます。

出荷時設定値	SSID : ap-pc-●●●●●●●●
	ユーザ名 : admin
	パスワード : password

- 「●●●●●●●●」の部分は製品ごとに異なります。

3. 本製品の暗号化キーを入力します。
  - (1)「12345678」を半角数字で入力します。
  - (2)「JOIN」をタッチします。

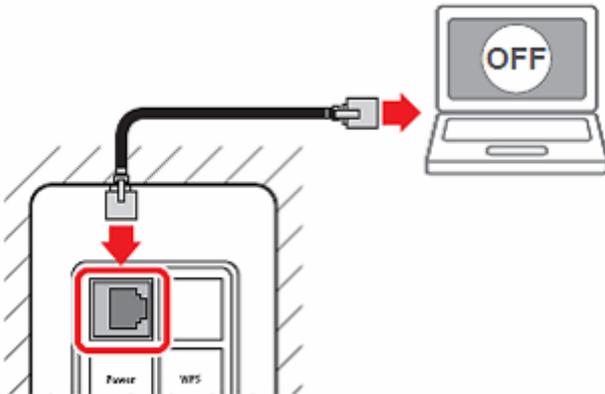


4. 手順 2 でタッチした SSID(ネットワーク名)の左に、チェックマーク(✓)が表示されていることを確認します。



## 4.3 有線でパソコンと接続する

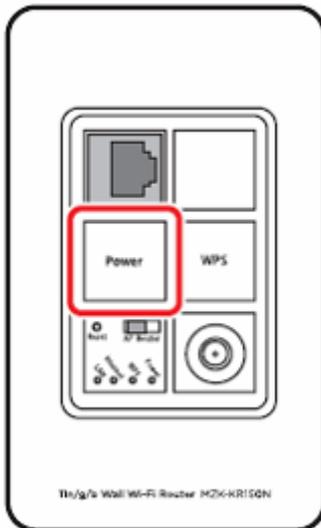
1. パソコンの電源をオフにします。
2. 本製品前面の LAN ポートと、パソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



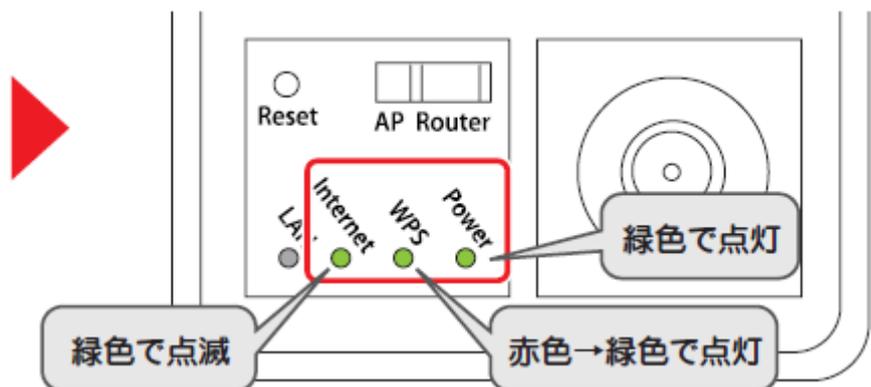
3. 本製品前面の Power ボタンを押して、電源をオンにします。



ブレーカーをオフにしているときは、オンにしてください。



本製品前面の Power ランプが緑色で点灯、WPS ランプが赤色から緑色で点灯、Internet ランプが緑色で点滅することを確認します。



本製品が完全に起動するまで、約2分かかります。

4. パソコンの電源をオンにします。

## 4.4 WPS ボタンを使って接続する

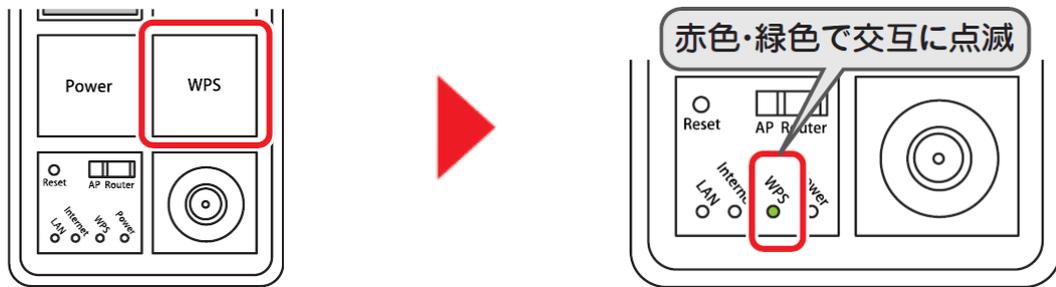
ご利用の Wi-Fi 子機が WPS 機能に対応している場合は、本製品前面の **WPS ボタン** を使って、簡単に Wi-Fi 設定を行うことができます。



複数台の機器を Wi-Fi 接続する場合には、手動にて「SSID:ap-pc-●●●●●●●●」、  
「暗号化キー:12345678」をそれぞれ設定してください。

1. 本製品前面の WPS ボタンを 5 秒以上押します。

WPS ランプが赤色と緑色で交互に点滅します。

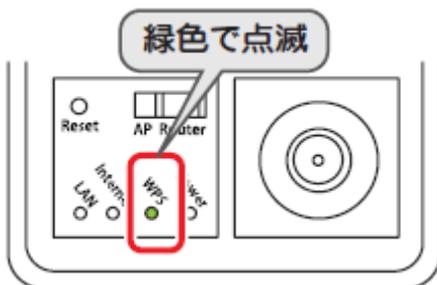


2. Wi-Fi 子機の WPS ボタン、または接続ユーティリティ上の WPS ボタンを押します。



- 本製品の WPS ボタンを押してから 2 分以内に操作を行ってください。
- WPS ボタンの有無や位置については、各機器で異なります。詳しくは、お使いの Wi-Fi 子機の取扱説明書をご確認ください。

3. 本製品の WPS ランプが緑色の点滅になったら、接続は完了です。



## 第5章 本製品を使いこなす

### 5.1 暗号化を設定・変更する

ここでは、暗号化の設定・変更方法を説明します。

 **POINT** 本製品には、あらかじめ以下のネットワーク名 (SSID) に暗号化が設定されています。

初期設定の暗号化を変更するときや、新たにネットワーク名 (SSID) を追加したときに設定を行ってください。

- ・ネットワーク名 (SSID) : ap-pc-●●●●●●●●

※「●●●●●●●●」は製品ごとに異なります。本製品前面のカバーを外して、ラベル内にある「SSID」をご確認ください。

- ・暗号化キー : 12345678
- ・認証方式 : WPA2
- ・暗号化方式 : AES
- ・キーフォーマット : パスフレーズ

1. (1)「無線LAN」をクリックします。
- (2)「セキュリティ」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



**無線LANのセキュリティ設定**

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いた無線ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

SSIDの選択: ap-pc-... [適用] [リセット]

暗号化方式: WPA2

認証方式:  パーソナル (共有キー)

2. 暗号化(セキュリティ)の設定をします。

 **POINT**

- ・ 本製品にパソコンやスマートフォンを Wi-Fi 接続するときは、下記の「WPA2 で設定するとき」より設定してください。
- ※ 一部のスマートフォンは「WPA2」に対応していない機種があります。事前にお使いの機種が「WPA2」に対応しているか確認してください。
- ・ 本製品にゲーム機を Wi-Fi 接続するときは、次ページの「WEP で設定するとき」より設定してください。

WPA2 で設定するとき

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

---

SSIDの選択: (1)  (6)

---

暗号化方式: (2)

認証方式:  パーソナル (共有キー)

WPA2 暗号化: (3)  TKIP  AES

共有キーフォーマット (4)

共有キー: (5)

(1)暗号化を設定したい SSID(ネットワーク名)を選びます。

(2)「暗号化方式」で、「WPA2」を選びます。

(3)「WPA2 暗号化」で、「AES」を選びます。

(4)「共有キーフォーマット」で、「パスフレーズ」を選びます。

(5)8～63 文字の間で暗号化キーを入力します。

※暗号化キーは、数字「0～9」と英字「a～z、A～Z」を組み合わせた値で入力してください。

(6) [適用] をクリックします。

(7)手順 3 に進みます。

## WEP で設定するとき

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

(1) SSIDの選択: ap-pc- (7) [適用] [リセット]

暗号化方式: (2) WEP

認証方式: (3)  オープン  共有  自動

キー長: (4) 64-bit

キーフォーマット: (5) ASCII(5文字)

暗号キー: (6) [ ]

(1) 暗号化を設定したい SSID(ネットワーク名)を選びます。

(2) 「暗号化方式」で、「WEP」を選びます。

(3) 「認証方式」で、「自動」を選びます。

(4) 「キー長」で、「64-bit」を選びます。

(5) 「キーフォーマット」で、「ASCII(5文字)」を選びます。

(6) 暗号化キーを 5 文字で入力します。

※暗号化キーは、数字「0～9」と英字「a～z、A～Z」を組み合わせた値で入力してください。

(7) [適用]をクリックします。

(8) 手順 3 に進みます。

3. 設定が保存されます。

設定の変更に成功!

設定を適用中です。しばらくお待ちください。23 秒....

4. 「セキュリティ」画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

## 5.2 マルチ SSID を設定する

ここでは、マルチ SSID の設定方法を説明します。

本製品は最大 5 つの SSID を登録して使用することができます。必要に応じて 2 つ目以降の SSID を設定し、通信制御やセキュリティ設定を行います。

本製品は、設定できる SSID を「SSID」(メイン)、「AP1」～「AP4」として扱います。



マルチ SSID とは、1 台の無線アクセスポイントに複数の SSID を登録して、複数の無線アクセスポイントがあるかのように使うことができる機能です。

- (1)「無線LAN」をクリックします。
- (2)「基本設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

Router

- クイックセットアップ
- IP設定
- 無線LAN (1)
- 基本設定 (2)
- 詳細設定
- セキュリティ
- アクセスコントロール
- WDS設定
- WPS

### 無線LANの基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼ 仮想AP

SSID: ap-pc-...

2. [仮想 AP]をクリックします。

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▾

動作モード: AP ▾ **仮想AP**

SSID: ap-pc-

チャンネル幅: 40MHz ▾

チャンネル: 自動 ▾

SSIDの通知: 有効 ▾

WMM: 有効 ▾

伝送速度: Auto ▾

接続中のクライアント:

3. 仮想 AP 一覧画面が表示されますので、この画面で AP1～AP4 の設定を行います。

仮想APの無線設定の表示や更新を行います。

仮想 AP	有効	帯域	SSID	伝送速度	SSIDの通知	WMM	接続許可	クライアント
AP1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▾	<input type="text"/>	Auto ▾	有効 ▾	有効 ▾	WAN ▾	<input type="button" value="一覧表示"/>
AP2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▾	<input type="text"/>	Auto ▾	有効 ▾	有効 ▾	LAN+WAN ▾	<input type="button" value="一覧表示"/>
AP3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▾	<input type="text"/>	Auto ▾	有効 ▾	有効 ▾	LAN+WAN ▾	<input type="button" value="一覧表示"/>
AP4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▾	<input type="text"/>	Auto ▾	有効 ▾	有効 ▾	LAN+WAN ▾	<input type="button" value="一覧表示"/>

- (1) 追加する「AP1」～「AP4」の「有効」のチェックボックスにチェックを入れます。
- (2) 任意にネットワーク名を入力します。  
※ネットワーク名は半角英数字 32 文字以内で入力してください。
- (3) [適用]をクリックします。

4. 設定が保存されます。

**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。23 秒....

5. 「仮想 AP」画面に戻ります。

以上で設定は完了です。



引き続き新たに追加した SSID の暗号化を行なうときは、「5.1 暗号化を設定・変更する」を参照してください。

## 5.3 SSID を非表示にする

ここでは、SSID を非表示にする設定方法を説明します。

- (1)「無線LAN」をクリックします。
- (2)「基本設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

Router

- クイックセットアップ
- IP設定
- 無線LAN (1)
- 基本設定 (2)
- 詳細設定
- セキュリティ
- アクセスコントロール
- WDS設定
- WPS

### 無線LANの基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼ 仮想AP

SSID: ap-pc-...

2. 設定します。

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼

SSID: ap-pc- [REDACTED]

チャンネル幅: 40MHz ▼

チャンネル: 自動 ▼

SSIDの通知: (1) 無効 ▼

WMM: 有効 ▼

伝送速度: Auto ▼

接続中のクライアント:

- (1) SSID の通知で「無効」を選びます。
- (2) [適用]をクリックします。

 **POINT** マルチ SSID を非表示にするときは、上記画面で[仮想 AP]をクリックし、仮想 AP の画面で「SSID の通知」を無効にしてください。

仮想 AP	有効	帯域	SSID	伝送速度	SSIDの通知	WMM	接続許可	クライアント
AP1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼	[REDACTED]	Auto ▼	無効 ▼	有効 ▼	WAN ▼	<input type="button" value="一覧表示"/>
AP2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼ (1)	有効 ▼	LAN+WAN ▼	<input type="button" value="一覧表示"/>
AP3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼	有効 ▼	LAN+WAN ▼	<input type="button" value="一覧表示"/>
AP4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼	有効 ▼	LAN+WAN ▼	<input type="button" value="一覧表示"/>

3. 設定が保存されます。

**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。23 秒....

4. 「基本設定」画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

## 5.4 ダイナミック DNS を設定する

### 5.4.1 ダイナミック DNS の登録

ここでは、ダイナミック DNS の登録方法を説明します。

本製品は、「CyberGate - DDNS -」、「DynDNS」などのダイナミック DNS サービスに対応しています。

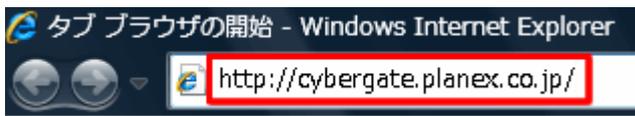
本製品にダイナミック DNS の設定をするときは、あらかじめダイナミック DNS 側の登録を済ませておいてください。

本紙では、「CyberGate - DDNS -」の登録方法をご紹介します。

既にダイナミックDNSサービスの登録が完了しているときは、「5.4.2 ダイナミックDNSの設定」より本製品の設定を行ってください。

#### アカウントの登録

1. WEB ブラウザのアドレス欄に「<http://cybergate.planex.co.jp/>」を入力し、「CYBER GATE」のホームページを表示します。



2. CyberGate - DDNS -のトップページの右メニュー[会員登録]をクリックします。



※「adobe Flash Player」がインストールされていないときは、インストール画面が表示されますので、インストールを実行してください。

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい]または[続行]をクリックしてください。

3. 「会員規約」が表示されます。規約内容を確認が終わったら[同意する]をクリックします。



## 4. 「メールアドレス入力フォーム」が表示されます。

(1) メールアドレスを入力します。

\*は必須項目になります。

(2) [規約に同意してメールアドレス送信]をクリックします。

(\*)の項目は入力必須です。

メールアドレス\* (1)

CyberGateに関するメールマガジン  希望する

規約に同意しない (2)

運営会社概要 | 会員規約 | 個人情報保護方針について \*製品の仕様は、予告

「XXXX@XXXX.XX.XX 宛にメールを送信しました。」が表示されます。

## 5. 「CyberGate 登録確認」メールが登録したメールアドレス宛てに届きます。

「http://cybergate.planex.co.jp/cgi-bin/…」で始まるキーフレーズをクリックします。

CyberGateへようこそ。  
サービスの申込みをご希望の方は次のリンクをクリックしてください。  
新規会員登録へ進みます。

<https://cybergate.planex.co.jp/cgi-bin/signup-selservice.cgi?mail=%f5%2e%1e%2d%3b9%b5%2e%ff>

ご注意: 上記リンクの有効期限は2日間となります。期限が切れた情報での再登録はできませんので予めご了承ください。

この電子メールの受信に心当たりのない場合は、お客様側で登録のキャンセルを行っていただく必要はありません。  
CyberGateで登録情報を無効いたしますので、今後お客様に電子メールが送信されることはありません。

## 6. 「サービス選択」が表示されます。

(1) 「DDNS」にチェックを入れます。

(2) [登録情報入力画面へ]をクリックします。

## サービス選択

ご利用になりたいサービスを選択してください。  
CyberGateのみに登録する場合はこのまま「登録情報入力画面へ」をクリックしてください。  
各サービスの詳細を知りたい場合はサービス名をクリックしてください。

LIVE  
 DDNS (1)  
 Sync

(2)

7. 「サイバーゲート登録情報入力」が表示されます。

※「ユーザ ID」と「パスワード」は後の手順で使用するの、メモなどに控えてください。

(1) 以下の内容を入力します。

- ・姓 : 全角で姓を入力します。
- ・名 : 全角で名前を入力します。
- ・ユーザ ID : 半角小文字英数字でご希望のユーザ ID を入力します。(3～32 文字)
- ・パスワード : 半角小文字英数字でご希望のパスワードを入力します。(3～32 文字)
- ・パスワード確認 : 上記で入力したパスワードを再度入力します。

(2) 「CyberGate-DDNS の規約に同意する」にチェックを入れます。

(3) [確認] をクリックします。

8. 「サイバーゲート登録情報入力」の確認画面が表示されます。

登録内容を確認し、[登録] をクリックします。

9. 登録の完了です。お手元に「CyberGate -DDNS- 登録完了」メールが届きます。

**サイバーゲート登録完了**

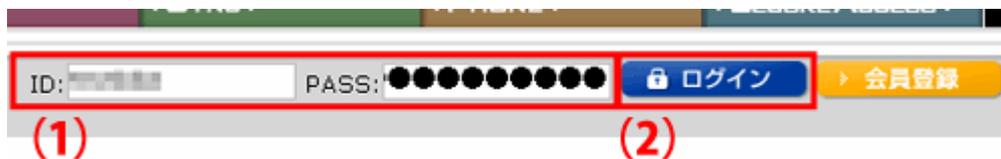
サイバーゲートの登録を行いました。

**DDNS登録成功**

以上で登録は完了です。

## ホスト名の登録

1. 「CyberGate -DDNS- 登録完了」メールから CyberGate のトップページを開き、登録した「ID」と「パスワード」を入力して[ログイン]をクリックしてください。



2. ログインするとユーザ管理ページが表示されます。



3. ダイナミック DNS の設定を行います。  
右メニューの「CYBER GATE DDNS」をクリックします。



## 4. 「CyberGate - DDNS -ホストの追加」を選択します。



## 5. 「サブドメイン」、「ドメイン」設定画面が表示されます。

※「サブドメイン」と「ドメイン」は後の手順で使用するので、メモなどに控えてください。

- (1)「ご希望のサブドメイン」に任意のサブドメインを入力します。
- (2)ご希望のドメインを選びます。
- (3) [確認] をクリックします。

サブドメインの文字数は4文字～20文字です。  
最大10個まで登録可能です。  
登録方法の確認はこちらへ。

(1)  
ご希望のサブドメイン \* ご希望のドメイン

確認

(2)

(3)

-DDNS- メニューへ

## 6. [送信] をクリックします。

サブドメインの文字数は4文字～20文字です。  
最大10個まで登録可能です。  
登録方法の確認はこちらへ。

ご希望のサブドメイン \* ご希望のドメイン

送信 戻る

-DDNS- メニューへ

7. 「登録しました」が表示された後、「現在登録中の DDNS ホスト名一覧」が表示されます。

現在登録中のDDNSホスト名一覧

ホスト名	IPアドレス	IPアドレス変更	削除
192.168.1.100.luna.ddns.vc	オフライン	変更	削除

新たにDDNSのホスト名を取得する場合はここをクリック。

[-DDNS- メニューへ](#)

以上で設定は完了です。

引き続き、「5.4.2 ダイナミックDNSの設定」より本製品の設定を行ってください。

## 5.4.2 ダイナミック DNS の設定

ここでは、ダイナミック DNS の設定方法を説明します。

本製品に登録したダイナミック DNS の情報を設定します。

本製品に登録しているユーザー名、パスワード等を設定することで、本製品の WAN 側の IP アドレスを定期的にダイナミック DNS サービスに通知します。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

1. (1)「IP設定」をクリックします。  
(2)「ダイナミックDNS」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



2. ダイナミック DNS(CyberGate)の設定をします。

ダイナミックDNS(DDNS)サービスとは、インターネットプロバイダ等から与えられたIPアドレスに関係なく固有のホスト名を利用することができるサービスです。

---

DDNSを有効にする (1)

DDNSプロバイダ : CyberGate (2)

ドメイン名 : [ ] luna.ddns.vc (3)

パスワード : [ ] (4)

更新間隔: 24:00 (5)

- (1)「DDNS を有効にする」にチェックを入れます。
- (2)「CyberGate」を選びます。
- (3)「CyberGate」で登録したサブドメイン名を入力し、ドメイン名を選びます。
- (4)「CyberGate」で登録したパスワードを入力します。
- (5) [適用]をクリックします。

 **POINT** ダイナミック DNS の設定例は以下を参考にしてください。

DDNS プロバイダ : CyberGate

ドメイン名 : test /planex.ddns.vc(プルダウンメニューから選択)  
※test.planex.ddns.vc のとき

パスワード : \*\*\*\*\*

5. 「ダイナミック DNS の設定」画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

ネットワークカメラを公開したり、本製品のLAN側にある機器(パソコンなど)をサーバとして公開するときは、引き続き、「5.4.3 ポートを開放する(仮想サーバ)」を参照してください。

### 5.4.3 ポートを開放する（仮想サーバ）

ここでは、ポート開放（仮想サーバ）の設定方法を説明します。

ネットワークカメラを公開したり、本製品の LAN 側にある機器（パソコンなど）をサーバとして公開するときに利用します。特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあったとき、本製品の LAN 側にある機器（パソコンなど）に通信を転送する設定を行います。

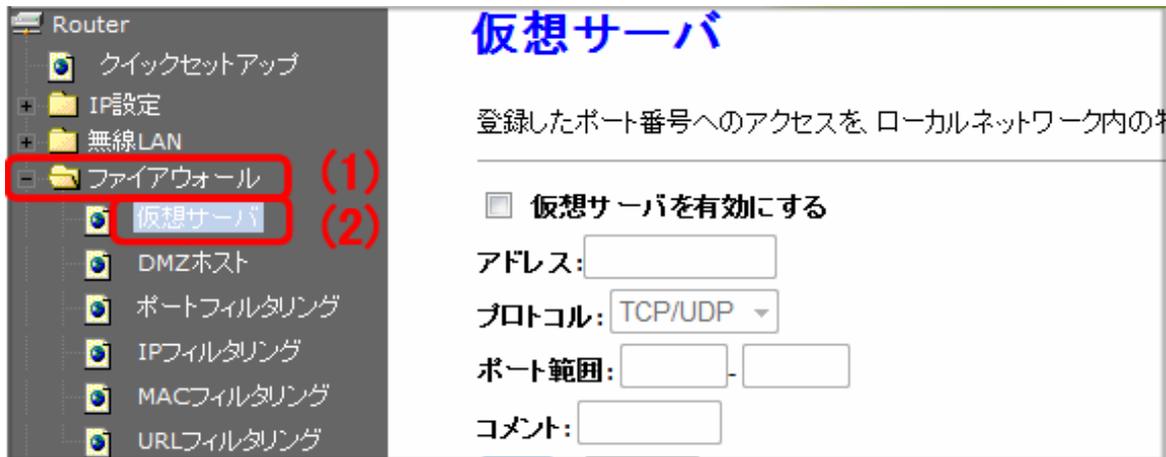


- 最大 20 個まで設定できます。
- 本設定は、ルータモードのみ有効となります。
- パソコンの IP アドレスは、手動で設定する方法を推奨します。

1. (1)「ファイアウォール」をクリックします。
- (2)「仮想サーバ」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



## 2. 仮想サーバを設定します。

登録したポート番号へのアクセスを、ローカルネットワーク内の特定の機器に転送します。

仮想サーバを有効にする (1)

アドレス:  (2)

プロトコル: TCP/UDP (3)

ポート範囲:  -  (4)

コメント:  (5)

(6)

仮想サーバー一覧:

ローカルIPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
<input type="button" value="選択項目の削除"/> <input type="button" value="全て消去"/> <input type="button" value="リセット"/>				

(1)「仮想サーバを有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)仮想サーバとして設定したい機器(パソコンやカメラなど)のローカル IP アドレスを入力します。

(3)「TCP/UDP」、「TCP」、「UDP」からプロトコルを選びます。

※初期設定:「TCP/UDP」

(4)開放するポート番号の範囲を入力します。

※範囲指定ではなく1つのポートを入力するときは、右側にも同じポート番号を入力してください。

例) WEB ポート : 80

VIDEO ポート : 4321

VIDEO ポート : 4322

RTSP ポート : 554 など

(5)任意にコメントを入力します。(最大文字数:20)

(6) [適用]をクリックします。

※「仮想サーバー一覧」に追加されます。

※複数登録するときは、上記の手順(2)～(6)の手順を繰り返します。



仮想サーバの設定例は以下を参考にしてください。

仮想サーバを有効にする : チェックを入れます

IP アドレス : 192.168.111.xxx(ポート開放したい機器)

プロトコル : TCP/UDP

ポート番号の範囲 : 80-80

コメント : WebServer

以上で設定は完了です。

## 第 6 章 詳細設定

### 6.1 インターネット関連の設定

#### 6.1.1 通常接続 (DHCP)

ここでは、通常接続(DHCP)の設定方法を説明します。

CATV などのご契約のときに通常接続(DHCP)を使用します。

※付属の「設定ガイド」で設定を済ませているときは、ここでの設定は不要です。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

1. (1)「IP設定」をクリックします。

(2)「WAN」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



**Router**

- クイックセットアップ
- IP設定 (1)**
- WAN (2)**
- LAN
- ダイナミックDNS
- 無線LAN
- ファイアウォール
- システム管理
- ステータス
- 再起動

### WANの設定

WANの各種設定をします。

**WAN接続タイプ:** Ethernetポート ▼

**接続タイプ:** DHCP ▼

**ホスト名:** default

**MTU値:** 1500 (1400-1500 bytes)

2. 以下の手順で設定します。

WANの各種設定をします。

WAN接続タイプ: Ethernetポート ▾

接続タイプ: (1) DHCP ▾

ホスト名: default

MTU値: 1500 (1400-1500 bytes)

DNS自動設定  
 DNS手動設定

DNS 1:

DNS 2:

DNS 3:

IGMPプロキシを有効にする  
 WAN側からのPINGを有効にする  
 WAN側からのサーバ接続を有効にする  
 IPv6パススルーを有効にする  
 IPsecパススルーを有効にする  
 PPTPパススルーを有効にする  
 L2TPパススルーを有効にする

(2)

(1)「DHCP」を選びます。

(2) [適用]をクリックします。

その他の設定項目の説明については次ページを参照してください。

項目名	動作
ホスト名	プロバイダなどの接続先を任意に入力します。 ※初期設定:「default」
MTU 値	MTU 値を設定します。 ※通常は初期設定のまま使用します。 ※初期設定:「1500」
DNS 設定を有効にする	「DNS 自動設定」: ご使用のネットワークから自動的に更新されます。 ※通常はこちらを選択します。 「DNS 手動設定」: プロバイダから DNS が指定されている場合はこちらを選択し、「DNS1～3」に入力してください。 ※初期設定:「DNS 自動設定」
IGMP プロキシを有効にする	IGMP パケットを上位のルータに転送する機能です。 ※通常は「有効」にしてください。 ※初期設定:「有効」
WAN 側からの PING を有効にする	外部(インターネット)側からの Ping 応答を「有効」/「無効」にします。 ※初期設定:「無効」
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	外部(インターネット)側からの接続を「有効」/「無効」にします。 ※初期設定:「無効」
IPv6 パススルーを有効にする	IPv6 ブリッジ機能を使用して、NTT 東日本の「フレッツ・ドットネット」や NTT 西日本の「フレッツ・v6 アプリ」などの IPv6 対応サービスを利用することができます。 ※IPv6 ブリッジ機能を有効にすると外部からのアクセスが可能になるため、セキュリティが低下します。パソコンを接続しているときはパソコン側でのセキュリティ対策が必要になります。 ※初期設定:「有効」
IPSec パススルーを有効にする	IPSec 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」
PPTP パススルーを有効にする	PPTP 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」
L2TP パススルーを有効にする	L2TP 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」

## 6.1.2 PPPoE 接続

ここでは、PPPoE 接続の設定方法を説明します。

※付属の「設定ガイド」で設定を済ませているときは、ここでの設定は不要です。

※本設定は、ルーターモードのみ有効となります。

1. (1)「IP設定」をクリックします。  
(2)「WAN」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



Router

- クイックセットアップ
- IP設定 (1)
- WAN (2)
- LAN
- ダイナミックDNS
- 無線LAN
- ファイアウォール
- システム管理
- ステータス
- 再起動

### WANの設定

WANの各種設定をします。

WAN接続タイプ: Ethernetポート

接続タイプ: DHCP

ホスト名: default

MTU値: 1500 (1400-1500 bytes)

2. 以下の手順で設定します。

WANの各種設定をします。

WAN接続タイプ: Ethernetポート ▼

接続タイプ: (1) PPPoE ▼

ユーザ名: (2)

パスワード: (3)

接続タイプ: 常時接続 ▼ 接続 切断

待機時間: 5 (1-1000分)

MTU値: 1454 (1360-1492 bytes)

DNS自動設定  
 DNS手動設定

DNS 1:

DNS 2:

DNS 3:

IGMPプロキシを有効にする  
 WAN側からのPINGを有効にする  
 WAN側からのサーバ接続を有効にする  
 IPv6パススルーを有効にする  
 IPsecパススルーを有効にする  
 PPTPパススルーを有効にする  
 L2TPパススルーを有効にする

(4)

(1)「PPPoE」を選びます。

(2)「ユーザ名」にプロバイダ指定のユーザ名(例:abc123@xyz.ne.jp)を入力します。

(3)「パスワード」にプロバイダ指定のパスワード(例:abcDEF123)を入力します。

(4) [適用]をクリックします。

※ユーザ名は、事業者により「ログイン名」、「接続ユーザ名」、「ユーザ ID」などと表記する場合があります。

※大文字小文字に注意し、半角英数字にて入力してください。

その他の設定項目の説明については次ページを参照してください。

項目名	動作
接続タイプ	<p>「常時接続」:            プロバイダに常時接続します。            ※通常はこちらを選択します。</p> <p>「オンデマンド」:            接続要求があった場合にのみ接続を行います。</p> <p>「手動接続」:            毎回「接続」・「切断」の操作を手動で行う必要があります。            ※インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]をクリックします。            ※初期設定:「常時接続」</p>
待機時間	<p>オンデマンド接続時の待機時間を「1-1000 分」で設定します。            ※初期設定:「5」分</p>
MTU 値	<p>MTU 値を設定します。            ※通常は初期設定のまま使用します。            ※初期設定:「1454」</p>
DNS 設定	<p>「DNS 自動設定」:            ご使用のネットワークから自動的に更新されます。            ※通常はこちらを選択します。</p> <p>「DNS 手動設定」:            プロバイダから DNS が指定されている場合はこちらを選択し、「DNS1～3」に入力してください。            ※初期設定:「DNS 自動設定」</p>
IGMP プロキシ	<p>IGMP パケットを上位のルータに転送する機能です。            ※通常は「有効」にしてください。            ※初期設定:「有効」</p>
WAN 側からの PING を有効にする	<p>外部(インターネット)側からの Ping 応答を「有効」/「無効」にします。            ※初期設定:「無効」</p>
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	<p>外部(インターネット)側からの接続を「有効」/「無効」にします。            ※初期設定:「無効」</p>
IPv6 パススルーを有効にする	<p>IPv6 ブリッジ機能を使用して、NTT 東日本の「フレッツ・ドットネット」や NTT 西日本の「フレッツ・v6 アプリ」などの IPv6 対応サービスを利用することができます。            ※IPv6 ブリッジ機能を有効にすると外部からのアクセスが可能になるため、セキュリティが低下します。パソコンを接続しているときはパソコン側でのセキュリティ対策が必要になります。            ※初期設定:「有効」</p>

IPSec パススルーを有効にする	IPSec 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」
PPTP パススルーを有効にする	PPTP 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」
L2TP パススルーを有効にする	L2TP 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」

### 6.1.3 固定 IP 接続

ここでは、固定 IP 接続の設定方法を説明します。

※固定 IP アドレスが割り当てられているとき(本製品の上位にルーターがあるときなど)に設定します。

※本設定は、ルーターモードのみ有効となります。

1. (1)「IP設定」をクリックします。  
(2)「WAN」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



The screenshot shows the router's configuration interface. On the left, a sidebar lists various settings: クイックセットアップ, IP設定 (1), WAN (2), LAN, ダイナミックDNS, 無線LAN, ファイアウォール, システム管理, ステータス, and 再起動. The main area is titled 'WANの設定' and contains the following settings:

WAN接続タイプ:	Ethernetポート
接続タイプ:	DHCP
ホスト名:	default
MTU値:	1500 (1400-1500 bytes)

2. 以下の手順で設定します。

WANの各種設定をします。

WAN接続タイプ: Ethernetポート ▼

接続タイプ: (1) 固定IP ▼

IPアドレス: (2) 172.1.1.1

サブネットマスク: (3) 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: 172.1.1.254

MTU値: (4) 1500 (1400-1500 bytes)

DNS 1: (5)

DNS 2:

DNS 3:

IGMPプロキシを有効にする

WAN側からのPINGを有効にする

WAN側からのサーバ接続を有効にする

IPv6パススルーを有効にする

IPsecパススルーを有効にする

PPTPパススルーを有効にする

L2TPパススルーを有効にする

(6)

- (1)「固定 IP」を選びます。
- (2)プロバイダや上位のルータから割り当てられた IP アドレスを入力します。
- (3)プロバイダや上位のルータから割り当てられたサブネットマスクを入力します。
- (4)プロバイダや上位のルータから割り当てられたデフォルトゲートウェイを入力します。
- (5)プロバイダや上位のルータから割り当てられた DNS アドレスを入力します。
- (6)[適用]をクリックします。

その他の設定項目の説明については次ページを参照してください。

項目名	動作
MTU 値	MTU 値を設定します。 ※通常は初期設定のまま使用します。 ※初期設定:「1500」
IGMP プロキシ	IGMP パケットを上位のルータに転送する機能です。 ※通常は「有効」にしてください。 ※初期設定:「有効」
WAN 側からの PING を有効にする	外部(インターネット)側からの Ping 応答を「有効」/「無効」にします。 ※初期設定:「無効」
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	外部(インターネット)側からの接続を「有効」/「無効」にします。 ※初期設定:「無効」
IPv6 パススルーを有効にする	IPv6 ブリッジ機能を使用して、NTT 東日本の「フレッツ・ドットネット」や NTT 西日本の「フレッツ・v6 アプリ」などの IPv6 対応サービスを利用することができます。 ※IPv6 ブリッジ機能を有効にすると外部からのアクセスが可能になるため、セキュリティが低下します。パソコンを接続しているときはパソコン側でのセキュリティ対策が必要になります。 ※初期設定:「有効」
IPSec パススルーを有効にする	IPSec 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」
PPTP パススルーを有効にする	PPTP 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」
L2TP パススルーを有効にする	L2TP 接続時のパケットの通信を制御します。 「有効」のときは、VPN パケットをそのまま通信(通過)させます。 ※初期設定:「有効」

## 6.2 ネットワーク関連の設定

### 6.2.1 LAN 設定

ここでは、LAN 側の設定方法を説明します。

- (1)「IP設定」をクリックします。
- (2)「LAN」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

**Router**

- クイックセットアップ
- IP設定 (1)**
- WAN
- LAN (2)**
- ダイナミックDNS
- 無線LAN
- ファイアウォール
- システム管理
- ステータス
- 再起動

## WANの設定

WANの各種設定をします。

WAN接続タイプ: Ethernetポート ▼

接続タイプ: DHCP ▼

ホスト名: default

MTU値: 1500 (1400-1500 bytes)

- 各項目を設定します。設定後、[適用]をクリックします。  
各項目の説明については次ページを参照してください。

LANの各種設定を行います。

IPアドレス: 192.168.111.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCP: サーバ ▼

IPアドレス範囲: 192.168.111.100 - 192.168.111.200

固定IPアドレス設定:

項目名	動作																														
IP アドレス	<p>本製品に設定する LAN 側の IP アドレスを入力します。</p> <p>※初期設定</p> <p>ルータモード : 192.168.111.1 (DHCP:サーバ)</p> <p>AP モード : 192.168.111.1 (DHCP:無効)</p>																														
サブネットマスク	<p>本製品に設定する LAN 側のサブネットマスクを入力します。</p> <p>※初期設定:「255.255.255.0」</p>																														
DHCP	<p>DHCP サーバ機能を選びます。</p> <p>(ルータモード動作時)</p> <p>サーバ : DHCP サーバとして起動します。</p> <p>無効 : DHCP サーバ機能を無効にします。</p> <p>(AP モード動作時)</p> <p>クライアント : 別の DHCP サーバから IP アドレスを取得します。</p> <p>無効 : DHCP クライアント機能を無効にします。</p> <div data-bbox="646 981 1449 1989" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>●AP モード動作時に、「DHCP」を「クライアント」で設定したときは、上位ルータから割り当てられた IP アドレス、または「LAN の設定」画面の IP アドレス (初期設定: 192.168.111.1) よりログインしてください。</li> <li>●上位ルータから割り当てられた IP アドレスを確認するときは、「ステータス」画面に表示される「IP アドレス」を参照してください。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="801 1236 1423 1697" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">システム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ファームウェアバージョン</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">無線 LAN 構成</th> </tr> <tr> <td>動作モード</td> <td>AP</td> </tr> <tr> <td>無線モード</td> <td>2.4 GHz (B+G+N)</td> </tr> <tr> <td>SSID</td> <td>ap-pc-</td> </tr> <tr> <td>チャンネル</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>暗号化方式</td> <td>WPA2</td> </tr> <tr> <td>MAC アドレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接続中のクライアント</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="background-color: #cccccc;">LAN の構成</th> </tr> <tr> <td>IP アドレス</td> <td style="border: 2px solid red;">192.168.1.101</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255.255.255.0</td> </tr> <tr> <td>DHCP サーバ</td> <td>Client</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品は DHCP クライアントが有効時に「LAN の設定」画面で設定した IP アドレス (初期値: 192.168.111.1) と上位ルータから割り当てられた IP アドレスの 2 つの IP アドレスを持ちます。同一ネットワーク内に本製品を複数台設置する場合は、2 台目以降の IP アドレスを「192.168.111.2」にする等、「初期値: 192.168.111.1」と重複しない IP アドレスを設定してください。</li> </ul> </div> <p>※初期設定:「サーバ」(ルータモード)、「無効」(AP モード)</p>	システム		稼働時間		ファームウェアバージョン		無線 LAN 構成		動作モード	AP	無線モード	2.4 GHz (B+G+N)	SSID	ap-pc-	チャンネル	13	暗号化方式	WPA2	MAC アドレス		接続中のクライアント	0	LAN の構成		IP アドレス	192.168.1.101	サブネットマスク	255.255.255.0	DHCP サーバ	Client
システム																															
稼働時間																															
ファームウェアバージョン																															
無線 LAN 構成																															
動作モード	AP																														
無線モード	2.4 GHz (B+G+N)																														
SSID	ap-pc-																														
チャンネル	13																														
暗号化方式	WPA2																														
MAC アドレス																															
接続中のクライアント	0																														
LAN の構成																															
IP アドレス	192.168.1.101																														
サブネットマスク	255.255.255.0																														
DHCP サーバ	Client																														

デフォルトゲートウェイ	ルータの IP アドレスを入力します。 ※AP モード動作時に入力欄が表示されます。 ※初期設定:「0.0.0.0」
IP アドレス範囲	DHCP サーバ機能が有効のとき、本製品が割り当てる IP アドレスの範囲を設定します。 ※DHCP モードが「クライアント」、「無効」のときは、設定できません。 ※初期設定:「192.168.111.100」～「192.168.111.200」
クライアントを表示する	DHCP モードが「サーバ」のときに、接続中の DHCP クライアント一覧が表示されます。
固定 DHCP の設定	DHCP モードが「サーバ」のときに、固定 DHCP の設定が行えます。 登録した MAC アドレスの機器には、常に同じ IP アドレスが割り当てられます。 ※設定方法は、次ページの【固定 IP アドレスの設定】を参照してください。

#### 【固定 IP アドレスの設定】

固定 DHCP アドレスを有効にする

IP アドレス: (1) (2)

MAC アドレス: (3)

コメント: (4)

(5)  
固定 IP アドレスリスト:

IP アドレス	MAC アドレス	コメント	選択

- (1) 「固定 DHCP アドレスを有効にする」にチェックを入れます。
- (2) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の IP アドレスを入力します。
- (3) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の MAC アドレスを入力します。  
※入力方法 : 「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。
- (4) 任意にコメント(端末名など)を入力します。
- (5) [適用]をクリックします。



- 設定を変更した後は、パソコンなど各ネットワーク機器は一度再起動してください。
- 設定を変更した後で、本製品にログインするときは、変更した IP アドレスよりログインしてください。
- 変更した IP アドレスなどの値はメモなどに取って保管してください。

## 6.2.2 ダイナミック DNS

ここでは、ダイナミック DNS の設定方法を説明します。

本製品に登録したダイナミック DNS の情報を設定します。

本製品に登録しているユーザー名、パスワード等を設定することで、本製品の WAN 側の IP アドレスを定期的にダイナミック DNS サービスに通知します。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

1. (1)「IP設定」をクリックします。  
(2)「ダイナミックDNS」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



The screenshot displays the router's configuration interface. On the left, a sidebar menu lists various settings: クイックセットアップ, IP設定 (1), WAN, LAN, ダイナミックDNS (2), 無線LAN, ファイアウォール, システム管理, ステータス, and 再起動. The main area is titled 'WANの設定' and contains the following configuration options:

- WAN接続タイプ: Ethernetポート (dropdown menu)
- 接続タイプ: DHCP (dropdown menu)
- ホスト名: default (text input field)
- MTU値: 1500 (text input field) with a note (1400-1500 bytes)

## 2. ダイナミック DNS の設定をします。

## 【CyberGate の設定】

ダイナミックDNS(DDNS)サービスとは、インターネットプロバイダ等から与えられたIPアドレスに関係なく固有のホスト名を利用することができるサービスです。

DDNSを有効にする (1)

DDNSプロバイダ : CyberGate (2)

ドメイン名 : [ ] luna.ddns.vc (3)

パスワード : [ ] (4)

更新間隔: 24:00 (5)

- (1)「DDNSを有効にする」にチェックを入れます。
- (2)「CyberGate」を選びます。
- (3)「CyberGate」で登録したサブドメイン名を入力し、ドメイン名を選びます。
- (4)「CyberGate」で登録したパスワードを入力します。
- (5) [適用]をクリックします。

 **POINT** ダイナミック DNS の設定例は以下を参考にしてください。

DDNS プロバイダ : CyberGate

ドメイン名 : test /planex.ddns.vc(プルダウンメニューから選択)  
※test.planex.ddns.vc のとき

パスワード : \*\*\*\*\*

## 【DynDNS の設定】

ダイナミックDNS(DDNS)サービスとは、インターネットプロバイダ等から与えられたIPアドレスに関係なく固有のホスト名を利用することができるサービスです。

The screenshot shows a configuration window for DynDNS. At the top, there is a checkbox labeled 'DDNSを有効にする' (1). Below it is a dropdown menu for 'DDNSプロバイダ' with 'Dyndns' selected (2). There are three input fields: 'ドメイン名' (3), 'ユーザ名' (4), and 'パスワード' (5). At the bottom left, there are two buttons: '適用' (6) and 'リセット'.

- (1)「**DDNS を有効にする**」にチェックを入れます。
- (2)「**Dyndns**」を選びます。
- (3)「Dyndns」で登録した Dynamic DNS Hosts を入力します。
- (4)「Dyndns」で登録した Username を入力します。
- (5)「Dyndns」で登録した Password を入力します。
- (6) **適用** をクリックします。

## 6.3 無線 LAN 関連の設定

### 6.3.1 基本設定

ここでは、ルータモード、AP モードでの無線 LAN の基本設定を説明します。



本項で説明している無線 LAN 機能の基本設定内容は、全ての SSID で共通となります。SSID ごとに異なる設定はできません。

- (1) 「無線LAN」をクリックします。
- (2) 「基本設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

Router

- クイックセットアップ
- IP設定
- 無線LAN (1)
- 基本設定 (2)
- 詳細設定
- セキュリティ
- アクセスコントロール
- WDS設定
- WPS

### 無線LANの基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼ 仮想AP

SSID: ap-pc-...

2. 各項目を設定します。設定後、[適用]をクリックします。  
各項目の説明については次ページを参照してください。

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼ 仮想AP

SSID: ap-pc- [ ]

チャンネル幅: 40MHz ▼

チャンネル: 自動 ▼

SSIDの通知: 無効 ▼

WMM: 有効 ▼

伝送速度: Auto ▼

接続中のクライアント: 接続機器の表示

適用 リセット

項目名	動作
無線 LAN 機能を無効にする	<p>チェックを入れると無線が無効になります。</p> <p>※無効にすると無線 LAN 接続不可になりますのでご注意ください。</p> <p>※初期設定:「有効」</p>
無線モード	<p>無線モードを選びます。</p> <p>「2.4GHz(B)」 : IEEE802.11b のみで通信します。</p> <p>「2.4GHz(G)」 : IEEE802.11g のみで通信します。</p> <p>「2.4GHz(N)」 : IEEE802.11n のみで通信します。</p> <p>「2.4GHz(B+G)」 : IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。</p> <p>「2.4GHz(G+N)」 : IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。</p> <p>「2.4GHz(B+G+N)」: IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。通常は、ここを選びます。</p> <p>※初期設定:「2.4GHz(B+G+N)」</p>
動作モード	<p>無線 LAN アクセスポイントのモードを選びます。</p> <p>「AP」 : 無線 LAN アクセスポイントとして通信します。</p> <p>「WDS」 : WDS モードで通信します。</p> <p>「AP+WDS」: 無線 LAN アクセスポイント、WDS 両方使用可能になります。</p> <p>※初期設定:「AP」</p>
仮想 AP	<p>マルチ SSID を設定します。</p> <p>仮想 AP 機能を使用することで、最大 5 つのアクセスポイントを設定することができます。</p> <p>※設定方法は「5.2 マルチ SSID を設定する」を参照してください。</p>
SSID	<p>無線 LAN で特定のネットワークを指定するためのグループ名のことを指し、同一の SSID の無線 LAN 機器同士で通信します。</p> <p>※半角英数字で 32 文字まで入力できます。</p> <p>※SSID は必ず控えてください。</p> <p>※初期設定: ap-pc-●●●●●●●●</p> <p>(●●●●●●●●は製品ごとに異なります。)</p>
チャンネル幅	<p>周波数帯域幅を選びます。</p> <p>「20MHz」: 20MHz の帯域で通信します。</p> <p>「40MHz」: 40MHz の帯域で通信します。「20MHz」を選んだときよりも高速に通信します。</p> <p>※初期設定:「40MHz」</p>
チャンネル	<p>無線で使用するチャンネル番号を設定します。</p> <p>「Auto」のときは、空いているチャンネル番号が自動で割り当てられます。</p> <p>※初期設定:「Auto」</p>

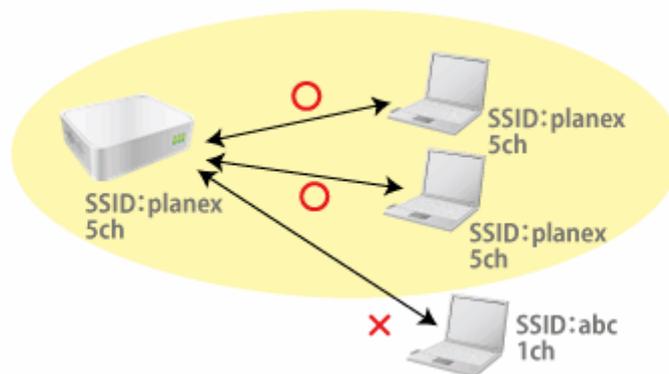
SSID の通知	SSID を第三者に見られたくないとき、「無効」にします。 不正アクセスを防止することができます。 ※初期設定:「有効」
WMM	IEEE 802.11 でのワイヤレスネットワークを特徴とする基本的な品質を提供します。 「無線モード」で「2.4GHz(N)」、「2.4GHz(G+N)」、「2.4GHz(B+G+N)」が選択され IEEE802.11n で通信するときは、「WMM」は強制的に「有効」になります。 ※初期設定:「有効」
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1M~54M、MCS0~MCS7 の範囲で設定します。 通常は「Auto」にします。 ※初期設定:「Auto」
接続中のクライアント	[接続機器の表示]をクリックすると、接続中の無線 LAN クライアント一覧のウィンドウが開きます。Wi-Fi 接続されている機器を表示します。



#### チャンネルについて

同一の SSID 内で無線通信するには、チャンネルを同じにする必要があります。本製品のマルチ SSID 機能では、1 つのチャンネルを共通で使用します。

複数の無線 LAN アクセスポイントを設置して複数の SSID(無線 LAN グループ)を構成する場合は、アクセスポイント毎に別のチャンネルを設定しますが、アクセスポイント間の電波の干渉をさけるために、それぞれのチャンネルは1/6/11など5ch程度離れたチャンネルに設定する必要があります。



## 6.3.2 詳細設定

ここでは、無線 LAN の詳細設定を説明します。

※ 本設定は通常変更する必要はありません。

- (1) 「無線LAN」をクリックします。
- (2) 「詳細設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

- 各項目を設定します。設定後、[適用]をクリックします。  
各項目の説明については次ページを参照してください。

これらの設定は、無線LANに関して十分な知識を備えて、アクセスポイントにおよぼす影響を踏まえたうえで設定変更を行ってください。通常、設定の変更は必要ありません。

フラグメントしきい値:	<input type="text" value="2346"/>	(256-2346)
RTSしきい値:	<input type="text" value="2347"/>	(0-2347)
ビーコン間隔:	<input type="text" value="100"/>	(20-1024 ms)
プリアンブルタイプ:	<input checked="" type="radio"/> ロングプリアンブル <input type="radio"/> ショートプリアンブル	
IAPP:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
Protection:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
Aggregation:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
Short GI:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
無線セバレータ:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
STBC:	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
20/40MHz Coexist:	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
送信出力:	<input checked="" type="radio"/> 100% <input type="radio"/> 70% <input type="radio"/> 50% <input type="radio"/> 35% <input type="radio"/> 15%	

項目名	動作
フラグメントしきい値	<p>フラグメントしきい値を 256～2346 の間で設定します。</p> <p>設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して、送信します。</p> <p>※通常は初期設定で使用します。</p> <p>※初期設定:「2346」</p>
RTS しきい値	<p>RTS しきい値を 0～2347 の間で設定します。</p> <p>RTS しきい値とは、本製品が無線 LAN 機器へパケットを送信する前に、同一ネットワーク内(SSID が同じ無線 LAN 機器)へ送信する RTS(Request To Send:送信要求)信号を送信するかどうかを決めるための境界値(=しきい値)のことです。</p> <p>※通常は初期設定で使用します。</p> <p>※初期設定:「2347」</p>
ビーコン間隔	<p>ビーコン間隔を 20～1024 の間で設定します。</p> <p>ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。</p> <p>ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。</p> <p>※通常は初期設定で使用します。</p> <p>※初期設定:「100」</p>
プリアンブルタイプ	<p>「ロングプリアンブル」、「ショートプリアンブル」から選びます。</p> <p>「ショートプリアンブル」のとき、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアンブルに対応していないクライアントのとき、通信できなくなる恐れがあります。この場合は、「ロングプリアンブル」に設定してください。</p> <p>※初期設定:「ロングプリアンブル」</p>
IAPP	<p>複数の無線 AP をまたぐ場合、同一の IP アドレスを維持します。</p> <p>通常は「有効」のまま使用します。</p> <p>※初期設定:「有効」</p>
Protection	<p>無線 LAN 子機との通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合有効にします。</p> <p>接続する無線 LAN 子機が少ない場合は、「無効」、多い場合は、「有効」にすると、通信速度が向上する場合があります。</p> <p>※初期設定:「無効」</p>
Aggregation	<p>複数のパケット群のグループ化と帯域の増加のための送信を有効化します。</p> <p>※初期設定:「有効」</p>
Short GI	<p>通信を高速化する Short GI 機能を有効にします。</p> <p>※初期設定:「有効」です。</p>

無線セパレータ	無線 LAN の接続機器同士の通信を遮断します。 「有効」にした場合、ルータに接続されたプリンタなど、利用ができなくなります。 ※初期設定:「無効」
STBC	通信路情報(CSI)を必要としない、時空間ブロック符号(STBC)を有効にします。 ※初期設定:「無効」
20/40MHz Coexist	20/40MHz 共存方式を設定にします。 「有効」にすると、「20MHz」と「40MHz」を混在させます。 ※初期設定:「有効」
送信出力	出力強度を設定します。 「100%」、「70%」、「50%」、「35%」、「15%」から選びます。 ※初期設定:「100%」

### 6.3.3 セキュリティ設定

ここでは、無線LANのセキュリティ設定を説明します。

1. (1)「無線LAN」をクリックします。  
(2)「セキュリティ」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



## 2. 暗号化を設定します。

## 【WPA で設定するとき】

※「WEP」で設定するときは、次ページを参照してください。

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

(1) SSIDの選択: ap-pc- (6) 適用 リセット

暗号化方式: (2) WPA2

認証方式:  パーソナル (共有キー)

WPA2 暗号化: (3)  TKIP  AES

共有キーフォーマット: (4) パスフレーズ

共有キー: (5)

(1) 暗号化を設定したい SSID (ネットワーク名) を選びます。

(2) 暗号化方式で、「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」を選びます。

※「WPA2」は、「WPA」より強固な暗号化方式です。

※「WPA-Mixed」は、「WPA」と「WPA2」の両方をサポートしている暗号化方式です。

(3) 暗号化の種類を設定します。

- 暗号化方式が「WPA」、「WPA2」のとき : 「AES」にチェックを入れます。
- 暗号化方式が「WPA-Mixed」のとき : 「TKIP」、「AES」にチェックを入れます。

※「TKIP」と「AES」の両方にチェックを入れることも可能です。

(4) 共有キーフォーマットで、「パスフレーズ」、または「16 進数(64 桁)」を選びます。

- 「共有キー」を 8～63 文字で設定するとき : 「パスフレーズ」を選びます。
- 「共有キー」を 64 文字で設定するとき : 「16 進数(64 桁)」を選びます。

(5) 共有キー(暗号化キー)を入力します。

- 共有キーフォーマットで「パスフレーズ」を選んだとき :  
数字「0～9」、英字「a～z、A～Z」を組み合わせた 8～63 文字の共有キーを入力します。
- 共有キーフォーマットで「16 進数(64 桁)」を選んだとき :  
数字「0～9」、英字「a～f、A～F」を組み合わせた 64 文字の共有キーを入力します。

(6) [適用] をクリックします。

## 【WEP で設定するとき】

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

(1) SSIDの選択: ap-pc- (7) [適用] [リセット]

暗号化方式: (2) WEP

認証方式: (3)  オープン  共有  自動

キー長: (4) 64-bit

キーフォーマット: (5) ASCII(5文字)

暗号キー: (6) [ ]

(1) 暗号化を設定したい SSID(ネットワーク名)を選びます。

(2) 暗号化方式で、「WEP」を選びます。

(3) 認証方式で、「オープン」、または「共有」、「自動」を選びます。

(4) キー長で、「64-bit」、または「128-bit」を選びます。

- 「暗号キー」を 5 文字または 10 文字で設定するとき : 「64-bit」を選びます。
- 「暗号キー」を 13 文字または 26 文字で設定するとき : 「128-bit」を選びます。

(5) キーフォーマットで、「16 進数」、または「ASCII」を選びます。

(6) 暗号キー(WEP キー)を入力します。

- キー長で「64-bit」、キーフォーマットで「ASCII(5 文字)」を選んだとき :  
数字「0~9」、英字「a~z、A~Z」の組み合わせた 5 文字の暗号キーを入力します。
- キー長で「64-bit」、キーフォーマットで「16 進数(10 桁)」を選んだとき :  
数字「0~9」、英字「a~f、A~F」の組み合わせた 10 文字の暗号キーを入力します。
- キー長で「128-bit」、キーフォーマットで「ASCII(13 文字)」を選んだとき :  
数字「0~9」、英字「a~z、A~Z」の組み合わせた 13 文字の暗号キーを入力します。
- キー長で「128-bit」、キーフォーマットで「16 進数(26 桁)」を選んだとき :  
数字「0~9」、英字「a~f、A~F」の組み合わせた 26 文字の暗号キーを入力します。

(7) [適用]をクリックします。

### 6.3.4 アクセスコントロール

ここでは、アクセスコントロールの設定方法を説明します。

無線による本製品への接続を制限します。アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。「拒否」の場合、登録機器は本製品へ接続できません。

- (1)「無線LAN」をクリックします。
- (2)「アクセスコントロール」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



The screenshot displays the router's configuration interface. On the left, a sidebar menu under 'Router' includes 'クイックセットアップ', 'IP設定', '無線LAN' (1), '基本設定', '詳細設定', 'セキュリティ', 'アクセスコントロール' (2), 'WDS設定', and 'WPS'. The main content area is titled '無線LANの基本設定' and contains the following settings:

- 無線LANの基本設定を行います。
- 無線LAN機能を無効にする
- 無線モード: 2.4 GHz (B+G+N)
- 動作モード: AP (仮想AP button)
- SSID: ap-pc-...

## 2. アクセスコントロールを設定します。

無線による本製品への接続を制限します。アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。「拒否」の場合、登録機器は本製品に接続できません。

(1) アクセスポリシー:

MACアドレス  コメント

(3) (4)

(4)

アクセスコントロール一覧:

MACアドレス	コメント	選択

(1)「許可」または「拒否」から選びます。

(2)制御する機器の MAC アドレスを入力します。

※入力方法：「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。

(3)必要に応じてコメントを入力します。(最大文字数:20)

(4) [適用] をクリックします。

項目名	動作
アクセスポリシー	無効:アクセスコントロールが無効になります。 拒否:登録機器は無線接続が不可になります。 許可:登録機器のみ無線接続が可能になります。 ※初期設定:「無効」
MAC アドレス	登録する機器の MAC アドレスを入力します。 ※入力方法:「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。
アクセスコントロール一覧	登録した MAC アドレスとコメントの一覧が表示されます。
選択項目の削除	「選択」ボックスにチェックを入れた項目を削除します。
すべてを削除	すべての項目を削除します。

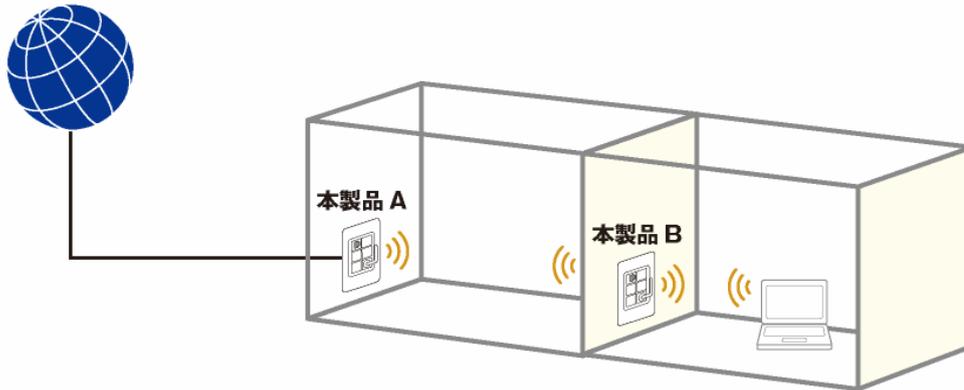
### 6.3.5 WDS 設定

ここでは、WDS(アクセスポイント間通信)の設定方法を説明します。

本製品にはアクセスポイント間通信をする WDS 機能を搭載しています。離れた場所に設置した複数台の本製品同士を無線接続できます。

**接続例)** 以下の接続環境を例に説明します。

インターネット



#### 【WDS の設定内容について】

WDS 機能を使って、アクセスポイント間通信を行うには、以下の設定が必要です。

該当する各手順を参照して、「本製品 A」と「本製品 B」を設定してください。

(冒頭の接続図を例に説明します)

	本製品 A	本製品 B
モード	「ルータモード」に設定します。 ※モード切替スイッチを「Router」側にします。	「AP モード」に設定します。 ※モード切替スイッチを「AP」側にします。
セキュリティ	メイン SSID のセキュリティを設定します。	本製品 A と同じセキュリティを設定します。
MAC アドレス	本製品 B の無線 LAN の MAC アドレスを設定します。 ※ BSSID の確認は「6.5.8 ステータス」の「無線 LAN 構成」→「MAC アドレス」を参照。	本製品 A の無線 LAN の MAC アドレスを設定します。 ※ SSID の確認は「6.5.8 ステータス」の「無線 LAN 構成」→「MAC アドレス」を参照。
IP アドレス (LAN 側)	例: 192.168.111.1	本製品 A と同じセグメントの IP アドレスを設定します。 例: 192.168.111.240
DHCP	「サーバ」に設定します。 ※設定方法は「6.2.1 LAN設定」を参照	「無効」に設定します。

※ LAN 側の IP アドレスが、それぞれの本製品で同一にならないように設定します。

(例) 1 台目の本製品が「192.168.111.1」のときは、2 台目の本製品を「192.168.111.240」のように、頭から 3 つ目まで同じで、4 つ目の数値を重複しないように設定を変更します。

## 【本製品 A の設定】

本製品 A 側を設定します。



事前に本製品 A と本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレス (BSSID) を確認し、メモに控えてください。  
確認方法は、「6.5.8 ステータス」の「無線 LAN 構成」→「MAC アドレス」を参照してください。

暗号化方式	WPA2
MACアドレス	XXXXXXXXXX
接続中のクライアント	0

### 1. 無線LANの動作モードをWDSに設定します。

(1) 「無線LAN」をクリックします。

(2) 「基本設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

**無線LANの基本設定**

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼

SSID: ap-pc-XXXX

2. WDS モードに設定します。

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: **AP+WDS ▼ (1)** 仮想AP

SSID: ap-pc-XXXX

チャンネル幅: 40MHz ▼

サイドバンドの制御: Upper ▼

チャンネル: **1 ▼ (2)**

SSIDの通知: 有効 ▼

WMM: 有効 ▼

伝送速度: Auto ▼

接続中のクライアント: 接続機器の表示

**適用** リセット

- (1) 動作モードで「AP+WDS」を選びます。
- (2) 「1」～「13」の間で「チャンネル」を任意に設定します。
- (3) [適用]をクリックします。

3. 設定が保存されます。

**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。24 秒....

4. (1)「無線 LAN」をクリックします。
- (2)「WDS 設定」をクリックします。

5. WDS を設定します。

- (1)「WDS を有効にする」をチェックします。
- (2)本製品 B の無線 LAN1 側の MAC アドレスを入力します。  
※入力方法 : 「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。
- (3)任意にコメントを入力します。
- (4)「適用」をクリックします。

以下は必要に応じて設定してください。

項目名	動作
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1M～54M、MCS0～MCS7 の範囲で設定します。通常は「Auto」にします。 ※初期設定:「Auto」

6. 設定が保存されます。

**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。24 秒....

7. 「WDS」の画面に戻ります。画面中央の[セキュリティ設定]をクリックします。

**WDSを有効にする**

MACアドレス:

伝送速度: Auto ▼

コメント:

**WDS AP一覧:**

MACアドレス	レート(Mbps)	コメント	選択
---------	-----------	------	----

## 8. WDS用のセキュリティを設定し、設定した内容をメモに控えます。

※メモした内容は、本製品Bの設定をするときに使用しますので、必ず控えてください。

WDS機能とは、複数台のアクセスポイントを無線で接続する機能です。接続相手のMACアドレスを登録し、チャンネル数、通信間のセキュリティを接続相手と同じ設定にする必要があります。

暗号化方式: **WPA2 (AES)** (1)

WEPフォーマット: ASCII (13 characters)

WEPキー: \*\*\*\*\*

キーフォーマット: **パスフレーズ** (2)

共有キー:  (3)

**適用** (4) リセット

(1)「暗号化方式」より「WPA2 (AES)」を選びます。

(2)「パスフレーズ」または「16進数 (64桁)」を選びます。

(3) 任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	(2)で「パスフレーズ」を選択時	(2)で「16進数(64桁)」を選択時
プレシェアードキー	8～63文字の間で入力	64文字で入力

※パスフレーズの入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

※16進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

(4) [適用]をクリックします。

## 9. 設定が保存されます。

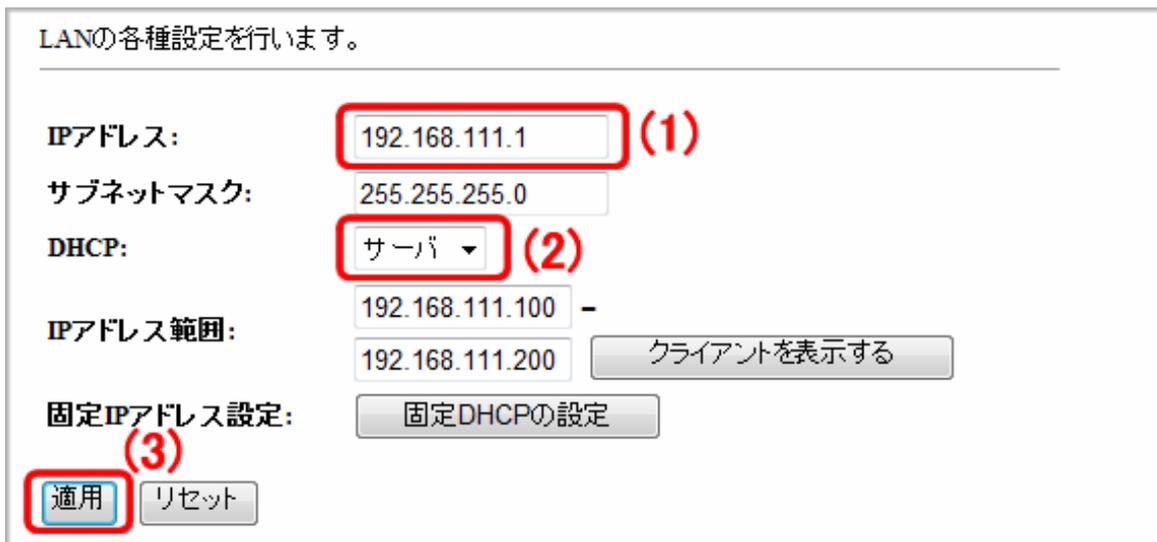
**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。24秒....

10. (1)「IP 設定」をクリックします。  
 (2)「LAN」をクリックします。

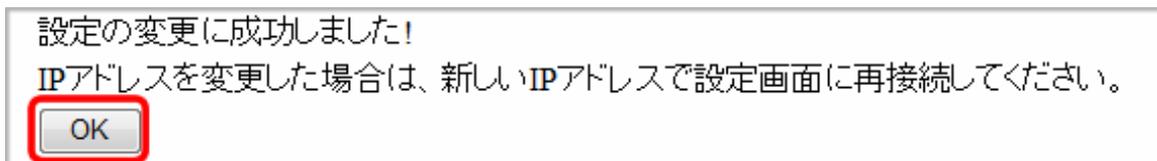


11. IP アドレスを設定します。  
 ※ここで設定した値は本製品 B の設定をするときに使用しますので、必ずメモに控えてください。



- (1) IP アドレスを「192.168.111.1」に設定します。  
 (2) 「DHCP」で「サーバ」を選びます。  
 (3) [適用]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、設定を保存します。



以上、本製品 A の設定は完了です。

## 【本製品 B の設定】

本製品 B 側を設定します。



- 事前に本製品 A と本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレス (BSSID) を確認し、メモに控えてください。  
確認方法は、「6.5.8 ステータス」の「無線 LAN 構成」→「MAC アドレス」を参照してください。

暗号化方式	WPA2
MACアドレス	<span style="border: 2px solid red; padding: 2px;">XXXXXXXXXX</span>
接続中のクライアント	0

- 事前に本製品 A に設定された IP アドレスを確認し、メモに控えてください。
- 本製品のモード切替スイッチを「AP」(アクセスポイント)に設定してください。
- 本製品 B を設定するときは、パソコンの IP アドレスを固定設定にしてください。

設定方法は「3.2 設定用パソコンを準備する」を参照してください。

また、本製品 B の設定が終わったら、パソコンの IP アドレスを元の設定に戻してください。詳しくは P49 の「■設定用パソコンを元の設定に戻す」を参照してください。

### 7. 無線LANの動作モードをWDSに設定します。

- (1)「無線LAN」をクリックします。
- (2)「基本設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

2. WDS モードに設定します。

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: **AP+WDS ▼ (1)** 仮想AP

SSID: ap-pc- 

チャンネル幅: 40MHz ▼

サイドバンドの制御: Upper ▼

チャンネル: **1 ▼ (2)**

SSIDの通知: 有効 ▼

WMM: 有効 ▼

伝送速度: Auto ▼

接続中のクライアント: 接続機器の表示

**適用** リセット

- (1) 動作モードで「AP+WDS」を選びます。  
 (2) 本製品 A の設定でメモした同じチャンネルを選びます。  
 (3) [適用]をクリックします。

3. 設定が保存されます。

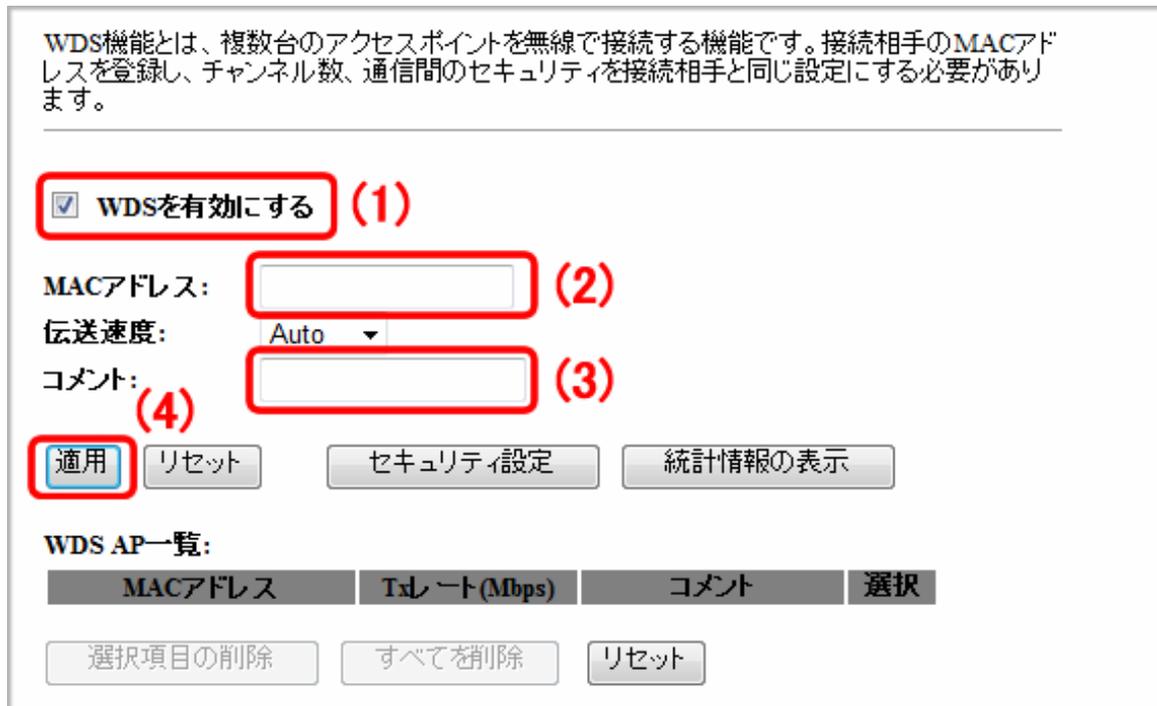
**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。24 秒....

4. (1)「無線 LAN」をクリックします。
- (2)「WDS 設定」をクリックします。



5. WDS を設定します。



- (1)「WDS を有効にする」をチェックします。
- (2)本製品 A の無線 LAN1 側の MAC アドレスを入力します。  
※入力方法 : 「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。
- (3)任意にコメントを入力します。
- (4) [適用] をクリックします。

以下は必要に応じて設定してください。

項目名	動作
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1M～54M、MCS0～MCS7 の範囲で設定します。通常は「Auto」にします。 ※初期設定:「Auto」

6. 設定が保存されます。

**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。24 秒....

7. 「WDS」の画面に戻ります。画面中央の[セキュリティ設定]をクリックします。

WDSを有効にする

MACアドレス:

伝送速度: Auto ▼

コメント:

WDS AP一覧:

MACアドレス	レート(Mbps)	コメント	選択
---------	-----------	------	----

8. 本製品 A で設定した同じ WDS 用のセキュリティを設定します。

WDS機能とは、複数台のアクセスポイントを無線で接続する機能です。接続相手のMACアドレスを登録し、チャンネル数、通信間のセキュリティを接続相手と同じ設定にする必要があります。

暗号化方式: **WPA2 (AES)** (1)

WEPフォーマット: ASCII (13 characters)

WEPキー: \*\*\*\*\*

キーフォーマット: **パスフレーズ** (2)

共有キー:  (3)

**適用** (4) リセット

- (1) 本製品 A で設定した「WPA2 (AES)」を選びます。
- (2) 本製品 A で設定した「キーフォーマット」を選びます。
- (3) 本製品 A で設定した暗号化キーを入力します。
- (4) [適用]をクリックします。

9. 設定が保存されます。

**設定の変更に成功!**

設定を適用中です。しばらくお待ちください。24 秒....

10. (1)「IP 設定」をクリックします。  
(2)「LAN」をクリックします。

AP

クイックセットアップ

**IP設定** (1)

**LAN** (2)

無線LAN

システム管理

ステータス

再起動

## LANの設定

LANの各種設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCP:

11. IP アドレスを設定します。

The screenshot shows the 'LANの設定' (LAN Settings) page. It contains the following fields and controls:

- IPアドレス:** 192.168.111.240 (1)
- サブネットマスク:** 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ:** 192.168.111.1 (2)
- DHCP:** 無効 (3)
- IPアドレス範囲:** 192.168.111.100 - 192.168.111.200 (with a 'クライアントを表示する' button)
- 固定IPアドレス設定:** 固定DHCPの設定
- Buttons:** 適用 (4) and リセット

- (1) 本製品 A に設定した IP アドレスに合わせて、本製品 B の IP アドレスを入力します。  
例) 本製品 A が「192.168.111.1」のときは、本製品 B は「192.168.111.240」と設定します。  
※IP アドレスの右 1 つ目(例では 240 の部分)が重複しない「2」～「248」の数値を入力します。
- (2) 「デフォルトゲートウェイ」に本製品 A の IP アドレスを入力します。
- (3) 「DHCP」で「無効」を選びます。
- (4) [適用]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、設定を保存します。

The screenshot shows a message box with the following text:

設定の変更に成功しました!  
IPアドレスを変更した場合は、新しいIPアドレスで設定画面に再接続してください。

[OK]

以上、本製品 B の設定は完了です。

### 6.3.6 WPS

ここでは、WPS 設定を説明します。

WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。



WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、無線 LAN 関連の業界団体「Wi-Fi アライアンス」が策定した無線 LAN の簡単設定規格です。WPS 対応機器と組み合わせで無線 LAN の設定や暗号化を簡単に行うことができる機能です。

- (1) 「無線LAN」をクリックします。
- (2) 「WPS」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

Router

- クイックセットアップ
- IP設定
- 無線LAN (1)**
  - 基本設定
  - 詳細設定
  - セキュリティ
  - アクセスコントロール
  - WDS設定
  - WPS (2)**

## 無線LANの基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN機能を無効にする

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

動作モード: AP ▼ 仮想AP

SSID: ap-pc-...

2. WPS を実行、設定します。

WPSの設定を行います。WPS機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

WPS機能を無効にする

WPSステータス:                     設定済    未設定

PINコード:                    [PINコード]

PBC方式:                   

キー情報:

認証方式	暗号化方式	キー
WPA2 PSK	AES	[キー]

接続機器のPINコード:            [PINコード]  

項目名	動作
WPS 機能を無効にする	WPS 機能を無効にします。 無効にするときはチェックを入れ、[適用]をクリックしてください。
PIN コード	本製品が送信する PIN コードです。
PBC 方式	PBC 方式で WPS 接続を開始します。 WPS 接続を開始するときは、[PBC 開始]をクリックしてください。
キー情報	メイン SSID の暗号化情報が表示されます。
接続機器の PIN コード	Wi-Fi 子機側の PIN コードを入力して、WPS 接続するときに使用します。 WPS 接続を開始するときは、入力欄に Wi-Fi 子機側の PIN コードを入力し、[PIN 開始]をクリックしてください。

## 6.4 セキュリティ関連の設定

### 6.4.1 仮想サーバ

ここでは、ポート開放(仮想サーバ)の設定方法を説明します。

ネットワークカメラを公開したり、本製品の LAN 側にある機器(パソコンなど)をサーバとして公開するときに利用します。特定のポートに対して外部(インターネット)からアクセスがあったとき、本製品の LAN 側にある機器(パソコンなど)に通信を転送する設定を行います。

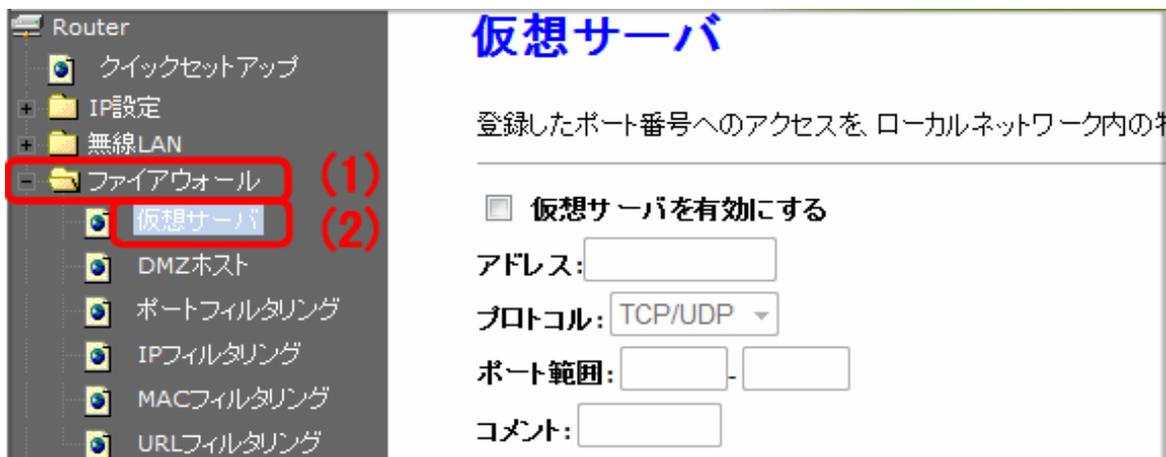


- 最大 20 個まで設定できます。
- 本設定は、ルータモードのみ有効となります。
- パソコンの IP アドレスは、手動で設定する方法を推奨します。

1. (1)「ファイアウォール」をクリックします。
- (2)「仮想サーバ」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力しログインしてください。



2. 仮想サーバを設定します。

登録したポート番号へのアクセスを、ローカルネットワーク内の特定の機器に転送します。

仮想サーバを有効にする (1)

アドレス:  (2)

プロトコル: TCP/UDP (3)

ポート範囲:  -  (4)

コメント:  (5)

(6)

仮想サーバー一覧:

ローカルIPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
<input type="button" value="選択項目の削除"/> <input type="button" value="全て消去"/> <input type="button" value="リセット"/>				

(1)「仮想サーバを有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)仮想サーバとして設定したい機器(パソコンやカメラなど)のローカル IP アドレスを入力します。

(3)「TCP/UDP」、「TCP」、「UDP」からプロトコルを選びます。

※初期設定:「TCP/UDP」

(4)開放するポート番号の範囲を入力します。

※範囲指定ではなく1つのポートを入力するときは、右側にも同じポート番号を入力してください。

例) WEB ポート : 80

VIDEO ポート : 4321

VIDEO ポート : 4322

RTSP ポート : 554 など

(5)任意にコメントを入力します。(最大文字数:20)

(6) [適用]をクリックします。

※「仮想サーバー一覧」に追加されます。

※複数登録するときは、上記の手順(2)～(6)を繰り返します。

項目名	動作
選択項目の削除	「選択」ボックスにチェックを入れた項目を削除します。
全て消去	すべての項目を削除します。



仮想サーバの設定例は以下を参考にしてください。

仮想サーバを有効にする : チェックを入れます

アドレス : 192.168.111.xxx(ポート開放したい機器)

プロトコル : TCP/UDP

ポート番号の範囲 : 80-80

コメント : WebServer



仮想サーバと DMZ ホストでは仮想サーバが優先されます。仮想サーバで設定されてないポート宛ての packets が DMZ ホストに転送されます。

## 6.4.2 DMZ ホスト

ここでは、DMZ の設定方法を説明します。

LAN 上の 1 台の機器(パソコン)をインターネットからアクセスできるようにします。インターネット側からのパケットのうち、仮想サーバに設定されていないすべてのパケットが、DMZ ホストに転送されます。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。



DMZ ホストに設定したパソコンにはセキュリティ制限がなくなります。また、DMZ ホストに設定したパソコン側でのセキュリティ対策が必要になりますので、ご注意ください。

- (1)「ファイアウォール」をクリックします。
- (2)「DMZホスト」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力しログインしてください。

Router

- クイックセットアップ
- IP設定
- 無線LAN
- ファイアウォール (1)
- 仮想サーバ
- DMZホスト (2)
- ポートフィルタリング
- IPフィルタリング
- MACフィルタリング
- URLフィルタリング

### 仮想サーバ

登録したポート番号へのアクセスを、ローカルネットワーク内の...

仮想サーバを有効にする

アドレス:

プロトコル: TCP/UDP

ポート範囲:  -

コメント:

## 2. DMZ ホストを設定します。

ローカルネットワーク(LAN)上の機器にインターネットからアクセスできるようにします。インターネット側からの通信のうち仮想サーバに設定されていないすべての通信がDMZホストに転送されます。

DMZを有効にする (1)

DMZホスト IPアドレス  (2)

(3)

(1)「DMZ を有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)DMZ 対象とする機器の IP アドレスを入力します。

(3) [適用] をクリックします。



DMZ の設定例は以下を参考にしてください。

DMZ を有効にする : チェックを入れます

DMZ ホスト IP アドレス : 192.168.111.xxx

### 6.4.3 ポートフィルタリング

ここでは、ポートフィルタの設定方法を説明します。

登録したポート番号を開放し、開放したポート番号を利用する通信のみ可能になります。

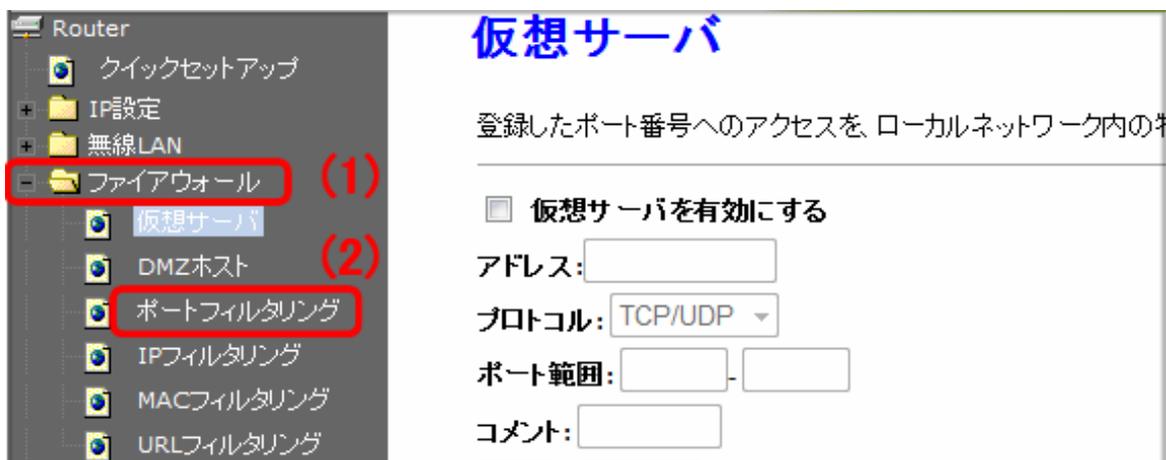
※最大 20 個まで設定できます。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

- (1)「ファイアウォール」をクリックします。
- (2)「ポートフィルタリング」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



## 2. ポートフィルタを設定します。

登録したポート番号を開放し、開放したポート番号を使用する通信のみ可能になります。

ポートフィルタリングを有効にする (1)

ポート範囲:  -  (2)

プロトコル: TCP/UDP (3)

コメント:  (4)

(5)  
現在のフィルタテーブル:

ポート範囲	プロトコル	コメント	選択
			<input type="checkbox"/>

(1)「ポートフィルタリングを有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)開放するポート番号の範囲を入力します。

※1～65535 の範囲内の値で設定します。

※範囲指定ではなく1つのポートを入力するときは、右側にも同じポート番号を入力してください。

(3)「TCP/UDP」、「TCP」、「UDP」から選びます。

※初期設定:「TCP/UDP」

(4)必要に応じてコメントを入力します。(最大文字数:20)

(5) [適用]をクリックします。

※「現在のフィルタテーブル」に追加されます。

※複数の IP アドレスフィルタを登録するときは、上記の手順(2)～(5)を繰り返します。

項目名	動作
選択項目の削除	「選択」ボックスにチェックを入れた項目を削除します。
全て消去	すべての項目を削除します。



POINT

ポートフィルタの設定例は以下を参考にしてください。

ポートフィルタリングを有効にする : チェックを入れます

ポート範囲 : 80-80

プロトコル : TCP/UDP

コメント : WebServer

## 6.4.4 IP フィルタリング

ここでは、IP フィルタの設定方法を説明します。

IP アドレスを登録した機器のみ、インターネットへの接続が可能になります。

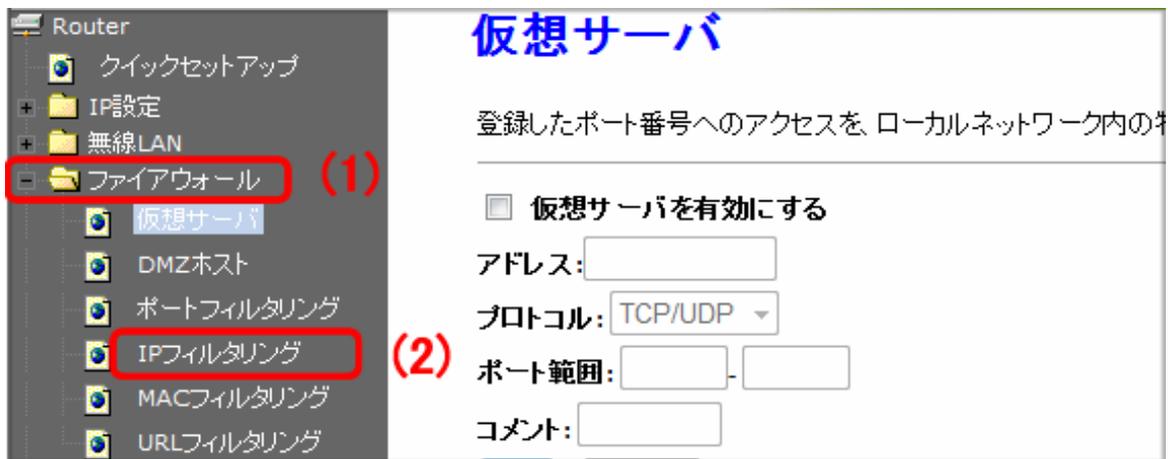
※最大 20 個まで設定できます。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

- (1)「ファイアウォール」をクリックします。
- (2)「IPフィルタリング」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



## 2. IPフィルタを設定します。

IPアドレスを登録した機器のみ、指定したプロトコルによるインターネットへの接続が可能になります。

IPフィルタリングを有効にする (1)

ローカルIPアドレス:  (2)

プロトコル: TCP/UDP (3)

コメント:  (4)

(5)

現在のフィルタテーブル:

ローカルIPアドレス	プロトコル	コメント	選択
<input type="button" value="選択項目の削除"/> <input type="button" value="全て消去"/> <input type="button" value="リセット"/>			

(1)「IPフィルタリングを有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)フィルタの対象となる LAN 側の IP アドレスを入力します。

(3)「TCP/UDP」、「TCP」、「UDP」から選びます。

※初期設定:「TCP/UDP」

(4)必要に応じてコメントを入力します。(最大文字数:20)

(5) [適用] をクリックします。

※「現在のフィルタテーブル」に追加されます。

※複数の IP アドレスフィルタを登録するときは、上記の手順(2)～(5)を繰り返します。

項目名	動作
選択項目の削除	「選択」ボックスにチェックを入れた項目を削除します。
全て消去	すべての項目を削除します。



POINT IPフィルタの設定例は以下を参考にしてください。

IPフィルタリングを有効にする : チェックを入れます

ローカル IP アドレス : 192.168.111.xxx (ローカルのパソコンの IP アドレス)

プロトコル : TCP/UDP

コメント : WebClient

## 6.4.5 MAC フィルタリング

ここでは、MAC フィルタの設定方法を説明します。

MAC アドレスを登録した無線機器のみ、インターネットへの接続が可能になります。

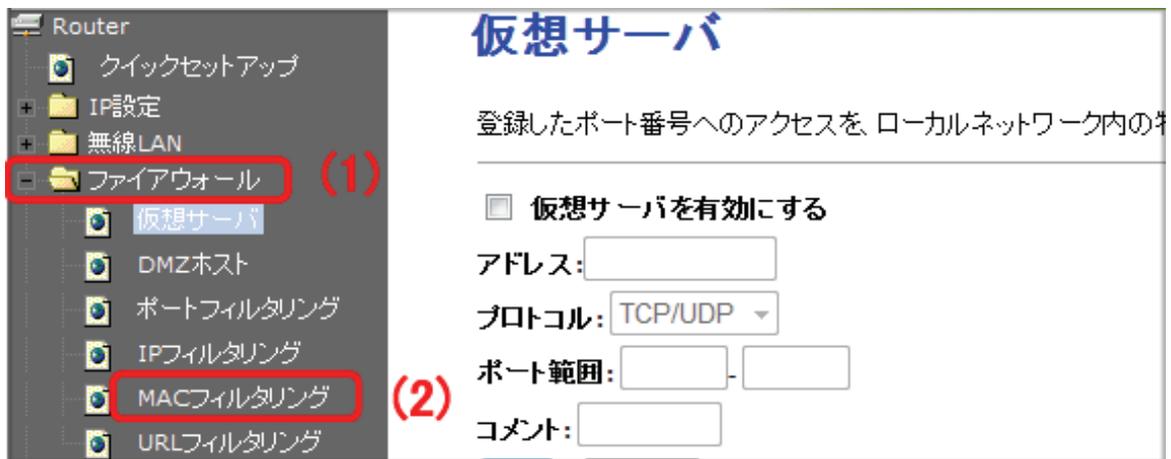
※最大 20 個まで設定できます。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

1. (1)「ファイアウォール」をクリックします。
- (2)「MAC フィルタリング」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE 接続の設定をする」の手順 **1** ~ **5** を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



## 2. MAC フィルタを設定します。

登録したMACアドレスを持つ機器との通信を設定します。(通信を許可します)

MACフィルタリングを有効にする (1)

MACアドレス:  (2)

コメント:  (3)

(4)

現在のフィルタテーブル:

MACアドレス	コメント	選択

(1)「MACフィルタリングを有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)フィルタの対象となるパソコンの MAC アドレスを入力します。

※入力方法 : 「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。

(3)必要に応じてコメントを入力します。(最大文字数:20)

(4) [適用] をクリックします。

※「現在のフィルタテーブル」に追加されます。

※複数の MAC アドレスフィルタを登録するときは、上記の手順(2)～(4)を繰り返します。

項目名	動作
選択項目の削除	「選択」ボックスにチェックを入れた項目を削除します。
全て消去	すべての項目を削除します。



MAC アドレスフィルタの設定例は以下を参考にしてください。

MACフィルタリングを有効にする : チェックを入れます

MAC アドレス : 001122334455

コメント : WebClient

## 6.4.6 URL フィルタリング

ここでは、URL フィルタの設定方法を説明します。

登録した URL またはキーワードを含むサイトへの接続を拒否します。

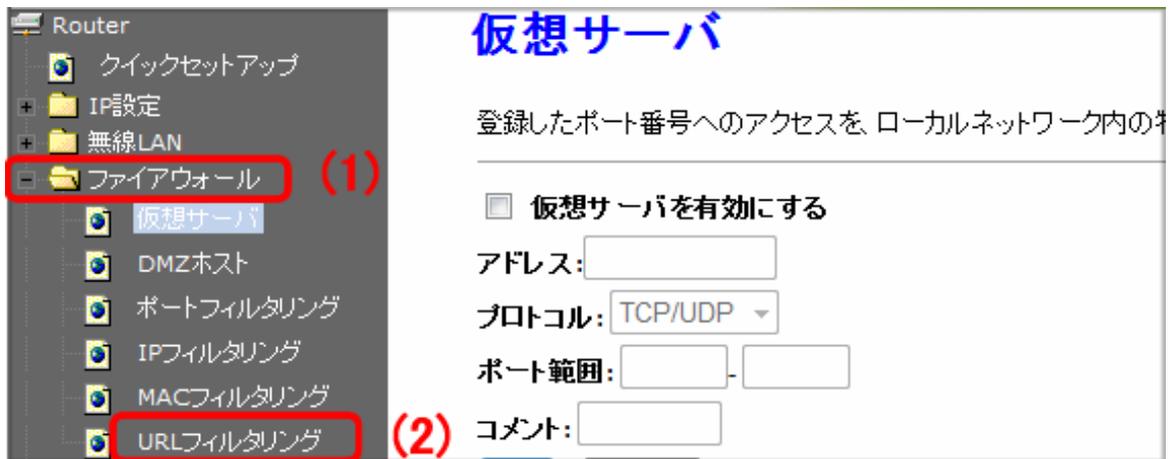
※最大 8 個まで設定できます。

※本設定は、ルータモードのみ有効となります。

- (1) 「ファイアウォール」をクリックします。
- (2) 「URL フィルタリング」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE 接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



## 2. URL フィルタを設定します。

登録したURLまたはキーワードを含むサイトへの接続を拒否します。

URLフィルタリングを有効にする (1)

URLアドレス:  (2)

(3)

現在のフィルタテーブル:

URLアドレス	選択

(1)「URL フィルタリングを有効にする」にチェックを入れます。

※初期設定:「無効」

(2)アクセスを制御したい URL アドレスまたはキーワードを入力します。

(3) [適用] をクリックします。

※「現在のフィルタテーブル」に追加されます。

※複数の URL フィルタを登録するときは、上記の手順(2)～(3)を繰り返します。

項目名	動作
選択項目の削除	「選択」ボックスにチェックを入れた項目を削除します。
全て消去	すべての項目を削除します。



URL フィルタの設定例は以下を参考にしてください。

URL フィルタリングを有効にする : チェックを入れます。

URL アドレス : www.xxxxx.co.jp

## 6.5 システム管理関連の設定

### 6.5.1 パスワードの変更

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定する方法を説明します。



ユーザ名を空欄にするとパスワードによる保護は設定できません。

- (1)「システム管理」をクリックします。
- (2)「パスワードの変更」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力しログインしてください。

**パスワードの変更**

設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定しパスワードによる保護は設定できません。

ユーザ名:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

## 2. 設定します。

設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。ユーザ名を空欄にするとパスワードによる保護は設定できません。

---

ユーザ名:  (1)

新しいパスワード:  (2)

パスワードの確認:  (3)

(4)

- (1) ユーザ名を入力します。(最大文字数:30)  
※初期設定:「admin」
- (2) 新しいパスワードを入力します。(最大文字数:30)
- (3) 入力間違いを防ぐため、手順(2)と同じパスワードを入力します。
- (4) [適用]を入力します。

## 6.5.2 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新する方法を説明します。

弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。

<http://www.planex.co.jp/support/download/mzk-kr150n/>

あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存してください。

1. (1)「システム管理」をクリックします。
- (2)「ファームウェア更新」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

## 2. ファームウェアを更新します。

ファームウェアを更新します。更新中は電源を切らないでください。

---

**インターネット経由で更新**

---

**ファイルから更新**

ファイル選択:

### 【インターネット経由で更新するとき】

- (1) **[更新確認]**をクリックし、ファームウェアを更新します。

### 【ファイルを指定して更新するとき】

- (1) **[参照]**をクリックします。
- (2) パソコンに保存したファームウェアのファイルを選び、**[OK]**をクリックします。
- (3) **[更新開始]**をクリックし、ファームウェアを更新します。



更新中は絶対に電源を切らないでください。

### 6.5.3 バックアップ／リストア

ここでは、現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み、設定を復元したりする方法を説明します。

1. (1)「システム管理」をクリックします。  
(2)「設定情報管理」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

The screenshot displays the Router's configuration interface. On the left, a sidebar menu lists various settings: クイックセットアップ, IP設定, 無線LAN, ファイアウォール, システム管理 (1), パスワードの変更, ファームウェア更新, 設定情報管理 (2), 時刻設定, UPnP設定, 言語設定, ステータス, and 再起動. The main content area is titled 'パスワードの変更' (Change Password). Below the title, a message states: '設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定しまパスワードによる保護は設定できません。' (Set a username and password for logging in to the configuration screen. Protection by password cannot be set). The form includes three input fields: 'ユーザ名:' (Username), '新しいパスワード:' (New Password), and 'パスワードの確認:' (Confirm Password). At the bottom, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'リセット' (Reset).

## 2. 設定情報をバックアップ、またはリストア(復元)します。

現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。初期化すると設定した情報は全て初期設定値になります。

---

現在の設定情報を保存:

保存した設定情報を復元:

設定情報を初期化:

### 【設定情報をバックアップするとき】

- (1) [保存]をクリックします。
- (2) 「ファイルのダウンロード」画面が表示されますので、[保存]をクリックし、パソコンに保存します。

### 【設定情報をリストア(復元)するとき】

- (1) [参照]をクリックし、パソコンに保存したバックアップファイルを選びます。
- (2) [復元]をクリックします。

## 6.5.4 初期化

ここでは、本製品を初期化する方法を説明します。



初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. (1)「システム管理」をクリックします。
- (2)「設定情報管理」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

2. [初期化]をクリックすると、設定情報が工場出荷時の状態に戻ります。

## 6.5.5 時刻設定

ここでは時刻の設定方法を説明します。

- (1)「システム管理」をクリックします。
- (2)「時刻設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。

The screenshot shows the router's web interface. On the left is a navigation menu titled 'Router' with various settings categories. The 'System Management' folder is highlighted with a red box and a circled '(1)'. Underneath it, the 'Change Password' option is highlighted with a red box and a circled '(2)'. The main content area is titled 'パスワードの変更' (Change Password) and contains a warning message: '設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定し、パスワードによる保護は設定できません。' (Set a user name and password for logging in to the settings screen, but protection by password cannot be set). Below the warning are three input fields: 'ユーザ名:' (User name), '新しいパスワード:' (New password), and 'パスワードの確認:' (Confirm password). At the bottom of the form are two buttons: '適用' (Apply) and 'リセット' (Reset).

2. 設定します。設定後は[適用]をクリックしてください。

現在の時刻 : 2012 年 2 月 2 日 18 時 55 分 45 秒

PCと同期

タイムゾーンの選択 : (GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo

NTP機能を有効にする

夏時間の自動調整を有効にする

NTPサーバ :  210.173.160.27 - 日本

(IPアドレス設定)

適用   リセット   更新

項目名	動作
現在の時刻	現在の時刻を手動で入力します。 [PCと同期]をクリックすると、パソコンの時刻と同期します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選びます。 ※初期設定:「(GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo」です。
NTP 機能を有効にする	NTP 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期設定:「有効」
夏時間の自動調整を有効にする	夏時間(サマータイム)を調整するときは、「有効」にチェックを入れます。 ※夏時間を有効にするときは、NTP 機能を「有効」にしてください。 ※初期設定:「無効」
NTP サーバ	NTP サーバを設定します。 お住まいの地域、または IP アドレスから NTP サーバを指定します。 ※初期設定:「210.173.160.27 - 日本」です。

## 6.5.6 UPnP 設定

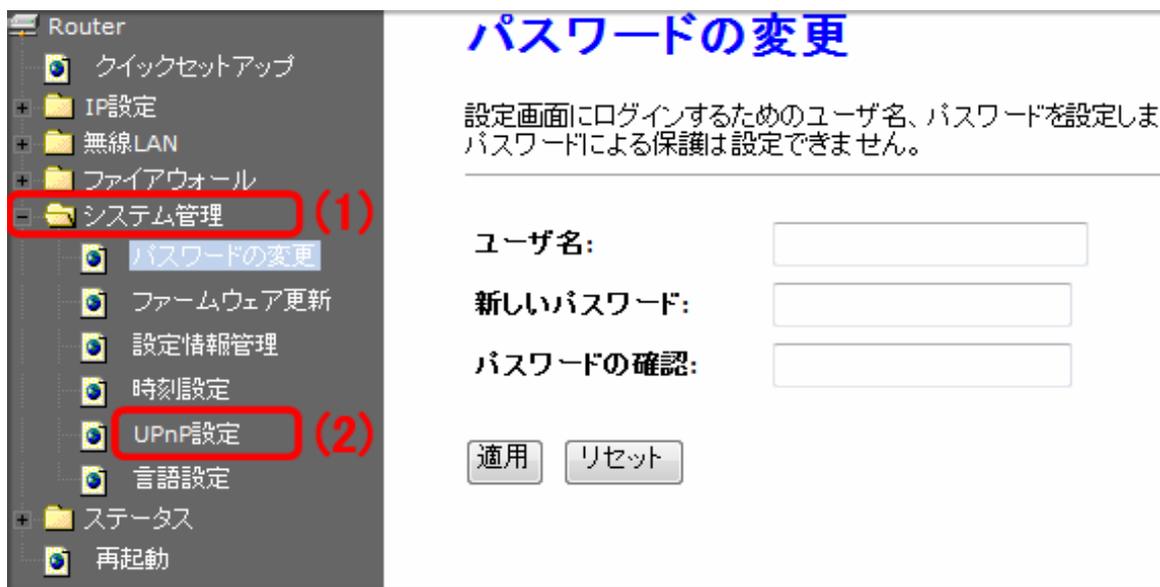
ここでは、本製品の UPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)機能を説明します。

UPnP が有効のときは、ネットワーク上にある様々な機器を接続しただけで、お使いのネットワークに参加することができます。

1. (1)「システム管理」をクリックします。
- (2)「UPnP設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



2. (1)「UPnPを有効にする」をクリックします。  
※初期設定:「有効」
- (2) [適用]をクリックします。



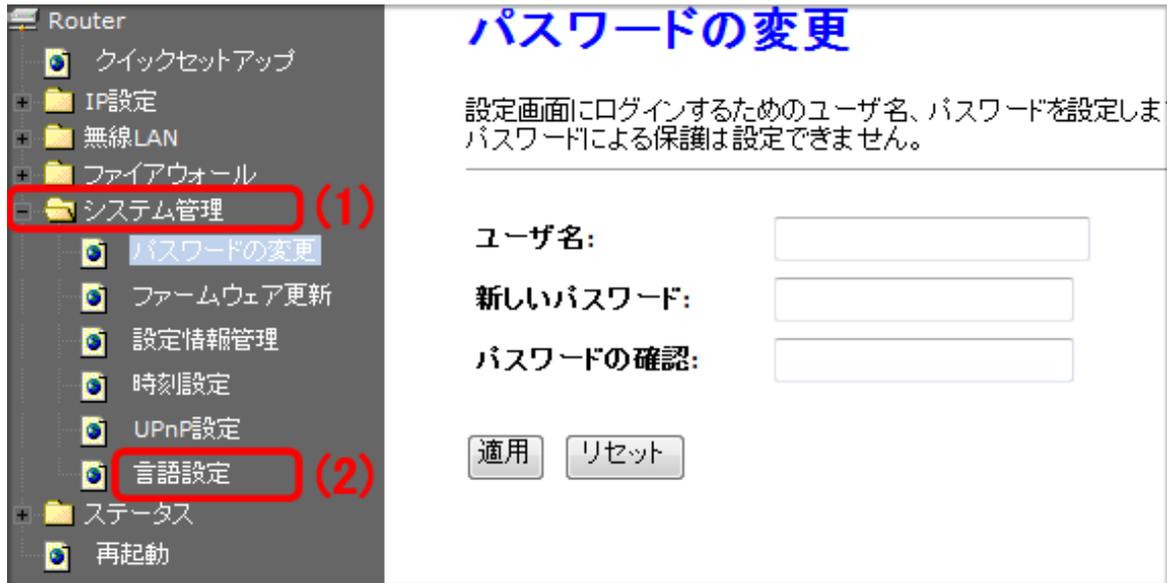
## 6.5.7 言語設定

ここでは、設定画面の表示言語の設定を説明します。

1. (1)「システム管理」をクリックします。
- (2)「言語設定」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力ログインしてください。



2. (1)「日本語」、または「英語」を選びます。
- (2) [適用] をクリックします。



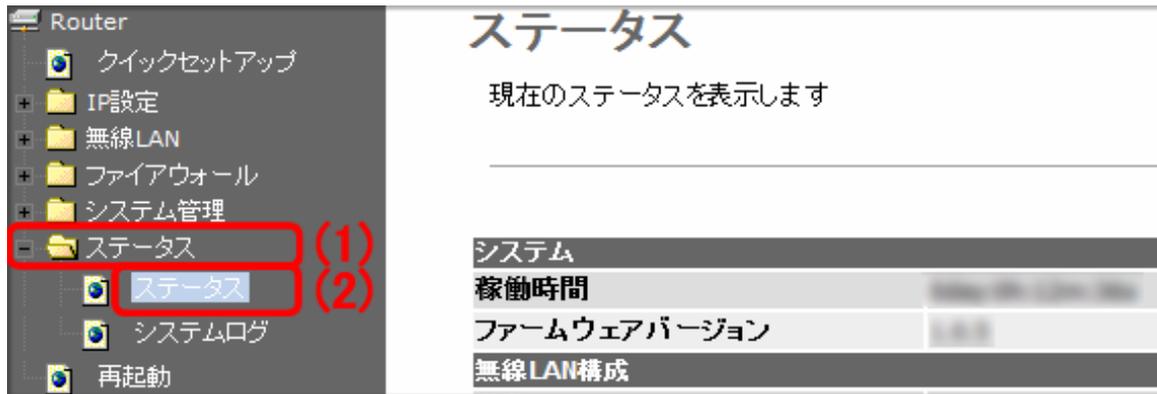
## 6.5.8 ステータス

ここでは、ステータス関連の表示方法を説明します。

- (1)「ステータス」をクリックします。
- (2)「ステータス」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力しログインしてください。



2. 本製品の設定内容が表示されます。

#### 【ルーターモードのとき】

<b>システム</b>	
稼働時間	00:00:00 (00:00:00)
ファームウェアバージョン	1.0.0.0
<b>無線LAN構成</b>	
動作モード	AP
無線モード	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	ap-pc-XXXXXXXX
チャンネル	13
暗号化方式	WPA2
MACアドレス	XXXXXXXXXX
接続中のクライアント	0
<b>LANの構成</b>	
IPアドレス	192.168.111.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバ	有効
MACアドレス	XXXXXXXXXX
<b>WANの構成</b>	
WAN接続タイプ	インターネット (インターネット接続)
IPアドレス	XXXXXXXXXX
サブネットマスク	XXXXXXXXXX
デフォルトゲートウェイ	XXXXXXXXXX
MACアドレス	XXXXXXXXXX

システム情報、無線 LAN 設定情報、LAN 設定情報、WAN 設定情報が表示されます。

#### 【APモードのとき】

<b>システム</b>	
稼働時間	00:00:00 (00:00:00)
ファームウェアバージョン	1.0.0.0
<b>無線LAN構成</b>	
動作モード	AP
無線モード	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	ap-pc-XXXXXXXX
チャンネル	13
暗号化方式	WPA2
MACアドレス	XXXXXXXXXX
接続中のクライアント	0
<b>LANの構成</b>	
IPアドレス	192.168.111.254
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバ	無効
MACアドレス	XXXXXXXXXX

システム情報、無線 LAN 設定情報、LAN 設定情報が表示されます。

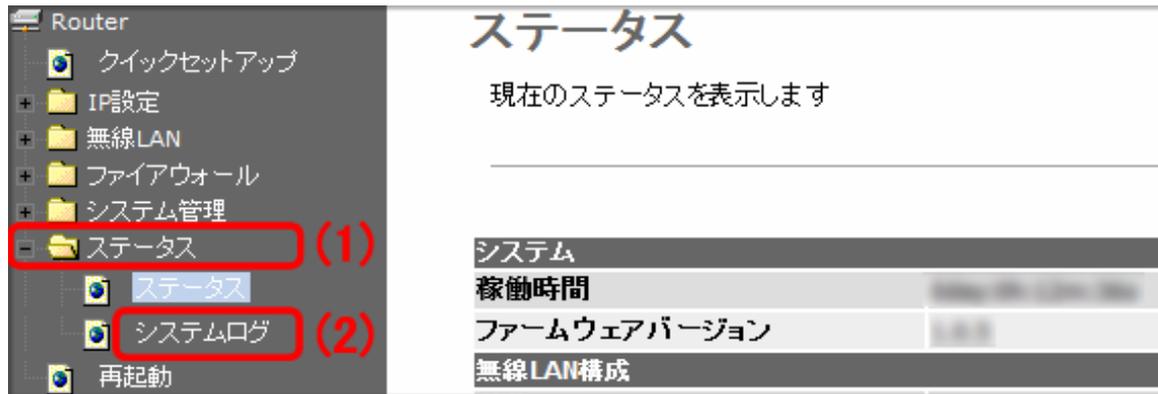
## 6.5.9 システムログ

ここでは、システムログの設定方法を説明します。

1. (1)「**ステータス**」をクリックします。  
(2)「**システムログ**」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。

尚、本製品の IP アドレスを変更しているときは、変更した IP アドレスをアドレス欄に入力しログインしてください。



## 2. 設定します。

システムログの出力設定。内容の確認をします。

システムログ機能を有効にする (1)

すべての情報       無線LAN       DoS (2)

リモートログを有効にする      ログサーバのIPアドレス:

(3)

- (1)「システムログ機能を有効にする」にチェックを入れます。
- (2)出力したいログの項目にチェックを入れます。
- (3) [適用]をクリックします。

各設定項目内容は以下の通りです。

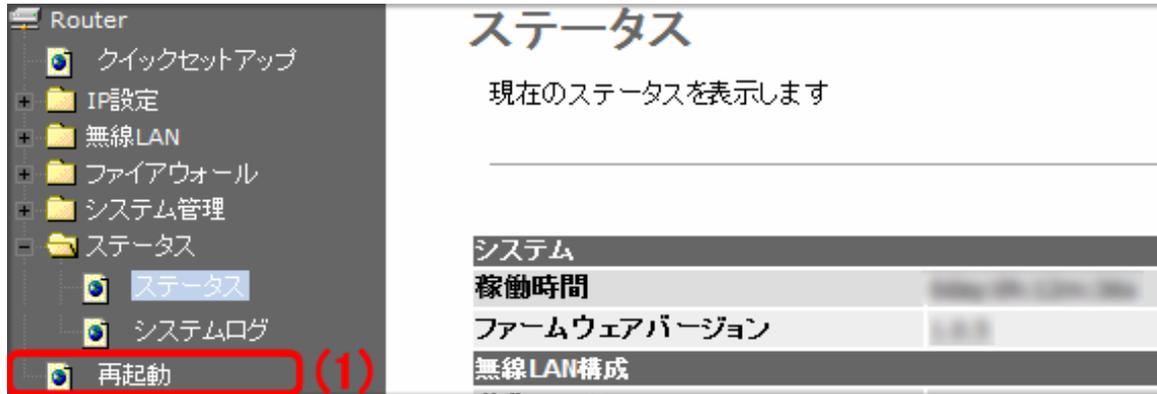
項目名	動作
すべての情報	すべてのログを出力します。
無線LAN	本製品に接続したネットワーク内のログを出力します。
DoS	外部からのネットワーク攻撃などの不正アクセスを出力します。
リモートログを有効にする	ログを外部のログサーバなどに出力します。 ※別途ログサーバ、syslogサーバが必要になります。
ログサーバのIPアドレス	ログサーバのIPアドレスを入力します。
更新	表示を更新します。
消去	ログを消去します。

## 6.5.10 再起動

ここでは、本製品を再起動する方法を説明します。

1. 「再起動」をクリックします。

※設定画面の表示方法については「2.3 PPPoE接続の設定をする」の手順 1～5 を参照してください。



2. [再起動]をクリックすると、本製品が再起動します。



## 第7章 困ったときは

### 7.1 トラブルシューティング

本製品が正常に動作しないときは、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。

また、本紙に記載されていない困ったときの情報は、FAQサイト(<http://faq.planex.co.jp/>)を参照してください。

症状	可能な解決策
電源が入らない	<p>本製品の電源が入らないときは、次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源線(VVF ケーブル)が正しく接続されていますか？</li> <li>ブレーカーがオンになっていますか？</li> <li>正しい電源、電圧で使用していますか？ テスターを使用して確認してください。</li> </ul> <p>それでも改善されないときは、本製品の不具合の可能性があります。同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認ください、ご同意のうえで、修理を依頼してください。</p>
設定画面にログインできない	<p>設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティソフトをご利用中の場合は、一時的に停止していただき、再度お試しください。本製品の設定が終了しましたら、設定を元に戻してください。無効にする方法については、セキュリティソフトの取扱説明書などをご確認ください。</li> <li>ルータモードで使用するときは、設定するパソコンの IP アドレスが「自動取得」になっている必要があります。IP アドレスを手動で設定している場合は、「自動取得」に設定後、お試しください。</li> <li>アクセスポイントモードで使用するときは、設定するパソコンの IP アドレスを一時的に「固定」にする必要があります。IP アドレスを「自動取得」に設定している場合は、固定 IP アドレス(192.168.111.XXX)に設定後、お試しください。</li> <li>本製品前面のモード切替スイッチの設定が合っているか確認してください。</li> <li>WEB ブラウザでセキュリティを高く設定しているときは、いったん設定を下げて、お試しください。</li> </ul> <p>それでも改善されないときは、本製品を初期化し、改めてお試しください。 ⇒初期化の方法は、「7.2 初期化の方法」を参照してください。</p>

インターネットに接続できない	<p>インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定後、すぐにはつながらない場合があります。2～3分程お待ちいただき、再度お試しください。</li> <li>・ 本製品を再起動してみてください。</li> <li>・ 複数台の本製品をアクセスポイントモードで使用する場合は、重複しない IP アドレスが設定されているか確認してください。</li> <li>・ ルータモードで使用するときは、設定するパソコンの IP アドレスが「自動取得」になっている必要があります。IP アドレスを手動で設定している場合は、「自動取得」に設定後、お試しください。</li> <li>・ 通信機器（モデム/回線終端装置）の電源をいったんオフにし、再度オンにしてみてください。</li> <li>・ 複数台の本製品をアクセスポイントモードで使用しているときは、重複しない IP アドレスが設定されているか確認してください。</li> <li>・ セキュリティソフトをご利用中の場合は、一時的に停止していただき、再度お試しください。本製品の設定が終了しましたら、設定を元に戻してください。無効にする方法については、セキュリティソフトの取扱説明書などをご確認ください。</li> </ul> <p>それでも改善されないときは、本製品を初期化後、再度インターネットの設定を行ってください。 ⇒初期化の方法は、「7.2 初期化の方法」を参照してください。</p>
Wi-Fi 接続ができない	<p>Wi-Fi 接続ができないときは、次の内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本製品とパソコンなどの接続機器との間に距離があるときや、障害物があるときは、障害物がない所で、本製品に近づけて、再度接続をお試しください。</li> <li>・ 電子レンジや他通信機器の電磁波によって、無線通信が妨害される恐れがあります。無線通信は電子レンジや他通信機器から離れて接続してください。</li> <li>・ パソコンなどの接続機器を再起動してください。</li> <li>・ Wi-Fi アダプター搭載のパソコンで、Wi-Fi のスイッチがオンになっているか確認してください。</li> <li>・ パソコンなどの接続機器に設定した SSID およびセキュリティ情報が本製品と同じになっているか確認してください。</li> <li>・ 本製品の無線チャンネルを変更し、接続が改善されるか確認してください。</li> </ul> <p>それでも改善されないときは、本製品を初期化後、再度お試しください。 ⇒初期化の方法は、「7.2 初期化の方法」を参照してください。</p>

## 7.2 初期化の方法



初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。  
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. 本製品前面の **Reset ボタン** を 7 秒以上長押しして、**Power ランプ** が点滅したら、**Reset ボタン** から離します。
3. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。

## 第 8 章 製品仕様

型番	MZK-KR150N
<b>無線部仕様</b>	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n: 最大 150Mbps (40MHz) IEEE802.11g: 54、48、36、24、18、12、9、6Mbps IEEE802.11b: 11、5.5、2、1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n: 直交波周波数分割多重変調 (OFDM 方式) IEEE802.11g: 直交波周波数分割多重変調 (OFDM 方式) IEEE802.11b: 直接拡散型スペクトラム拡散 (DSSS 方式)
アンテナ利得	3dBi
アンテナ	外部アンテナ1本
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	WPS
AP 間通信	WDS
セキュリティ	WEP (キー長: 64bit/128bit、キーフォーマット: ASCII/Hex) WPA-PSK (暗号化方式: AES) WPA2-PSK (暗号化方式: AES) WPA/WPA2 Mixed-PSK (暗号化方式: TKIP/AES)
<b>有線部仕様</b>	
対応規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3i (10BASE-T)
インターフェース	RJ-45 ポート×2 (WAN/LAN×1、LAN×1)
伝送速度	100/10Mbps (オートネゴシエーション、オート MDI/MDI-X)
ネットワークケーブル	100BASE-TX: カテゴリ 5 以上 10BASE-T: カテゴリ 3 以上
<b>ソフトウェア仕様</b>	
動作モード	ルータ、アクセスポイント
対応 WAN 回線	FTTH、ADSL、VDSL、CATV
WAN 設定	IP アドレス自動取得 (DHCP クライアント) 固定 IP アドレス (手動設定) PPPoE クライアント設定

LAN 設定	固定 IP アドレス(手動設定) DHCP サーバ(有効/無効)
アドレス変換	NAPT(IP マスカレード)
ローカルサーバ機能	ポートフォワード、仮想サーバ、DMZ
セキュリティ	MAC アドレスフィルタ、IP フィルタ、URL フィルタ、ポートフィルタ
IPv6 関連	IPv6 ブリッジ機能(IPv6 パススルー)
VPN 関連	IPSec パススルー、PPTP パススルー、L2TP パススルー
ダイナミック DNS	CyberGate-DDNS-、DynDNS
省エネ設定	EEE、ActiveECO
<b>ハードウェア仕様</b>	
ハードウェアスイッチ	電源ボタン、WPS ボタン、Reset ボタン、モード切替スイッチ (Router/AP)
LED	Power/Status、Wireless/WPS、Internet、LAN
消費電力	最大 約 2W
電源	AC100V、50/60Hz、2 ピン
外形寸法	本体:約 75(W)×120(H)×53(D)mm アンテナ:約 約φ10×136(H)mm
埋込部寸法	約 48(W) × 70(H) × 40(D)mm
重量	約 140g(アンテナ含む)
動作時環境	温度:0~40°C 湿度:10~85%(結露なきこと)
保存時環境	温度:-20~70°C 湿度:5~90%(結露なきこと)
<b>その他</b>	
ログ機能	システムログ
管理機能	リモート管理
対応 OS	Windows 7(32/64bit)/Vista SP2(32/64bit)/XP SP3(32bit) 日本語版 Mac OS X 10.8/10.7/10.6/10.5 (CPU: Intel/PowerPC 対応)
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

### 注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。

※WPS を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPS に対応している必要があります。

※表示の数値は、Wi-Fi 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※セキュリティの設定に WEP または TKIP をご利用の際は、IEEE802.11n 本来の通信速度より遅くなる場合があります。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp>) を参照ください。

## 第9章 お問い合わせ先

### ●サポート Q&A 情報 (FAQ、よくある質問と答え)

ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。  
お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

### ●オンラインマニュアル

最新版のマニュアルを参照できます。

[http://www.planex.co.jp/support/download/index\\_manual.shtml](http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml)

### ●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。  
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

#### <お問い合わせフォーム>

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

受付:24 時間

#### <サポートダイヤル>

0570-064-707

受付:月～金曜日、10～12 時、13～17 時(※祝祭日および弊社指定の休業日を除く)

#### <FAX>

0570-088-194

受付:24 時間

●**弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉**

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

<http://direct.planex.co.jp/>

●**製品に関するお問い合わせ〈ご質問/お見積もりフォーム〉**

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

<http://www.planex.co.jp/lan.shtml>

●**その他**

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

<http://www.planex.co.jp/>

上記内容は 2012 年 9 月現在の情報です。  
内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

## 第 10 章 索引

### I

Internet ポート.....	17
Internet ランプ.....	16
IP アドレスの設定	
自動取得(Mac OS X).....	52
自動取得(Windows).....	49
手動設定(Mac OS X).....	52
手動設定(Windows).....	50
IP アドレスの変更	
Mac OS X.....	41
Windows 7/Vista.....	34
Windows XP.....	38
IP アドレスを調べる	
Mac OS X.....	32
Windows 7/Vista.....	26
Windows XP.....	29
IP 設定	
LAN.....	102, 126, 131
WAN.....	92, 95, 99
ダイナミック DNS.....	105

### L

LAN ポート.....	16
LAN ランプ.....	16
L 端子.....	17

### N

N 端子.....	17
-----------	----

### P

Power ボタン.....	16
Power ランプ.....	16

### R

Reset ボタン.....	16
----------------	----

### S

SSID.....	18
SSID 非表示.....	77

### W

WEB 設定画面.....	22
Wi-Fi 接続	
Mac OS X.....	65
Wi-Fi 接続	
Windows 7.....	53
Windows Vista.....	57
Windows XP.....	61
Wi-Fi 接続	
iPhone/iPad.....	67
Wi-Fi 接続	
WPS ボタン.....	70
WPS ボタン.....	16, 70
WPS ランプ.....	16, 70

### あ

暗号化の設定・変更.....	71
アンテナ.....	15
アンテナ端子.....	16

## い

インターネットの設定	
IP アドレスの変更 .....	34
IP アドレスを調べる .....	25
PPPoE 接続 .....	21, 95
アクセスポイント .....	25
固定 IP 接続 .....	99
接続の確認 .....	24, 48
通常接続(DHCP) .....	92
ルータ .....	19

## お

お問合せ先 .....	169
-------------	-----

## か

各部の名称とはたらき .....	16
------------------	----

## こ

工場出荷時の設定値 .....	18
-----------------	----

## し

システム管理	
UPnP 設定 .....	157
言語設定 .....	158
設定情報管理 .....	152, 154
パスワードの変更 .....	148
システム管理の設定	
UPnP 設定 .....	157
言語設定 .....	158
時刻設定 .....	155
初期化 .....	154
パスワードの変更 .....	148
バックアップ/リストア .....	152
ファームウェア更新 .....	150
初期化 .....	166

## す

ステータス	
システムログ .....	161
ステータス .....	159
ステータスの設定	
再起動 .....	163
システムログ .....	161
ステータス .....	159

## せ

製品仕様 .....	167
セキュリティの設定	
DMZ ホスト .....	138
IP フィルタリング .....	142
MAC フィルタリング .....	144
URL フィルタリング .....	146
仮想サーバ .....	135
ポートフィルタリング .....	140
設定用パソコンの接続 .....	19, 43

## た

ダイナミック DNS の設定 .....	87
ダイナミック DNS の登録 .....	80

## と

トラブルシューティング .....	164
-------------------	-----

## ね

ネットワークの設定	
LAN 設定 .....	102
ダイナミック DNS .....	105

## は

パソコンと有線接続 .....	69
パッケージ同梱物 .....	15

---

**ふ**

ファイアウォール	
DMZ ホスト .....	138
IP フィルタリング .....	142
MAC フィルタリング .....	144
URL フィルタリング .....	146
仮想サーバ .....	89, 135
ポートフィルタリング .....	140

---

**ほ**

ポート開放(仮想サーバ)の設定 .....	89
-----------------------	----

---

**ま**

マルチ SSID の設定 .....	74
--------------------	----

---

**む**

無線 LAN	
WDS 設定 .....	123, 129
アクセスコントロール .....	118
基本設定 .....	74, 77, 108, 121, 127
詳細設定 .....	112
セキュリティ .....	71, 115

## 無線 LAN の設定

WDS 設定 .....	120
WPS .....	133
アクセスコントロール .....	118
基本設定 .....	108
詳細設定 .....	112
セキュリティ設定 .....	115

---

**も**

モード切替スイッチ .....	16
-----------------	----

- プラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONS は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac は、Apple Inc.の登録商標です。
- iPhone は Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証ロゴマークです。
- その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- ご注意:ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。